

1. 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、市民が市政についてどのように考え、また何を望んでいるのかを統計的に把握し、市政運営に当たっての基礎資料とすることを目的に実施した。

2) 調査項目

調査項目は、回答者の性別、年代、職業、居住地区、居住年数の属性に関する5問の他、以下の12の大項目、計30問である。

- ①暮らしの変化について
- ②市政に対する現状評価について
- ③広報活動について
- ④市民憲章と市歌について
- ⑤行政改革の推進について
- ⑥新庁舎の整備について
- ⑦人権行政について
- ⑧かぬまブランドについて
- ⑨新エネルギー利用の推進について
- ⑩文化センターの各種イベントについて
- ⑪住宅用火災報知機の設置状況について
- ⑫消防団の組織見直しについて

3) 調査の設計

本調査の設計は次のとおりである。

- (1) 調査地域 鹿沼市全域
- (2) 調査対象 平成 25 年 7 月 1 日現在、鹿沼市に居住する満 20 歳以上 80 歳未満の男女
- (3) 調査対象人数 2,000 人
調査対象人数は、予想回答率 (P) を 30%としたときに信頼度 95%を満たす信頼度係数 (K) を 1.96 とした場合の許容できるサンプリング誤差 (E) を±2%として計算した値。
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から等間隔無作為抽出
- (5) 調査期間 平成 25 年 9 月 1 日～10 日 (10 日間)
- (6) 配布方法 郵送
- (7) 回収方法 郵送回収

4) 調査機関 鹿沼市秘書課広報広聴係

5) 報告書の表記について

- (1) 回答の比率はすべて百分比 (%) で表している。
- (2) 集計結果の数値は小数点第 2 位を四捨五入してあるため、比率の合計が 100.0%にはならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、比率の合計が 100.0%を超えることがある。
- (4) グラフの表示では比率の少ないものは比率の表示を省略している場合がある。
- (5) クロス集計、分析では、表側項目の無回答を除いて集計しているため、各項目の母数の合計が全体の母数と一致しない場合がある。
- (6) 質問の選択肢は、意味を損なわない程度に略記している場合がある。

6) 回収の結果

- (1) 回収数 819 人 (2,000 人対象、うち有効回答数 815)
- (2) 回収率 41.0%

7) 回答者の構成

(1) 性別

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 男性	370	45.4
2 女性	442	54.2
無回答	3	0.4
サンプル数	815	100.0

(2) 年代

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 20代	67	8.2
2 30代	115	14.1
3 40代	124	15.2
4 50代	157	19.3
5 60代	219	26.9
6 70歳以上	132	16.2
無回答	1	0.1
サンプル数	815	100.0

(3) 職業

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 専門職	17	2.1
2 管理職	31	3.8
3 事務・技術職	108	13.3
4 販売・生産・労務職	114	14.0
5 農林水産業従事者	33	4.0
6 自営業	66	8.1
7 パート・アルバイト	136	16.7
8 主に家事、育児	69	8.5
9 学生	11	1.3
10 無職	198	24.3
11 その他	28	3.4
無回答	4	0.5
サンプル数	815	100.0

(4) 居住地区

<15区分>

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 鹿沼(中央・東部・北部)	356	43.7
2 板荷	22	2.7
3 西大芦	8	1.0
4 加蘇	19	2.3
5 北犬飼	54	6.6
6 南摩	36	4.4
7 南押原	45	5.5
8 東大芦	25	3.1
9 菊沢	65	8.0
10 北押原	52	6.4
11 東部台	28	3.4
12 粟野	31	3.8
13 粕尾	13	1.6
14 永野	16	2.0
15 清州	17	2.1
16 地区名がわからない	24	2.9
無回答	4	0.5
サンプル数	815	100.0

<2区分>

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 旧鹿沼市	710	87.1
2 旧粟野町	77	9.4
3 地区名がわからない	24	2.9
無回答	4	0.5
サンプル数	815	100.0

- ・旧鹿沼市：鹿沼(中央・東部・北部)、板荷、西大芦、加蘇、北犬飼、南摩、南押原、東大芦、菊沢、北押原、東部台
- ・旧粟野町：粟野、粕尾、永野、清州

(5) 居住年数

項目	件数 (人)	構成比 (%)
1 5年以下	45	5.5
2 6~10年	39	4.8
3 11~20年	104	12.8
4 21年以上	607	74.5
無回答	20	2.5
サンプル数	815	100.0

2. 調査の内容

第24回市政に関する世論調査

平成25年9月

[あなたご自身について]

あてはまる番号に、○を1つ付けてください。

★1 あなたの性別は。

1	男	2	女
---	---	---	---

★2 あなたの年齢は。

1	20代	2	30代	3	40代	4	50代	5	60代
6	70歳以上								

★3 あなたの職業は。

1	専門職（医師、弁護士、大学教授、僧侶など）
2	管理職（官公庁や事業所の重役、部課長など）
3	事務・技術職（一般事務、公務員、技師、教員、看護師など）
4	販売・生産・労務職（店員、工員、職人、運転手、作業員など）
5	農林水産業従事者
6	自営業
7	パート・アルバイト
8	主に家事、育児をしている
9	学生
10	無職
11	その他

★4 あなたのお住まいの地区は。

1	鹿沼（中央・東部・北部）	2	板荷	3	西大芦	4	加蘇				
5	北犬飼	6	南摩	7	南押原	8	東大芦	9	菊沢		
10	北押原	11	東部台	12	粟野	13	粕尾	14	永野	15	清洲
16	地区名がわからない（町名）										

★5 鹿沼市（旧粟野町を含む）に住んで何年ですか。

1	5年以下	2	6～10年	3	11～20年	4	21年以上
---	------	---	-------	---	--------	---	-------

1) 暮らしの変化について

問 1 あなたの生活は、暮らし向きや生活環境などを含めて、総じて 2～3 年の間にどう変わったと思いますか。次の中から 1 つ 選んでください。

- | | | |
|------------|------------|-----------|
| 1 かなり良くなった | 2 少し良くなった | … 問 1-1 へ |
| 3 変わらない | | |
| 4 少し悪くなった | 5 かなり悪くなった | … 問 1-2 へ |

問 1 で 1 番あるいは 2 番とお答えの方にお聞きします。

問 1-1 どういうところが良くなったと思いますか。次の中から いくつでも 選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1 家計の状態 |
| 2 通勤や買い物の便利さ |
| 3 道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ |
| 4 道路や通学路の安全性 |
| 5 商品の品質・安全性 |
| 6 ごみの収集や処理の状況 |
| 7 地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ |
| 8 近所の風紀 |
| 9 レジャー施設 |
| 10 その他 () |

問 1 で 4 番あるいは 5 番とお答えの方にお聞きします。

問 1-2 どういうところが悪くなったと思いますか。次の中から いくつでも 選んでください。

- | |
|---------------------------|
| 1 家計の状態 |
| 2 通勤や買い物の便利さ |
| 3 道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ |
| 4 道路や通学路の安全性 |
| 5 商品の品質・安全性 |
| 6 ごみの収集や処理の状況 |
| 7 地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ |
| 8 近所の風紀 |
| 9 レジャー施設 |
| 10 その他 () |

2) 市政に対する現状評価について

問2 市では、“花と緑と清流のまち”“笑顔あふれる優しいまち”の創造を目指して様々な業務に取り組んでいます。

市政に対して、充実していると思われるものを、次の中から3つ選んで番号をお書きください。

--	--	--

- | | |
|----|-------------------------------|
| 1 | 公園の整備 |
| 2 | 住宅施策の充実（市営住宅の整備） |
| 3 | 上水道の整備 |
| 4 | 下水道の整備 |
| 5 | ごみ処理対策（分別、リサイクルなど） |
| 6 | 河川の整備 |
| 7 | 環境衛生対策（美化運動、薬剤散布など） |
| 8 | 公害対策（騒音、大気汚染、ダイオキシン、水質汚濁防止など） |
| 9 | 資源エネルギー対策 |
| 10 | 中心市街地の整備・区画整理事業の推進 |
| 11 | 公共交通機関の整備 |
| 12 | 道路の整備 |
| 13 | 自然保護・緑化対策 |
| 14 | 農林業の振興 |
| 15 | 食料の安定供給の確保 |
| 16 | 商工業の振興 |
| 17 | 観光の振興 |
| 18 | 保健・医療体制の充実 |
| 19 | 高齢者福祉の充実 |
| 20 | 障害福祉の充実 |
| 21 | 子育て・少子化対策の充実 |
| 22 | 地域における福祉活動 |
| 23 | 消防・防災対策 |
| 24 | 交通安全対策 |
| 25 | 人権が尊重される明るい社会の実現 |
| 26 | 男女共同参画社会の形成 |
| 27 | 学校教育の充実 |
| 28 | 生涯学習の推進 |
| 29 | 青少年の健全育成 |
| 30 | 芸術・文化の継承と振興 |
| 31 | 文化財の保護 |
| 32 | スポーツ・レクリエーション施策の充実 |
| 33 | 地域情報化の推進 |
| 34 | 国際化の推進 |
| 35 | 広報・広聴の充実 |

問3 市政に対して、今後、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中から3つ選んで番号をお書きください。

--	--	--

- 1 公園の整備
- 2 住宅施策の充実（市営住宅の整備）
- 3 上水道の整備
- 4 下水道の整備
- 5 ごみ処理対策（分別、リサイクルなど）
- 6 河川の整備
- 7 環境衛生対策（美化運動、薬剤散布など）
- 8 公害対策（騒音、大気汚染、ダイオキシン、水質汚濁防止など）
- 9 資源エネルギー対策
- 10 中心市街地の整備・区画整理事業の推進
- 11 公共交通機関の整備
- 12 道路の整備
- 13 自然保護・緑化対策
- 14 農林業の振興
- 15 食料の安定供給の確保
- 16 商工業の振興
- 17 観光の振興
- 18 保健・医療体制の充実
- 19 高齢者福祉の充実
- 20 障害福祉の充実
- 21 子育て・少子化対策の充実
- 22 地域における福祉活動
- 23 消防・防災対策
- 24 交通安全対策
- 25 人権が尊重される明るい社会の実現
- 26 男女共同参画社会の形成
- 27 学校教育の充実
- 28 生涯学習の推進
- 29 青少年の健全育成
- 30 芸術・文化の継承と振興
- 31 文化財の保護
- 32 スポーツ・レクリエーション施策の充実
- 33 地域情報化の推進
- 34 国際化の推進
- 35 広報・広聴の充実

問 10 行政改革を進めるにあたって、足りないもの、強化してほしいものは何ですか。次の中から1つ選んでください。

- 1 市政運営にあたっての市民の参画や、市民との連携・協働
- 2 歳入と歳出の両面から見た財政状況の健全化
- 3 事業や施設等の必要性の検証や、行政サービスの民間委託・民営化
- 4 市職員の人材育成、総人件費の削減や組織の見直し
- 5 その他 ()
- 6 特にない

6) 新庁舎の整備について

問 11 現在の市役所（本庁舎・東館）を訪れて、「施設面」や「機能面」をどのように感じましたか？ 次の中からいくつでも選んでください。

- 1 駐車場・駐輪場が足りない（狭い、駐車台数が少ない）
- 2 行きたい窓口がどこにあるのかわかりにくい（課・係の場所がわかりづらい）
- 3 本庁舎だけで用事が済まず、ほかの別館に行かなければならない。
- 4 高齢者や障がい者、乳幼児等への配慮（バリアフリー）が十分でない。
- 5 玄関ロビーや廊下、待合スペースが狭い
- 6 障がい者用トイレが足りないなど、トイレが使いづらい
- 7 市民が自主的な活動で利用できる場所や憩える場所がない
- 8 授乳室やキッズコーナー、相談スペースが足りない
- 9 段差や階段が多く移動しづらい
- 10 建物が古く安全性などに不安を感じた
- 11 特に問題を感じなかった
- 12 その他 ()

問 12 現在の市役所（本庁舎・東館）は、老朽化とともに耐震性にも大きな問題があるため、新庁舎の整備（建替え等）を検討しています。あなたは、庁舎の建替えについて、どのように思いますか？次の中から1つ選んでください。

- 1 必要である
- 2 どちらかという必要である
- 3 どちらかという必要ではない
- 4 必要ではない
- 5 分からない

問 13 どのような新庁舎を求めますか？ 次の中から3つ選んでください。

- 1 防災、復興拠点として安心・安全な庁舎
- 2 誰もが安心して便利に使えるよう（ユニバーサルデザイン）配慮された庁舎
- 3 環境（省エネルギー、省資源）に配慮した庁舎
- 4 適切な機能を1つに集約した庁舎（ワンストップサービスの実現）
- 5 市民の交流やイベント等が行なえる空間の充実した庁舎
- 6 市民の待合室等が広く充実した庁舎
- 7 駐車場や駐輪場が十分に確保された庁舎
- 8 庭園などの緑地が充分にとれた庁舎
- 9 「木のまち」鹿沼に配慮した庁舎
- 10 周辺の景観と調和した庁舎
- 11 建設費や維持管理費を抑えた庁舎
- 12 その他（)

問 14 新庁舎の「場所」についてお尋ねします。新庁舎の場所について、どのように思いますか？ 次の中から1つ選んでください。

- 1 現在の場所
- 2 他の場所への移転
- 3 分からない

問 15 「1」と答えた方のみにお聞きします。その理由は何ですか？ 次の中からいくつでも選んでください。

- 1 歴史的にも鹿沼市の顔（核）となっている場所であるから
- 2 市民にとってなじみのある場所であるから
- 3 病院や商店街などを歩いて移動でき、人通りが多くなることにより中心市街地が活性化するから
- 4 バスや道路など交通の利便性（交通アクセス）が良いから
- 5 市有地であることや道路、上下水道などの施設が整備されているため費用がかからないから
6. その他（)

問 16 「2」と答えた方のみにお聞きします。その理由は何ですか？ 次の中からいくつでも選んでください。

- 1 現在の市役所敷地が狭いから（駐車場台数が確保できない等）
- 2 幹線道路と接続していないから
- 3 人口重心や地理的中心ではないから
- 4 仮設庁舎などが必要ないので、経費がかからないから
- 5 効率的な土地利用ができないから
- 6 その他（)

7) 人権行政について

問 17 あなたはこの一年間に、自分または身近な子どもの人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1 女性または男性として人権侵害された。 | |
| 2 障害者または病気の患者として人権侵害された。 | |
| 3 自分の子どもが人権侵害された。 | 4 他人の子どもが人権侵害された。 |
| 5 高齢者として人権侵害された。 | 6 同和問題の関係者として人権侵害された。 |
| 7 職場の人間関係で人権侵害された。 | |
| 8 その他 () | 9 特に人権侵害されたことはない。 |

問 18 あなたは同和問題について、どのような受け止め方をしていますか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|--------------------------|
| 1 同和関係の人は自分と同じ普通の人だとおもう。 |
| 2 同和関係の人は自分とは違うイメージを感じる。 |
| 3 同和問題とは何か知らない。 |
| 4 その他 () |

問 19 あなたはどのような人権問題の解決を望みますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | |
|------------------------|
| 1 女性または男性などの性別による差別の解消 |
| 2 障害者または病気の患者への人権侵害の解消 |
| 3 子どもに対するイジメや虐待などの解消 |
| 4 高齢者への人権侵害の解消 |
| 5 同和関係者への差別の解消 |
| 6 職場でのイジメや差別の解消 |
| 7 その他 () |

8) かぬまブランドについて

問 20 かぬまブランド品として、「いちご」「かぬま和牛」「鹿沼そば」「さつき」「鹿沼こんにやく」「鹿沼組子」「いちご大福」など28品目があります。あなたは、かぬまブランド品をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|------------|
| 1 ほとんど知っている | 2 半分は知っている |
| 3 1品～5品程度は知っている | 4 知らない |

問 21 あなたは、かぬまブランドをおみやげ品などとして、使いたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|-----------|---------|-----------|
| 1 使いたいと思う | 2 わからない | 3 あまり思わない |
|-----------|---------|-----------|

9) 新エネルギー利用の推進について

問 22 ご家庭で、現在どのような新エネルギー設備を利用していますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | | |
|-------------------|----------------------------|------------|
| 1 太陽光発電設備 | 2 太陽熱利用設備 | 3 ハイブリットカー |
| 4 電気自動車 | 5 ガスコージェネレーション設備 (エコウィルなど) | |
| 6 燃料電池 (エネファームなど) | | |
| 7 その他 () | | |
| 8 利用していない。 | | |

問 23 ご家庭で、今後利用したい新エネルギー設備は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | | |
|-------------------|----------------------------|------------|
| 1 太陽光発電設備 | 2 太陽熱利用設備 | 3 ハイブリットカー |
| 4 電気自動車 | 5 ガスコージェネレーション設備 (エコウィルなど) | |
| 6 燃料電池 (エネファームなど) | | |
| 7 その他 () | | |
| 8 利用していない。 | | |

10) 文化センターの各種イベントについて

問 24 市民文化センターで、どのような催しを観たいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|------------------------|--------------|----------|
| 1 歌謡曲等のコンサート | 2 クラシックコンサート | |
| 3 親子向けのイベント | 4 演劇・ミュージカル | 5 落語・お笑い |
| 6 伝統芸能 (能・狂言・歌舞伎) | | |
| 7 具体的な出演者を記入してください () | | |

問 25 文化センターをどのような目的で使用したいと思いますか？次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。

- | | | | |
|--------------|-------------|----------|---------|
| 1 コンサート | 2 演劇 | 3 ピアノ発表会 | 4 音楽の練習 |
| 5 ダンスの練習 | 7 カラオケ | 8 絵画等の展示 | 9 会議 |
| 10. 趣味の教室 | 11. その他 () | | |
| 12. 使用の予定はない | | | |

問 26 鹿沼市民文化センターのホームページを見たことはありますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | |
|-----------|------------------|----------|
| 1 見た事がない | 2 1回は見た事がある | 3 時々見ている |
| 4 頻繁に見ている | 5 ホームページがあるの知らない | |

1 1) 住宅用火災報知機の設置状況について

問 27 『住宅用火災警報器』は付いていますか。付いている場所はどこですか。次の中から1つ選んでください。

- | |
|---------------------------------|
| 1 全ての寝室と、2階に寝室があるので、階段の上にも付いている |
| 2 全てではないが付いている |
| 3 付いていない |

1 2) 消防団の組織見直しについて

問 28 鹿沼市消防団は、団員定数 835 人の団本部と地域単位の 14 分団によって構成され、本市の消防防災活動に取り組んでいます。消防団活動について、知っていますか。次の中から1つ選んでください。

- | | | | |
|-----------|---------|-----------|---------|
| 1 よく知っている | 2 知っている | 3 少し知っている | 4 わからない |
|-----------|---------|-----------|---------|

問 29 本市消防団は、消防団員の減少や組織の再編などの課題を抱えており、平成 25 年 3 月に充実強化に向けた基本方針となる「鹿沼市消防団充実強化ビジョン」を策定しました。どのような取り組みが重要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

- | |
|---------------------|
| 1 消防団組織や定数の見直し |
| 2 消防団員の確保の取り組み |
| 3 女性消防団員の採用 |
| 4 報酬や手当、福利厚生改善 |
| 5 事業や訓練の見直しによる負担の軽減 |
| 6 消防団員の安全確保の取り組み |
| 7 消防団のイメージアップの取り組み |
| 8 地域コミュニティとの連携強化 |
| 9 企業への理解促進の取り組み |

問 30 地域の消防防災力の充実強化を目的に、消防団協力事業所表示制度を導入し、消防団活動に積極的に協力している事業所を認定しています。この制度をご存知ですか。次の中から1つ選んでください。

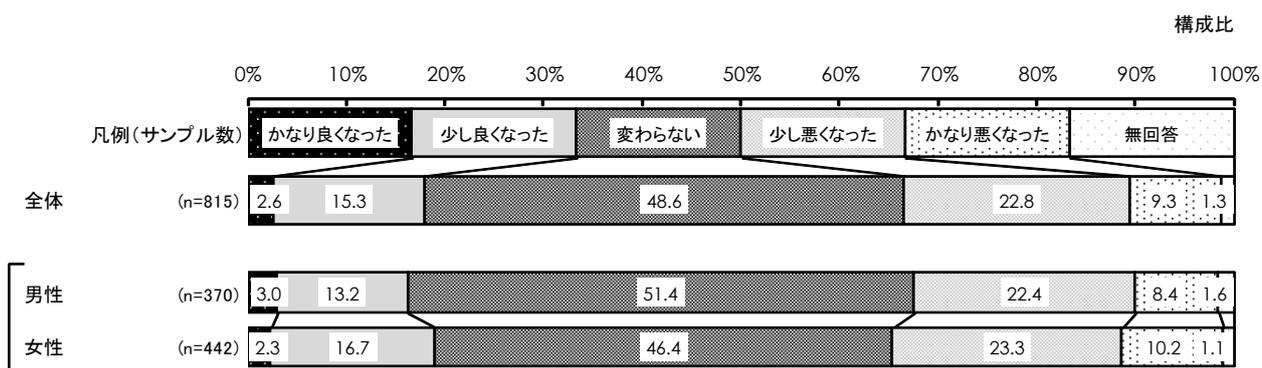
- | | | |
|-----------|---------|---------|
| 1 よく知っている | 2 知っている | 3 わからない |
|-----------|---------|---------|

3. 調査の分析と調査結果の数表

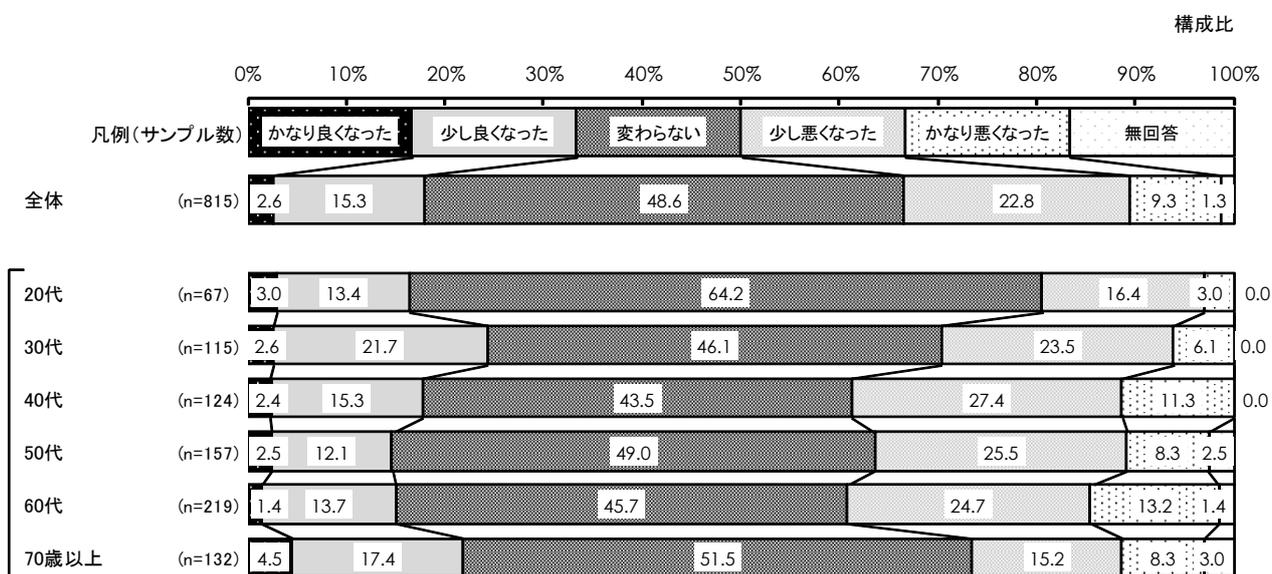
1) 暮らしの変化について

問 1 あなたの生活は、暮らし向きや生活環境などを含めて、総じて2～3年の間にどう変わったと思いますか。次の中から1つ選んでください。(SA)

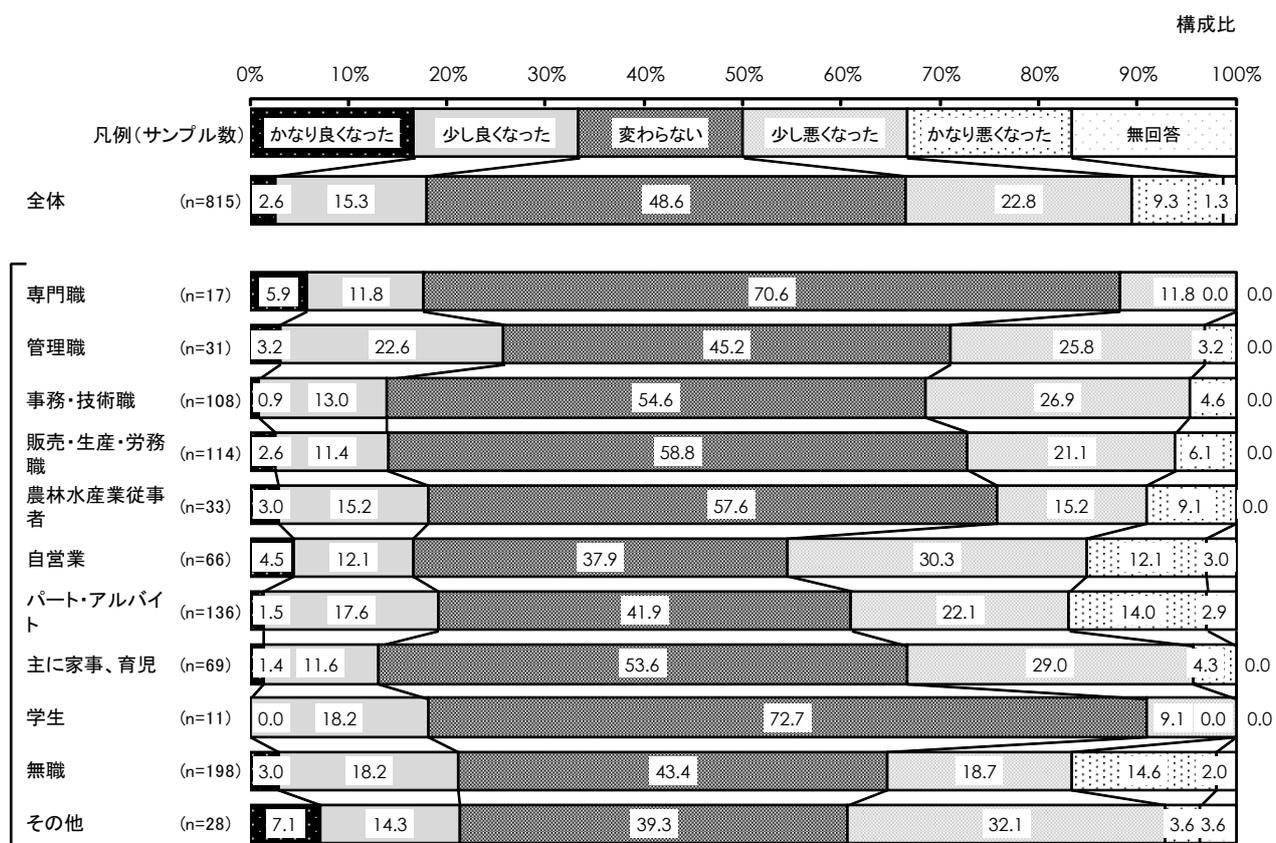
問 1 暮らしの変化 (SA) 【性別】



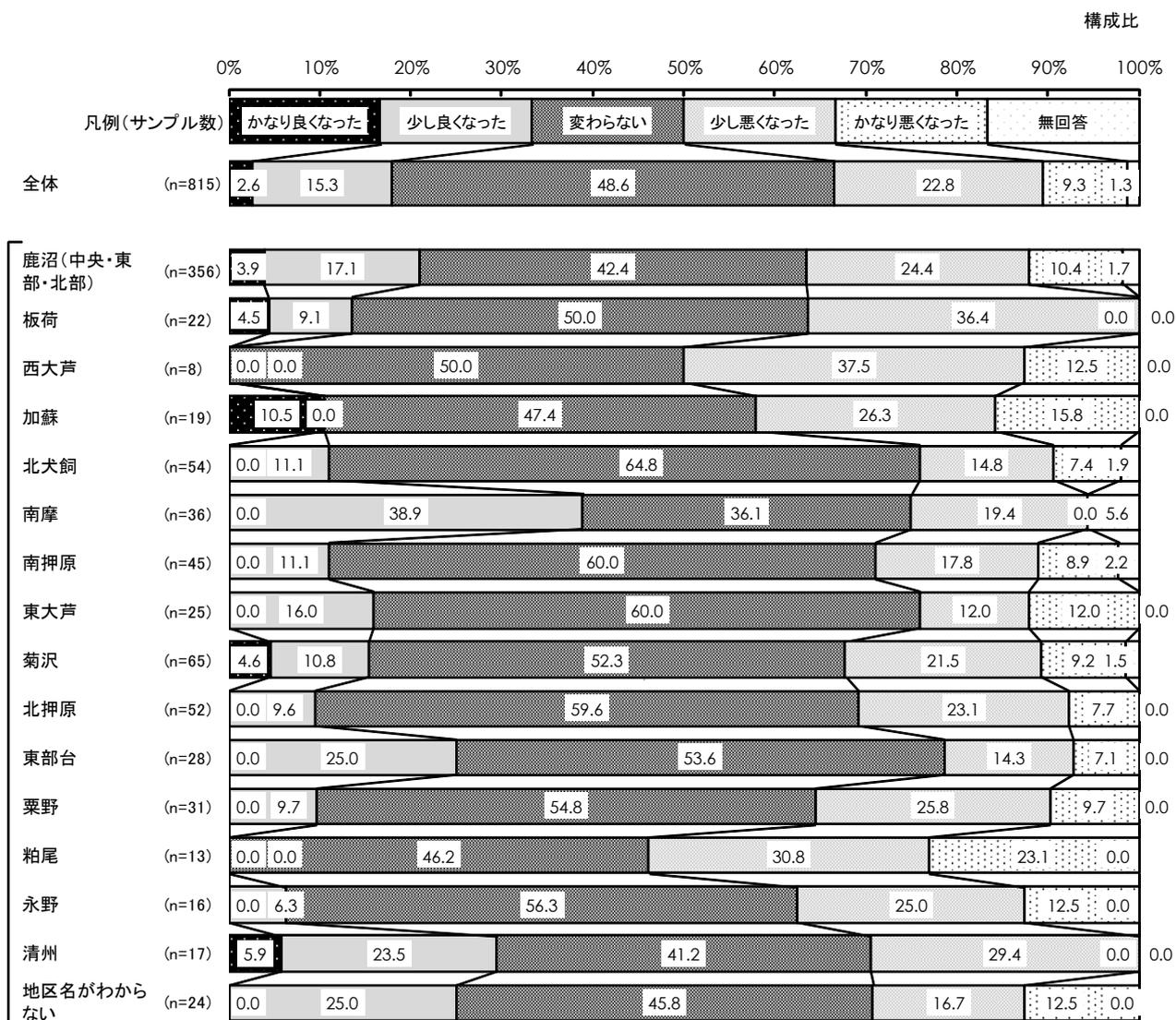
問 1 暮らしの変化 (SA) 【年代】



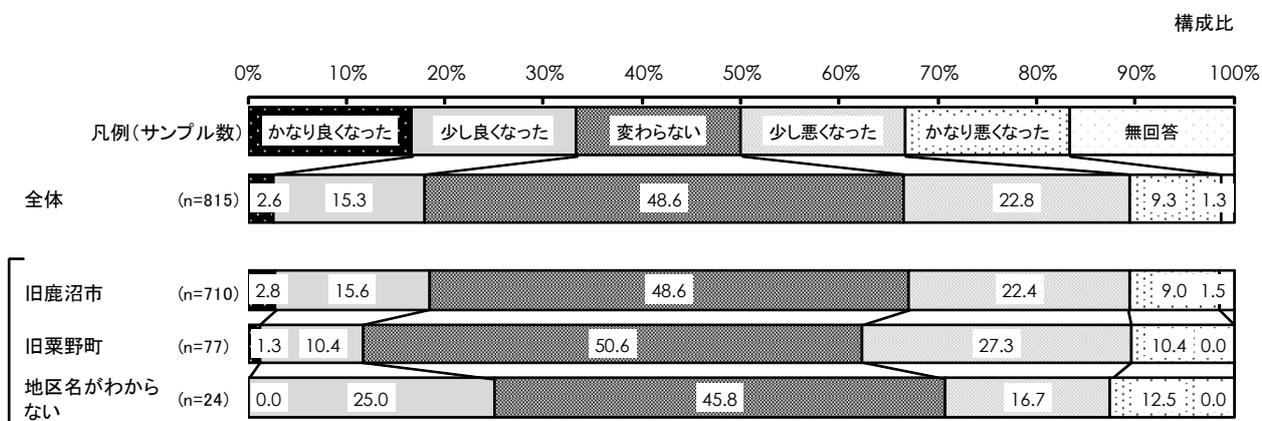
問 1 暮らしの変化 (SA) 【職業】



問 1 暮らしの変化 (SA) 【居住地区 (15 区分)】



問 1 暮らしの変化 (SA) 【居住地区 (2 区分)】



問 1 暮らしの変化

～「悪くなった」が 3 割強、「変わらない」が約半数～

【全体】

- ・ここ 2～3 年の暮らし向きの変化について尋ねたところ、「少し悪くなった」22.8%と「かなり悪くなった」9.3%を合わせた「悪くなった」が 32.1%を占め、「かなり良くなった」2.6%と「少し良くなった」15.3%を合わせた「良くなった」17.9%を大きく上回る結果となった。また、「変わらない」は 48.6%を占める。
- ・前回の平成 23 年度調査では、「悪くなった」が 39.0%で、6.9 ポイント減少している。一方、「良くなった」は前回の 16.7%に比べて 1.2 ポイント増加、「変わらない」は前回の 43.1%に比べて 5.5 ポイント増加している。

【性別】

- ・男性の「良くなった」という回答が 16.2%であるのに対し、女性は 19.0%と男性より 2.8 ポイント高い。一方で、「悪くなった」という回答についても、男性より女性の方が 2.7 ポイント高い。
- ・前回調査と比べると、男性の「良くなった」という回答が 3.1 ポイント増加したのに対し、女性の「良くなった」という回答は 0.5 ポイント減少している。また男女ともに「変わらない」が増加している。

【年代】

- ・「良くなった」と「悪くなった」の回答割合の差をみると、どの年代でも「悪くなった」という回答割合の方が高いが、特に 40 代、50 代、60 代で「悪くなった」と回答した人の割合が「良くなった」と回答した人の割合より 20 ポイント程度高い。
- ・20 代では、他の年代に比べて「悪くなった」という回答が 19.4%と最も低く、「変わらない」が 64.2%と最も高い。30 代では、他の年代に比べて「良くなった」という回答が 24.3%と最も高い。
- ・前回調査と比べると、70 歳以上において「良くなった」という回答が 10.0 ポイント増加し、「悪くなった」という回答が 19.5 ポイント減と大幅に減少している。また、いずれの年代においても「変わらない」の割合が増加している。

【職業】

- ・管理職では「良くなった」という回答が 25.8%と他に比べて高く、また前回調査と比べると 15.5 ポイント増と大幅に増加している。一方、自営業では、「悪くなった」という回答が 42.4%と他に比べて高い。

【居住地区】

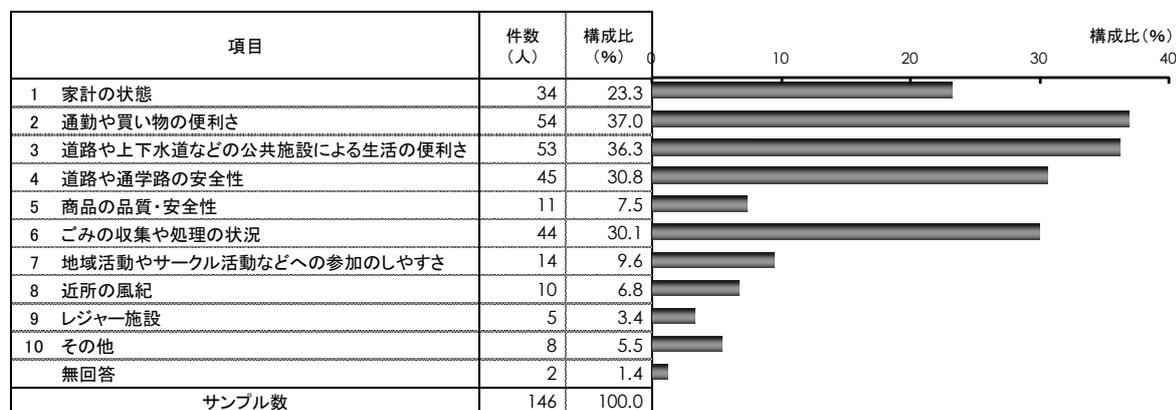
- ・南摩では「良くなった」という回答が 38.9%と、他の地区に比べて高い。一方、粕尾では「悪くなった」という回答が 53.9%と高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 1-1 問 1 で 1 番あるいは 2 番とお答えの方にお聞きします。どういところが良くなったと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 1-1 良くなったところ (MA)

※問 1 で「かなり良くなった」「少し良くなった」と回答した人のみ



問 1-1 暮らしの変化 “良くなったところ”

～通勤や買い物、公共施設による生活の便利さが良くなったという回答が高い～

【全体】

- ・ここ 2～3 年の暮らし向きが「良くなった」と回答した人に対し、良くなったところを尋ねたところ、「通勤や買い物の便利さ」が 37.0% で最も高く、次いで「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」36.3%、「道路や通学路の安全性」30.8% となっている。
- ・前回調査と比べると、「道路や通学路の安全性」が 6.2 ポイント増加している。一方、「近所の風紀」は前回の 14.2% から 7.4 ポイント減少している。

【性別】

- ・男性は女性よりも「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」「道路や通学路の安全性」「地域活動やサークル活動などへの参加のしやすさ」が良くなったと回答する割合が高い。一方、女性は男性よりも「家計の状態」「ごみの収集や処理の状況」が良くなったと回答する割合が高い。

【年代】

- ・30 代では「通勤や買い物の便利さ」が良くなったと回答する割合が他の年代に比べて高い。40 代では「家計の状態」「道路や通学路の安全性」が良くなったと回答する割合が高い。50 代では「通勤や買い物の便利さ」「ごみの収集や処理の状況」が良くなったと回答する割合が高い。70 歳以上では「道路や上下水道などの公共施設による生活の便利さ」「ごみの収集や処理の状況」が良くなったと回答する割合が高い。

【職業】

- ・事務・技術職は「家計の状態」が良くなったと回答する割合が高い。販売・生産・労務職、パート・アルバイトは「通勤や買い物の便利さ」が良くなったと回答する割合が高い。無職は「ごみの収集や処理の状況」が良くなったと回答する割合が高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 1-1 良くなったところ (MA) 【性別】【年代】【職業】【居住地区 (15 区分)】【居住地区 (2 区分)】【居住年数】

※問 1 で「かなり良くなった」「少し良くなった」と回答した人のみ

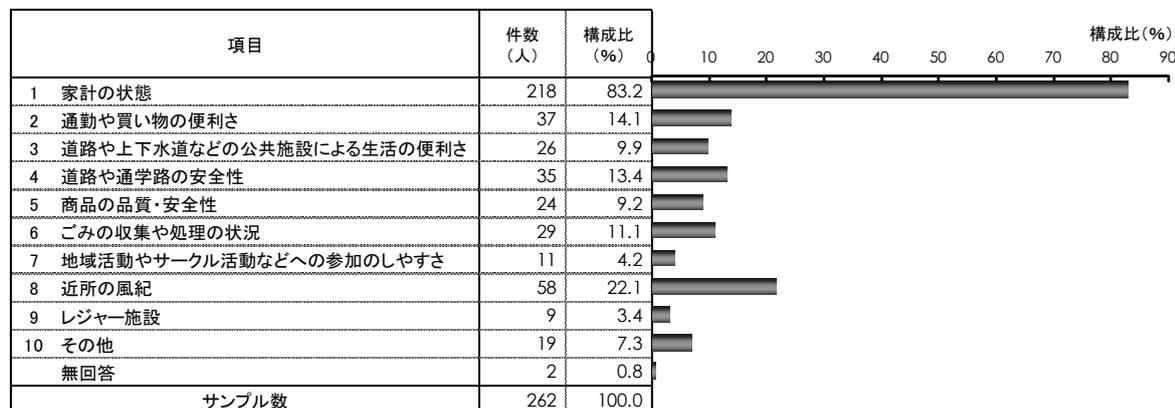
		()内は サンプル 数	家計の状態	通勤や買い物の 利便性	道路や上下水道などの 公共施設による生活の 利便性	道路や通学 路の安全性	商品の品 質・安全性	ごみの収集 や処理の状 況	地域活動や サークル活 動などへの 参加のしや すさ	近所の風紀	レジャー施 設	その他	無回答
全体		(146)	23.3	37.0	36.3	30.8	7.5	30.1	9.6	6.8	3.4	5.5	1.4
性別	男性	(60)	16.7	36.7	45.0	36.7	8.3	26.7	15.0	3.3	5.0	3.3	1.7
	女性	(84)	27.4	38.1	29.8	27.4	7.1	33.3	6.0	9.5	2.4	7.1	1.2
年代	20代	(11)	18.2	36.4	36.4	27.3	-	18.2	-	-	-	9.1	-
	30代	(28)	25.0	53.6	25.0	21.4	3.6	14.3	7.1	3.6	7.1	14.3	-
	40代	(22)	40.9	36.4	31.8	40.9	13.6	22.7	4.5	9.1	-	9.1	-
	50代	(23)	21.7	47.8	39.1	26.1	8.7	43.5	13.0	4.3	8.7	-	4.3
	60代	(33)	24.2	30.3	36.4	36.4	12.1	27.3	12.1	15.2	-	-	-
	70歳以上	(29)	10.3	20.7	48.3	31.0	3.4	48.3	13.8	3.4	3.4	3.4	3.4
職業	専門職	(3)	33.3	66.7	66.7	66.7	33.3	100.0	66.7	33.3	-	-	-
	管理職	(8)	37.5	25.0	37.5	25.0	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-
	事務・技術職	(15)	40.0	26.7	33.3	33.3	13.3	26.7	6.7	6.7	-	6.7	-
	販売・生産・労務職	(16)	25.0	56.3	31.3	31.3	-	18.8	-	-	6.3	6.3	-
	農林水産業従事者	(6)	-	16.7	33.3	66.7	-	33.3	16.7	-	16.7	-	-
	自営業	(11)	27.3	27.3	36.4	18.2	9.1	27.3	27.3	-	18.2	-	9.1
	パート・アルバイト	(26)	30.8	42.3	26.9	26.9	11.5	23.1	7.7	11.5	-	7.7	-
	主に家事・育児	(9)	22.2	55.6	22.2	11.1	-	11.1	-	11.1	-	11.1	-
	学生	(2)	-	50.0	50.0	-	-	-	-	-	-	50.0	-
	無職	(42)	14.3	31.0	38.1	35.7	4.8	42.9	4.8	4.8	2.4	2.4	2.4
	その他	(6)	16.7	50.0	83.3	33.3	16.7	16.7	33.3	-	-	-	-
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)	(75)	28.0	42.7	41.3	26.7	9.3	32.0	13.3	9.3	5.3	6.7	-
	板荷	(3)	-	-	-	100.0	-	66.7	-	-	-	-	-
	西大戸	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	加蘇	(2)	50.0	-	50.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-
	北大飼	(6)	16.7	-	50.0	16.7	16.7	33.3	-	-	-	16.7	-
	南摩	(14)	7.1	50.0	35.7	50.0	7.1	28.6	7.1	-	-	-	-
	南押原	(5)	20.0	40.0	60.0	40.0	-	-	20.0	-	-	-	-
	東大戸	(4)	-	-	25.0	25.0	50.0	25.0	25.0	50.0	-	-	-
	菊沢	(10)	10.0	30.0	20.0	30.0	-	30.0	-	-	-	10.0	10.0
	北押原	(5)	60.0	-	20.0	20.0	-	40.0	-	20.0	-	-	-
	東部台	(7)	28.6	28.6	-	28.6	-	14.3	-	-	-	-	-
	栗野	(3)	33.3	33.3	-	-	-	66.7	-	-	33.3	-	33.3
	粕尾	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	永野	(1)	-	100.0	100.0	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	清州	(5)	-	60.0	80.0	60.0	-	20.0	20.0	-	-	-	-
地区名がわからない	(6)	33.3	50.0	16.7	33.3	-	-	-	-	-	16.7	-	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(131)	23.7	35.1	35.9	30.5	8.4	30.5	9.9	7.6	3.1	5.3	0.8
	旧栗野町	(9)	11.1	55.6	55.6	33.3	-	44.4	11.1	-	11.1	-	11.1
	地区名がわからない	(6)	33.3	50.0	16.7	33.3	-	-	-	-	-	16.7	-
居住年数	5年以下	(13)	38.5	46.2	15.4	7.7	7.7	-	7.7	15.4	-	15.4	-
	6～10年	(6)	33.3	50.0	16.7	33.3	-	50.0	-	16.7	-	16.7	-
	11～20年	(17)	35.3	23.5	35.3	41.2	5.9	17.6	11.8	11.8	-	17.6	-
	21年以上	(107)	18.7	38.3	39.3	32.7	7.5	34.6	10.3	4.7	4.7	1.9	1.9

(構成比: %)

問 1-2 問 1 で 4 番あるいは 5 番とお答えの方にお聞きします。どういうところが悪くなったと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 1-2 悪くなったところ (MA)

※問 1 で「少し悪くなった」「かなり悪くなった」と回答した人のみ



問 1-2 暮らしの変化“悪くなったところ”

～「家計の状態」が 8 割を超える～

【全体】

- ・ここ 2～3 年の暮らし向きが「悪くなった」と回答した人に対し、悪くなったところを尋ねたところ、「家計の状態」をあげた人は 83.2%に達している。次いで「近所の風紀」22.1%、「通勤や買い物の便利さ」14.1%となっている。
- ・前回調査と比べると、「近所の風紀」は前回 15.0%から 7.1 ポイント増加している。

【性別】

- ・女性は男性より「家計の状態」「商品の品質・安全性」が悪くなったと回答する割合が高い。

【年代】

- ・40 代、60 代、70 歳以上では「家計の状態」が悪くなったと回答する割合が 9 割近くと高い。また、40 代では「道路や通学路の安全性」が悪くなったと回答する割合が 29.2%と他の年代に比べて高く、50 代では「近所の風紀」が悪くなったと回答する割合が 28.3%と他の年代に比べて高い。

【職業】

- ・パート・アルバイト、主に家事、育児の人は「家計の状態」が悪くなったと回答する割合が 9 割を超える。また販売・生産・労務職、主に家事、育児の人は「近所の風紀」が悪くなったと回答する割合が高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 1-2 悪くなったところ (MA) 【性別】 【年代】 【職業】 【居住地区 (15 区分)】 【居住地区 (2 区分)】 【居住年数】

※問 1 で「少し悪くなった」「かなり悪くなった」と回答した人のみ

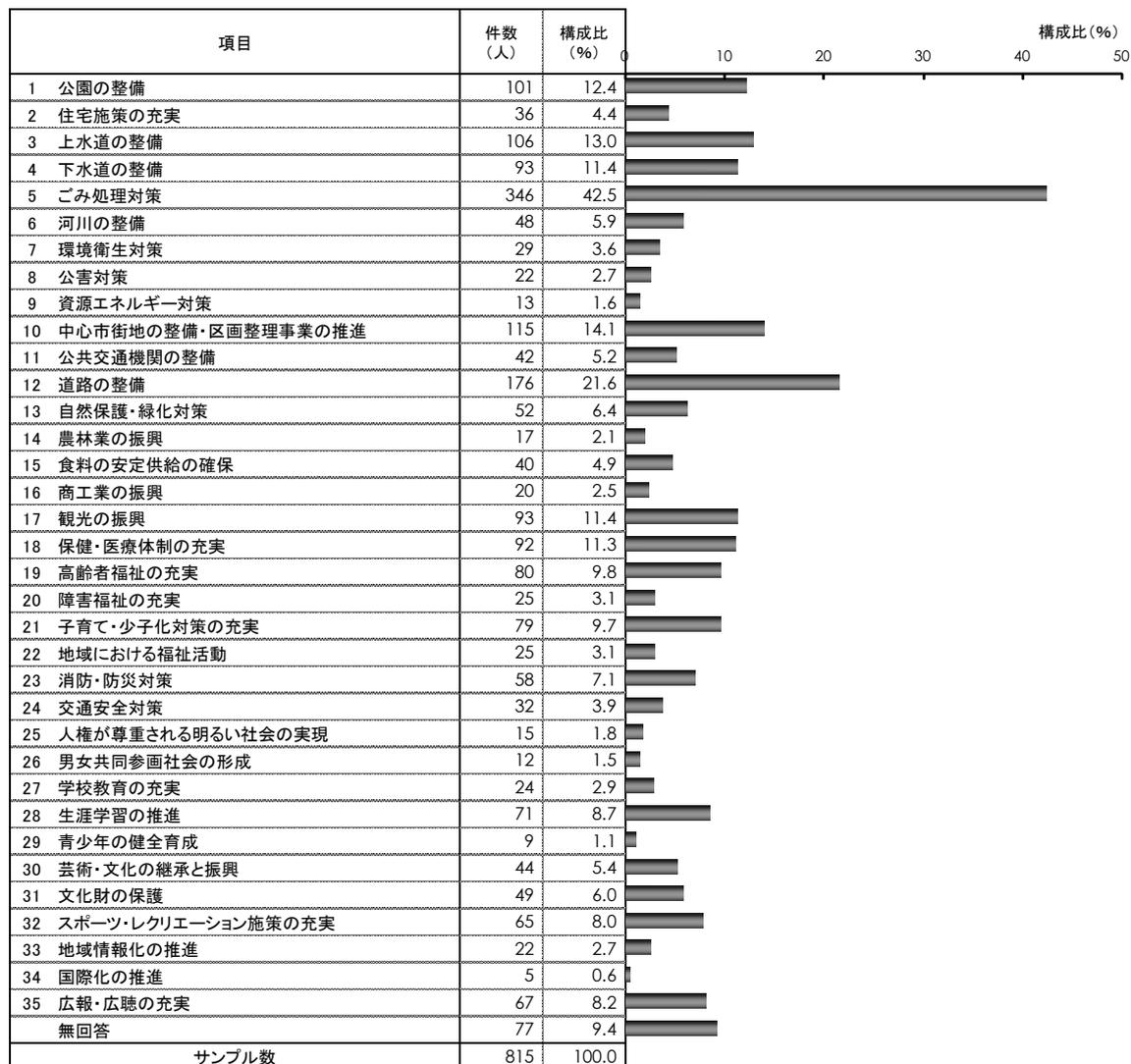
		()内は サンプル 数	家計の状態	通勤や買い物 の利便さ	道路や上下 水道などの 公共施設に よる生活の 利便さ	道路や通学 路の安全性	商品の品 質・安全性	ごみの収集 や処理の状 況	地域活動や サークル活 動などへの 参加のしや すさ	近所の風紀	レジャー施 設	その他	無回答
全体		(262)	83.2	14.1	9.9	13.4	9.2	11.1	4.2	22.1	3.4	7.3	0.8
性別	男性	(114)	78.9	14.0	9.6	14.0	5.3	9.6	4.4	23.7	4.4	7.9	1.8
	女性	(148)	86.5	14.2	10.1	12.8	12.2	12.2	4.1	20.9	2.7	6.8	-
年代	20代	(13)	69.2	-	-	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	-	7.7	-
	30代	(34)	73.5	8.8	8.8	17.6	2.9	17.6	8.8	23.5	2.9	11.8	-
	40代	(48)	87.5	25.0	10.4	29.2	12.5	12.5	2.1	25.0	6.3	8.3	-
	50代	(53)	79.2	7.5	11.3	11.3	7.5	18.9	1.9	28.3	3.8	7.5	-
	60代	(83)	88.0	12.0	13.3	6.0	10.8	3.6	3.6	20.5	1.2	6.0	1.2
	70歳以上	(31)	87.1	25.8	3.2	9.7	9.7	6.5	6.5	9.7	6.5	3.2	3.2
職業	専門職	(2)	100.0	100.0	-	50.0	-	-	-	-	50.0	-	-
	管理職	(9)	66.7	11.1	11.1	22.2	-	11.1	11.1	33.3	11.1	-	-
	事務・技術職	(34)	64.7	20.6	17.6	14.7	2.9	14.7	5.9	23.5	5.9	11.8	-
	販売・生産・労務職	(31)	77.4	9.7	12.9	12.9	9.7	12.9	3.2	32.3	3.2	6.5	-
	農林水産業従事者	(8)	75.0	-	-	25.0	12.5	-	-	37.5	-	25.0	12.5
	自営業	(28)	85.7	10.7	7.1	7.1	14.3	14.3	3.6	14.3	3.6	3.6	-
	パート・アルバイト	(49)	93.9	10.2	10.2	16.3	10.2	12.2	2.0	16.3	-	6.1	-
	主に家事、育児	(23)	91.3	17.4	4.3	13.0	17.4	13.0	8.7	34.8	4.3	8.7	-
	学生	(1)	100.0	-	-	-	-	100.0	-	-	-	-	-
	無職	(66)	83.3	18.2	10.6	6.1	7.6	4.5	3.0	15.2	1.5	7.6	1.5
その他	(10)	100.0	-	-	30.0	10.0	20.0	10.0	40.0	10.0	-	-	
居住地区 (15 区分)	鹿沼(中央・東部・北部)	(124)	82.3	10.5	8.1	15.3	8.9	16.9	2.4	25.8	4.0	5.6	0.8
	板荷	(8)	100.0	25.0	25.0	-	25.0	-	12.5	-	-	12.5	-
	西大戸	(4)	100.0	25.0	-	25.0	-	-	-	25.0	50.0	-	-
	加藤	(8)	75.0	12.5	12.5	-	-	12.5	-	25.0	-	-	-
	北大飼	(12)	83.3	16.7	25.0	8.3	16.7	8.3	8.3	-	-	-	-
	南摩	(7)	57.1	14.3	-	-	14.3	-	14.3	57.1	14.3	28.6	-
	南押原	(12)	91.7	41.7	16.7	25.0	16.7	-	-	8.3	-	-	-
	東大戸	(6)	66.7	-	-	16.7	-	-	-	16.7	-	16.7	16.7
	菊沢	(20)	95.0	-	10.0	5.0	-	10.0	-	20.0	5.0	10.0	-
	北押原	(16)	93.8	18.8	18.8	18.8	12.5	-	6.3	12.5	-	12.5	-
	東部台	(6)	100.0	-	-	-	16.7	33.3	-	50.0	-	-	-
	栗野	(11)	81.8	9.1	-	9.1	-	-	18.2	-	-	-	-
	粕尾	(7)	71.4	42.9	-	28.6	14.3	-	14.3	28.6	-	-	-
	永野	(6)	66.7	33.3	16.7	16.7	-	16.7	16.7	66.7	-	16.7	-
	清州	(5)	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-
地区名がわからない	(7)	85.7	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	-	14.3	-	
居住地区 (2 区分)	旧鹿沼市	(223)	84.8	12.6	10.3	13.0	9.4	12.1	3.1	22.4	4.0	6.7	0.9
	旧栗野町	(29)	72.4	27.6	6.9	17.2	6.9	6.9	13.8	24.1	-	6.9	-
	地区名がわからない	(7)	85.7	14.3	-	14.3	14.3	-	-	-	-	14.3	-
居住年数	5年以下	(8)	75.0	12.5	12.5	25.0	-	37.5	12.5	25.0	-	-	-
	6~10年	(10)	70.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	20.0	-
	11~20年	(33)	78.8	18.2	9.1	18.2	15.2	9.1	9.1	36.4	-	9.1	-
	21年以上	(202)	85.1	14.4	10.4	12.4	8.4	10.4	3.5	21.3	4.5	6.9	0.5

(構成比: %)

2) 市政に対する現状評価について

問 2 市では、“花と緑と清流のまち”“笑顔あふれる優しいまち”の創造を目指して様々な業務に取り組んでいます。市政に対して、充実していると思われるものを、次の中から3つ選んで番号をお書きください。
(MA・3つまで)

問 2 市政において充実していると思うもの (MA・3つまで)



問2 市政において充実していると思うもの
～「ごみ処理対策」が最も高い評価、ハード事業への評価は総じて高い～

【全体】

- ・ 市政において充実していると思うものとしては、「ごみ処理対策」が42.5%で最も高く、次いで「道路の整備」21.6%、「中心市街地の整備・区画整理事業の推進」14.1%と続き、ハード事業への評価が高くなっている。これは、前回調査においても同様であった。一方、「人権が尊重される明るい社会の実現」1.8%、「男女共同参画社会の形成」1.5%、といった福祉や人権問題に対する取り組み、「青少年の健全育成」1.1%、「資源エネルギー対策」1.6%、「国際化の推進」0.6%などについての評価は低かった。

【年代】

- ・ 30代では、「子育て・少子化対策の充実」「スポーツ・レクリエーション施策の充実」への評価が他の年代より高く、70歳以上では「保健・医療体制の充実」「高齢者福祉の充実」への評価が他の年代より高い。

【居住地区】

- ・ 南摩では「上水道の整備」「下水道の整備」、北押原では「ごみ処理対策」、菊沢、東部台では「中心市街地の整備・区画整理事業の推進」、粕尾では「高齢者福祉の充実」「子育て・少子化対策の充実」への評価が他の地区に比べて高い。
- ・ 旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市では「中心市街地の整備・区画整理事業の推進」「下水道の整備」への評価が旧粟野町より高い。一方、旧粟野町では「高齢者福祉の充実」への評価が旧鹿沼市より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問2 市政において充実していると思うもの（MA・3つまで）【年代】

		()内は サンプル 数	公園の整備	住宅施策の 充実	上水道の整備	下水道の整備	ごみ処理対策	河川の整備	環境衛生対策	公害対策	資源エネルギー対策	中心市街地の整備・区画整理事業の推進	公共交通機関の整備	道路の整備
全体		(815)	12.4	4.4	13.0	11.4	42.5	5.9	3.6	2.7	1.6	14.1	5.2	21.6
年代	20代	(67)	16.4	7.5	7.5	7.5	25.4	9.0	7.5	3.0	1.5	13.4	6.0	23.9
	30代	(115)	15.7	0.9	11.3	7.8	46.1	5.2	4.3	0.9	3.5	11.3	8.7	17.4
	40代	(124)	14.5	5.6	16.9	8.9	33.9	6.5	4.0	4.0	1.6	14.5	3.2	25.0
	50代	(157)	13.4	4.5	10.8	10.8	39.5	8.3	3.8	4.5	1.3	15.3	0.6	16.6
	60代	(219)	11.0	3.7	15.5	14.2	51.6	4.1	2.3	2.3	1.4	16.0	8.2	24.7
	70歳以上	(132)	6.8	6.1	12.1	15.2	44.7	4.5	2.3	1.5	0.8	12.1	3.8	21.2

		()内は サンプル 数	自然保護・緑化対策	農林業の振興	食料の安定供給の確保	商工業の振興	観光の振興	保健・医療体制の充実	高齢者福祉の充実	障害福祉の充実	子育て・少子化対策の充実	地域における福祉活動	消防・防災対策	交通安全対策
全体		(815)	6.4	2.1	4.9	2.5	11.4	11.3	9.8	3.1	9.7	3.1	7.1	3.9
年代	20代	(67)	11.9	1.5	4.5	3.0	10.4	10.4	7.5	6.0	17.9	-	4.5	10.4
	30代	(115)	8.7	4.3	3.5	5.2	18.3	7.0	2.6	0.9	21.7	1.7	4.3	2.6
	40代	(124)	7.3	0.8	6.5	2.4	16.1	8.9	5.6	4.0	14.5	2.4	10.5	4.0
	50代	(157)	8.3	2.5	1.9	1.9	14.6	5.7	8.9	3.2	8.9	5.1	8.9	5.1
	60代	(219)	3.7	2.3	6.8	1.4	9.1	14.6	11.4	2.3	3.7	0.9	6.8	0.9
	70歳以上	(132)	3.0	0.8	5.3	2.3	1.5	18.2	19.7	3.8	1.5	7.6	6.1	5.3

		()内は サンプル 数	人権が尊重される明るい社会の実現	男女共同参画社会の形成	学校教育の充実	生涯学習の推進	青少年の健全育成	芸術・文化の継承と振興	文化財の保護	スポーツ・レクリエーション施策の充実	地域情報化の推進	国際化の推進	広報・広聴の充実	無回答
全体		(815)	1.8	1.5	2.9	8.7	1.1	5.4	6.0	8.0	2.7	0.6	8.2	9.4
年代	20代	(67)	1.5	1.5	4.5	3.0	3.0	6.0	9.0	7.5	4.5	3.0	7.5	6.0
	30代	(115)	-	-	1.7	5.2	0.9	10.4	9.6	18.3	1.7	-	7.8	6.1
	40代	(124)	1.6	0.8	1.6	8.1	0.8	6.5	9.7	11.3	1.6	1.6	6.5	6.5
	50代	(157)	3.2	3.2	4.5	11.5	1.9	4.5	4.5	6.4	3.2	0.6	5.7	12.1
	60代	(219)	0.9	1.4	1.4	11.4	0.9	3.7	5.5	3.7	1.4	-	8.7	11.0
	70歳以上	(132)	3.8	1.5	5.3	7.6	-	3.8	0.8	5.3	4.5	-	12.9	11.4

(構成比:%)

問 2 市政において充実していると思うもの (MA・3つまで)【居住地区 (15区分)】

		()内は サンプル 数	公園の整備	住宅施策の 充実	上水道の整 備	下水道の整 備	ごみ処理対 策	河川の整備	環境衛生対 策	公害対策	資源エネル ギー対策	中心市街地 の整備・区画 整理事業の 推進	公共交通機 関の整備	道路の整備
全体		(815)	12.4	4.4	13.0	11.4	42.5	5.9	3.6	2.7	1.6	14.1	5.2	21.6
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	16.6	6.2	12.1	12.1	39.6	7.3	4.8	3.4	0.8	15.2	5.1	20.8
	板荷	(22)	13.6	-	-	-	36.4	-	4.5	9.1	-	9.1	9.1	-
	西大戸	(8)	25.0	-	-	12.5	75.0	12.5	-	-	-	12.5	-	-
	加蘇	(19)	10.5	5.3	10.5	5.3	31.6	-	-	-	10.5	5.3	5.3	21.1
	北犬飼	(54)	13.0	-	3.7	3.7	42.6	-	1.9	1.9	1.9	13.0	-	24.1
	南摩	(36)	5.6	2.8	33.3	41.7	36.1	5.6	2.8	-	-	8.3	13.9	27.8
	南押原	(45)	4.4	-	6.7	8.9	51.1	-	4.4	2.2	4.4	13.3	6.7	13.3
	東大戸	(25)	4.0	8.0	28.0	8.0	32.0	12.0	4.0	-	-	8.0	-	28.0
	菊沢	(65)	4.6	3.1	18.5	9.2	49.2	6.2	-	3.1	-	21.5	4.6	24.6
	北押原	(52)	9.6	1.9	11.5	7.7	57.7	5.8	3.8	5.8	3.8	11.5	1.9	30.8
	東部台	(28)	10.7	7.1	25.0	21.4	46.4	7.1	3.6	-	3.6	28.6	7.1	25.0
	粟野	(31)	9.7	6.5	12.9	16.1	51.6	9.7	3.2	-	-	3.2	3.2	22.6
	粕尾	(13)	23.1	-	7.7	-	15.4	-	-	-	-	15.4	-	15.4
	永野	(16)	12.5	12.5	12.5	-	50.0	12.5	-	-	6.3	6.3	6.3	6.3
	清州	(17)	5.9	-	17.6	5.9	41.2	5.9	5.9	-	-	17.6	-	35.3
地区名がわからない	(24)	12.5	4.2	8.3	8.3	33.3	4.2	-	-	4.2	16.7	16.7	25.0	

		()内は サンプル 数	自然保護・緑 化対策	農林業の振 興	食料の安定 供給の確保	商工業の振 興	観光の振興	保健・医療体 制の充実	高齢者福祉 の充実	障害福祉の 充実	子育て・少子 化対策の充 実	地域における 福祉活動	消防・防災対 策	交通安全対 策
全体		(815)	6.4	2.1	4.9	2.5	11.4	11.3	9.8	3.1	9.7	3.1	7.1	3.9
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	7.0	0.8	6.2	2.8	11.8	9.8	10.1	1.7	13.2	2.5	7.3	4.5
	板荷	(22)	18.2	4.5	9.1	-	18.2	4.5	4.5	-	22.7	-	4.5	4.5
	西大戸	(8)	12.5	12.5	-	-	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	-	-
	加蘇	(19)	5.3	-	-	-	21.1	-	5.3	5.3	-	-	5.3	5.3
	北犬飼	(54)	3.7	1.9	5.6	-	9.3	18.5	7.4	3.7	9.3	3.7	5.6	5.6
	南摩	(36)	5.6	-	5.6	2.8	8.3	13.9	5.6	5.6	5.6	5.6	-	-
	南押原	(45)	6.7	2.2	8.9	2.2	4.4	13.3	8.9	6.7	4.4	4.4	15.6	2.2
	東大戸	(25)	16.0	8.0	12.0	-	12.0	20.0	16.0	-	-	-	8.0	4.0
	菊沢	(65)	3.1	4.6	3.1	6.2	13.8	10.8	12.3	4.6	7.7	1.5	1.5	1.5
	北押原	(52)	3.8	-	-	1.9	7.7	9.6	5.8	3.8	5.8	3.8	15.4	5.8
	東部台	(28)	3.6	-	3.6	3.6	14.3	10.7	10.7	-	-	3.6	10.7	-
	粟野	(31)	-	-	-	3.2	9.7	9.7	12.9	-	9.7	12.9	6.5	3.2
	粕尾	(13)	15.4	15.4	-	-	-	15.4	30.8	-	23.1	7.7	-	7.7
	永野	(16)	18.8	-	-	-	18.8	-	12.5	12.5	-	-	6.3	-
	清州	(17)	-	5.9	-	5.9	17.6	23.5	5.9	-	-	-	5.9	5.9
地区名がわからない	(24)	-	8.3	-	-	8.3	20.8	8.3	12.5	12.5	-	8.3	4.2	

		()内は サンプル 数	人権が尊重さ れる明るい社 会の実現	男女共同参 画社会の形 成	学校教育の 充実	生涯学習の 推進	青少年の健 全育成	芸術・文化の 継承と振興	文化財の保 護	スポーツ・レク リエーション 施策の充実	地域情報化 の推進	国際化の推 進	広報・広聴の 充実	無回答
全体		(815)	1.8	1.5	2.9	8.7	1.1	5.4	6.0	8.0	2.7	0.6	8.2	9.4
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	1.1	1.1	2.0	7.6	0.3	5.9	7.0	9.0	2.5	0.6	7.0	7.9
	板荷	(22)	9.1	-	9.1	9.1	4.5	4.5	13.6	9.1	9.1	4.5	9.1	13.6
	西大戸	(8)	-	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	12.5	-
	加蘇	(19)	-	-	5.3	10.5	-	10.5	10.5	10.5	-	-	15.8	21.1
	北犬飼	(54)	3.7	-	5.6	3.7	-	7.4	7.4	9.3	3.7	1.9	11.1	16.7
	南摩	(36)	2.8	5.6	-	5.6	8.3	-	-	8.3	-	2.8	2.8	5.6
	南押原	(45)	-	-	4.4	8.9	2.2	-	6.7	11.1	2.2	-	8.9	11.1
	東大戸	(25)	-	-	8.0	12.0	-	16.0	-	8.0	-	-	8.0	4.0
	菊沢	(65)	3.1	1.5	3.1	13.8	3.1	6.2	4.6	6.2	-	-	9.2	9.2
	北押原	(52)	1.9	-	-	13.5	-	-	1.9	3.8	3.8	-	9.6	15.4
	東部台	(28)	-	7.1	-	7.1	-	7.1	-	7.1	-	-	7.1	-
	粟野	(31)	3.2	-	6.5	9.7	-	9.7	-	6.5	9.7	-	6.5	12.9
	粕尾	(13)	-	15.4	7.7	15.4	-	15.4	7.7	15.4	15.4	-	15.4	-
	永野	(16)	-	-	6.3	12.5	6.3	-	12.5	-	-	-	12.5	12.5
	清州	(17)	-	5.9	-	5.9	-	5.9	17.6	5.9	5.9	-	23.5	5.9
地区名がわからない	(24)	4.2	-	4.2	4.2	-	-	4.2	4.2	-	-	-	16.7	

(構成比: 96) (%)

問 2 市政において充実していると思うもの (MA・3つまで)【居住地区 (2区分)】

		()内は サンプル 数	公園の整備	住宅施策の 充実	上水道の整 備	下水道の整 備	ごみ処理対 策	河川の整備	環境衛生対 策	公害対策	資源エネル ギー対策	中心市街地 の整備・区画 整理事業の 推進	公共交通機 関の整備	道路の整備
全体		(815)	12.4	4.4	13.0	11.4	42.5	5.9	3.6	2.7	1.6	14.1	5.2	21.6
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(710)	12.5	4.4	13.2	11.8	42.7	5.8	3.8	3.0	1.5	14.6	4.9	21.5
	旧栗野町	(77)	11.7	5.2	13.0	7.8	42.9	7.8	2.6	-	1.3	9.1	2.6	20.8
	地区名がわからない	(24)	12.5	4.2	8.3	8.3	33.3	4.2	-	-	4.2	16.7	16.7	25.0

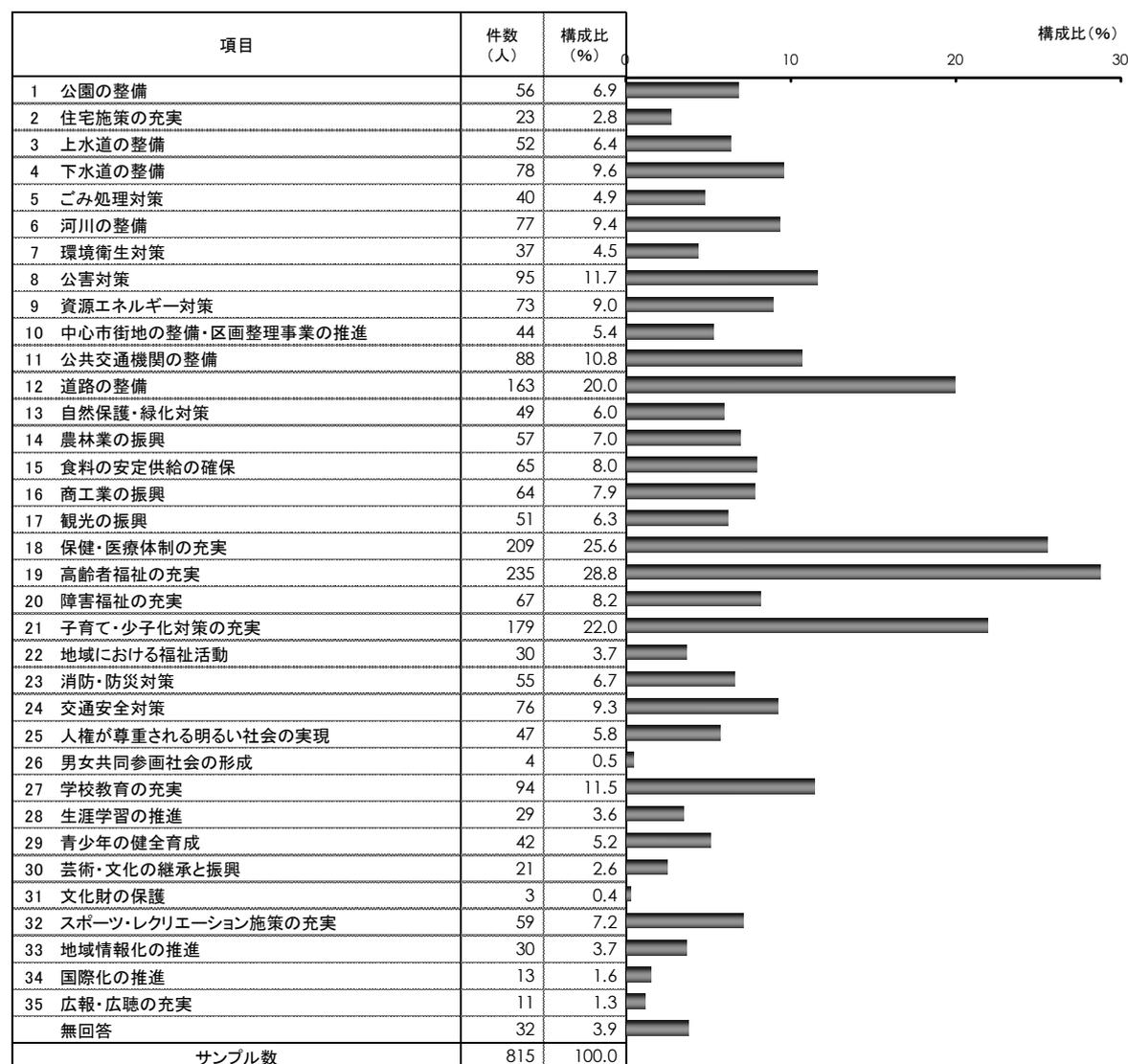
		()内は サンプル 数	自然保護・緑 化対策	農林業の振 興	食料の安定 供給の確保	商工業の振 興	観光の振興	保健・医療体 制の充実	高齢者福祉 の充実	障害福祉の 充実	子育て・少子 化対策の充 実	地域における 福祉活動	消防・防災対 策	交通安全対 策
全体		(815)	6.4	2.1	4.9	2.5	11.4	11.3	9.8	3.1	9.7	3.1	7.1	3.9
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(710)	6.6	1.7	5.5	2.5	11.5	11.0	9.4	2.7	9.9	2.7	7.3	3.8
	旧栗野町	(77)	6.5	3.9	-	2.6	11.7	11.7	14.3	2.6	7.8	6.5	5.2	3.9
	地区名がわからない	(24)	-	8.3	-	-	8.3	20.8	8.3	12.5	12.5	-	8.3	4.2

		()内は サンプル 数	人権が尊重さ れる明るい社 会の実現	男女共同参 画社会の形 成	学校教育の 充実	生涯学習の 推進	青少年の健 全育成	芸術・文化の 継承と振興	文化財の保 護	スポーツ・レ クリエーション 施策の充実	地域情報化 の推進	国際化の推 進	広報・広聴の 充実	無回答
全体		(815)	1.8	1.5	2.9	8.7	1.1	5.4	6.0	8.0	2.7	0.6	8.2	9.4
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(710)	1.7	1.3	2.7	8.6	1.1	5.4	5.9	8.3	2.3	0.7	8.0	9.3
	旧栗野町	(77)	1.3	3.9	5.2	10.4	1.3	7.8	7.8	6.5	7.8	-	13.0	9.1
	地区名がわからない	(24)	4.2	-	4.2	4.2	-	-	4.2	4.2	-	-	-	16.7

(構成比:%)

問 3 市政に対して、今後、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中から 3 つ選んで番号をお書きください。(MA・3 つまで)

問 3 市政において力を入れてほしいこと (MA・3 つまで)



問 3 市政において力を入れてほしいこと
～福祉・保健・子育ての充実を望む声が高い～

【全体】

- ・ 市政において、今後力を入れてほしいことは「高齢者福祉の充実」28.8%が最も高く、次いで「保健・医療体制の充実」25.6%、「子育て・少子化対策の充実」22.0%となっている。
- ・ 前回調査と比べると、上位 2 位の順位は変わらないが、「子育て・少子化対策の充実」は前回 18.7%から 3.3 ポイント増加している。

【年代】

- ・ 20 代、30 代では「子育て・少子化対策の充実」、30 代、40 代では「学校教育の充実」、60 代、70 歳以上では「高齢者福祉の充実」の割合が高い。これは、前回調査でも同様の傾向がみられた。他に、20 代では「道路の整備」「交通安全対策」といったハード・ソフトの道路環境に対する要望が高いことがわかる。

【居住地区】

- ・ 板荷、南押原では「上水道の整備」「下水道の整備」、加蘇、永野では「河川の整備」、東大芦では「高齢者福祉の充実」、北押原では「高齢者福祉の充実」「公害対策」、菊沢では「道路の整備」、東部台では「観光の振興」「学校教育の充実」、粕尾では「子育て・少子化対策の充実」の割合が他の地区より高く、地区により求める市政に違いがみられた。
- ・ 旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市では「道路の整備」「交通安全対策」「公園の整備」と回答した人の割合が旧粟野町より高く、旧粟野町では「河川の整備」「下水道の整備」「農林業の振興」と回答した人の割合が旧鹿沼市より高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 3 市政において力を入れてほしいこと (MA・3つまで)【年代】

()内はサンプル数		公園の整備	住宅施策の充実	上水道の整備	下水道の整備	ごみ処理対策	河川の整備	環境衛生対策	公害対策	資源エネルギー対策	中心市街地の整備・区画整理事業の推進	公共交通機関の整備	道路の整備
全体	(815)	6.9	2.8	6.4	9.6	4.9	9.4	4.5	11.7	9.0	5.4	10.8	20.0
年代	20代 (67)	11.9	6.0	3.0	3.0	10.4	-	3.0	19.4	1.5	6.0	10.4	29.9
	30代 (115)	13.9	1.7	3.5	3.5	4.3	6.1	2.6	8.7	6.1	2.6	9.6	15.7
	40代 (124)	4.0	4.0	4.0	8.9	3.2	8.9	4.0	10.5	15.3	6.5	16.1	21.8
	50代 (157)	7.0	3.2	9.6	15.3	3.8	8.9	3.8	7.6	13.4	6.4	13.4	19.7
	60代 (219)	4.6	1.4	8.2	12.3	4.6	12.3	6.4	13.2	5.9	5.9	8.7	18.7
	70歳以上 (132)	4.5	3.0	6.1	7.6	6.1	12.9	5.3	13.6	9.1	4.5	7.6	19.7

()内はサンプル数		自然保護・緑化対策	農林業の振興	食料の安定供給の確保	商工業の振興	観光の振興	保健・医療体制の充実	高齢者福祉の充実	障害福祉の充実	子育て・少子化対策の充実	地域における福祉活動	消防・防災対策	交通安全対策
全体	(815)	6.0	7.0	8.0	7.9	6.3	25.6	28.8	8.2	22.0	3.7	6.7	9.3
年代	20代 (67)	11.9	-	3.0	10.4	11.9	26.9	13.4	6.0	34.3	3.0	9.0	19.4
	30代 (115)	5.2	7.0	7.0	8.7	5.2	32.2	16.5	10.4	53.0	0.9	7.0	9.6
	40代 (124)	3.2	3.2	7.3	12.1	9.7	25.0	20.2	13.7	22.6	3.2	4.0	8.1
	50代 (157)	8.3	7.6	8.3	7.0	3.2	29.3	26.8	8.9	12.1	1.3	8.3	8.3
	60代 (219)	6.8	9.6	10.0	5.0	7.3	21.5	37.9	6.8	15.5	5.5	8.2	6.4
	70歳以上 (132)	2.3	9.1	8.3	7.6	3.0	22.7	42.4	3.8	10.6	6.8	3.0	11.4

()内はサンプル数		人権が尊重される明るい社会の実現	男女共同参画社会の形成	学校教育の充実	生涯学習の推進	青少年の健全育成	芸術・文化の継承と振興	文化財の保護	スポーツ・レクリエーション施策の充実	地域情報化の推進	国際化の推進	広報・広聴の充実	無回答
全体	(815)	5.8	0.5	11.5	3.6	5.2	2.6	0.4	7.2	3.7	1.6	1.3	3.9
年代	20代 (67)	3.0	1.5	10.4	4.5	3.0	3.0	-	7.5	1.5	4.5	1.5	1.5
	30代 (115)	7.0	0.9	20.9	5.2	2.6	1.7	-	8.7	5.2	1.7	0.9	0.9
	40代 (124)	5.6	-	25.8	3.2	5.6	0.8	-	8.1	3.2	0.8	0.8	1.6
	50代 (157)	5.7	0.6	7.0	3.2	7.0	3.8	0.6	10.2	2.5	1.9	2.5	2.5
	60代 (219)	5.0	0.5	7.3	3.7	4.1	2.3	0.9	5.0	2.7	0.9	1.4	5.9
	70歳以上 (132)	7.6	-	3.0	2.3	7.6	3.8	-	5.3	6.8	1.5	0.8	8.3

(構成比: %) |

問 3 市政において力を入れてほしいこと (MA・3つまで)【居住地区 (15区分)】

()内はサンプル数		公園の整備	住宅施策の充実	上水道の整備	下水道の整備	ごみ処理対策	河川の整備	環境衛生対策	公害対策	資源エネルギー対策	中心市街地の整備・区画整理事業の推進	公共交通機関の整備	道路の整備	
全体	(815)	6.9	2.8	6.4	9.6	4.9	9.4	4.5	11.7	9.0	5.4	10.8	20.0	
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	9.0	5.1	2.8	5.9	5.1	11.0	5.6	9.6	8.7	8.7	12.9	18.5
	板荷	(22)	9.1	-	45.5	22.7	4.5	-	9.1	13.6	13.6	-	4.5	31.8
	西大戸	(8)	-	-	-	-	25.0	-	-	12.5	-	-	-	25.0
	加蘇	(19)	-	-	-	-	5.3	26.3	5.3	-	10.5	5.3	5.3	15.8
	北犬飼	(54)	3.7	1.9	11.1	18.5	3.7	5.6	1.9	16.7	9.3	5.6	9.3	14.8
	南摩	(36)	-	-	5.6	2.8	5.6	5.6	2.8	11.1	5.6	5.6	19.4	25.0
	南押原	(45)	11.1	-	20.0	22.2	2.2	4.4	4.4	13.3	11.1	-	6.7	26.7
	東大戸	(25)	4.0	-	-	20.0	12.0	8.0	8.0	-	12.0	-	8.0	16.0
	菊沢	(65)	6.2	-	6.2	12.3	4.6	10.8	-	13.8	12.3	3.1	3.1	32.3
	北押原	(52)	1.9	3.8	3.8	9.6	1.9	5.8	1.9	21.2	3.8	3.8	11.5	23.1
	東部台	(28)	17.9	3.6	-	-	7.1	-	14.3	10.7	10.7	7.1	10.7	7.1
	粟野	(31)	3.2	-	12.9	19.4	-	16.1	3.2	12.9	9.7	-	12.9	16.1
	粕尾	(13)	-	-	7.7	15.4	-	15.4	7.7	15.4	-	-	7.7	23.1
	永野	(16)	-	-	12.5	6.3	6.3	25.0	-	18.8	6.3	-	12.5	25.0
	清州	(17)	5.9	-	-	17.6	5.9	11.8	5.9	11.8	5.9	5.9	11.8	5.9
地区名がわからない	(24)	8.3	4.2	8.3	-	8.3	-	-	16.7	12.5	-	12.5	12.5	

()内はサンプル数		自然保護・緑化対策	農林業の振興	食料の安定供給の確保	商工業の振興	観光の振興	保健・医療体制の充実	高齢者福祉の充実	障害福祉の充実	子育て・少子化対策の充実	地域における福祉活動	消防・防災対策	交通安全対策	
全体	(815)	6.0	7.0	8.0	7.9	6.3	25.6	28.8	8.2	22.0	3.7	6.7	9.3	
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	5.9	4.5	5.6	10.7	6.7	25.8	27.8	9.8	23.0	3.4	6.7	8.4
	板荷	(22)	-	-	9.1	4.5	9.1	22.7	31.8	4.5	9.1	-	4.5	4.5
	西大戸	(8)	-	12.5	-	37.5	37.5	25.0	12.5	-	-	12.5	37.5	-
	加蘇	(19)	15.8	26.3	10.5	-	5.3	21.1	10.5	5.3	5.3	-	-	26.3
	北犬飼	(54)	5.6	1.9	11.1	5.6	5.6	16.7	29.6	9.3	27.8	3.7	3.7	16.7
	南摩	(36)	2.8	8.3	8.3	8.3	5.6	27.8	25.0	8.3	16.7	-	13.9	22.2
	南押原	(45)	4.4	15.6	6.7	-	6.7	28.9	28.9	6.7	22.2	4.4	6.7	11.1
	東大戸	(25)	-	24.0	16.0	-	-	20.0	48.0	4.0	28.0	4.0	8.0	8.0
	菊沢	(65)	1.5	6.2	10.8	6.2	3.1	29.2	29.2	4.6	18.5	4.6	4.6	10.8
	北押原	(52)	5.8	7.7	11.5	9.6	1.9	30.8	40.4	9.6	25.0	3.8	7.7	1.9
	東部台	(28)	10.7	3.6	7.1	7.1	21.4	28.6	28.6	-	17.9	3.6	10.7	7.1
	粟野	(31)	16.1	9.7	6.5	9.7	3.2	25.8	35.5	9.7	12.9	12.9	3.2	3.2
	粕尾	(13)	7.7	7.7	15.4	-	7.7	7.7	30.8	7.7	53.8	7.7	7.7	-
	永野	(16)	12.5	-	12.5	-	-	31.3	25.0	6.3	25.0	6.3	6.3	-
	清州	(17)	-	29.4	-	5.9	5.9	29.4	17.6	5.9	23.5	-	5.9	11.8
地区名がわからない	(24)	12.5	-	16.7	4.2	4.2	29.2	20.8	12.5	25.0	-	-	12.5	

()内はサンプル数		人権が尊重される明るい社会の実現	男女共同参画社会の形成	学校教育の充実	生涯学習の推進	青少年の健全育成	芸術・文化の継承と振興	文化財の保護	スポーツ・レクリエーション施策の充実	地域情報化の推進	国際化の推進	広報・広聴の充実	無回答	
全体	(815)	5.8	0.5	11.5	3.6	5.2	2.6	0.4	7.2	3.7	1.6	1.3	3.9	
居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	4.5	0.3	13.2	4.5	4.2	2.2	0.6	5.9	4.5	1.7	2.5	3.9
	板荷	(22)	4.5	-	4.5	-	4.5	4.5	-	4.5	-	-	-	9.1
	西大戸	(8)	12.5	-	-	-	-	-	-	12.5	-	-	-	12.5
	加蘇	(19)	15.8	-	5.3	-	5.3	5.3	-	15.8	-	10.5	-	10.5
	北犬飼	(54)	3.7	-	11.1	3.7	1.9	1.9	-	13.0	1.9	-	1.9	5.6
	南摩	(36)	8.3	2.8	11.1	2.8	2.8	-	-	13.9	5.6	-	-	2.8
	南押原	(45)	4.4	2.2	6.7	-	8.9	-	-	-	-	-	-	2.2
	東大戸	(25)	-	-	8.0	-	12.0	8.0	-	8.0	8.0	-	-	-
	菊沢	(65)	7.7	-	7.7	3.1	10.8	4.6	-	7.7	3.1	4.6	-	4.6
	北押原	(52)	9.6	-	15.4	3.8	3.8	-	-	5.8	1.9	-	-	3.8
	東部台	(28)	-	-	21.4	7.1	7.1	3.6	-	3.6	7.1	-	3.6	-
	粟野	(31)	6.5	-	9.7	3.2	3.2	3.2	-	16.1	3.2	-	-	-
	粕尾	(13)	7.7	7.7	15.4	-	-	7.7	-	-	-	-	-	-
	永野	(16)	-	-	-	6.3	18.8	-	-	6.3	6.3	6.3	-	6.3
	清州	(17)	5.9	-	11.8	5.9	5.9	-	5.9	11.8	5.9	-	-	5.9
地区名がわからない	(24)	16.7	-	16.7	4.2	-	4.2	-	8.3	-	4.2	-	4.2	

(構成比:%)

問 3 市政において力を入れてほしいこと (MA・3つまで)【居住地区 (2区分)】

()内はサンプル数		公園の整備	住宅施策の充実	上水道の整備	下水道の整備	ごみ処理対策	河川の整備	環境衛生対策	公害対策	資源エネルギー対策	中心市街地の整備・区画整理事業の推進	公共交通機関の整備	道路の整備
全体	(815)	6.9	2.8	6.4	9.6	4.9	9.4	4.5	11.7	9.0	5.4	10.8	20.0
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (710)	7.3	3.1	6.1	9.2	5.1	8.9	4.8	11.3	9.0	6.1	10.7	20.6
	旧栗野町 (77)	2.6	-	9.1	15.6	2.6	16.9	3.9	14.3	6.5	1.3	11.7	16.9
	地区名がわからない (24)	8.3	4.2	8.3	-	8.3	-	-	16.7	12.5	-	12.5	12.5

()内はサンプル数		自然保護・緑化対策	農林業の振興	食料の安定供給の確保	商工業の振興	観光の振興	保健・医療体制の充実	高齢者福祉の充実	障害福祉の充実	子育て・少子化対策の充実	地域における福祉活動	消防・防災対策	交通安全対策
全体	(815)	6.0	7.0	8.0	7.9	6.3	25.6	28.8	8.2	22.0	3.7	6.7	9.3
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (710)	5.2	6.8	7.7	8.3	6.6	25.8	29.2	8.0	21.5	3.4	7.0	9.9
	旧栗野町 (77)	10.4	11.7	7.8	5.2	3.9	24.7	28.6	7.8	24.7	7.8	5.2	3.9
	地区名がわからない (24)	12.5	-	16.7	4.2	4.2	29.2	20.8	12.5	25.0	-	-	12.5

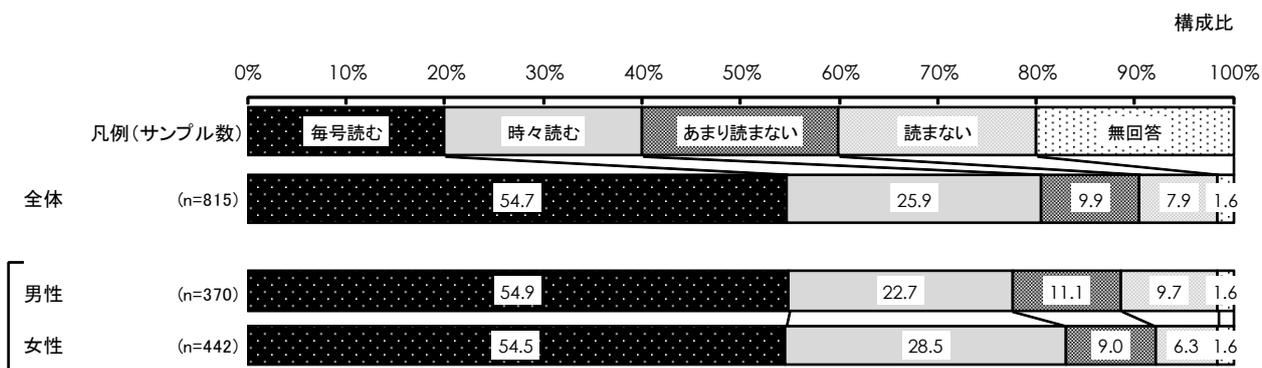
()内はサンプル数		人権が尊重される明るい社会の実現	男女共同参画社会の形成	学校教育の充実	生涯学習の推進	青少年の健全育成	芸術・文化の継承と振興	文化財の保護	スポーツ・レクリエーション施策の充実	地域情報化の推進	国際化の推進	広報・広聴の充実	無回答
全体	(815)	5.8	0.5	11.5	3.6	5.2	2.6	0.4	7.2	3.7	1.6	1.3	3.9
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (710)	5.4	0.4	11.7	3.5	5.2	2.4	0.3	6.8	3.8	1.5	1.5	4.1
	旧栗野町 (77)	5.2	1.3	9.1	3.9	6.5	2.6	1.3	10.4	3.9	1.3	-	2.6
	地区名がわからない (24)	16.7	-	16.7	4.2	-	4.2	-	8.3	-	4.2	-	4.2

(構成比: 9%)

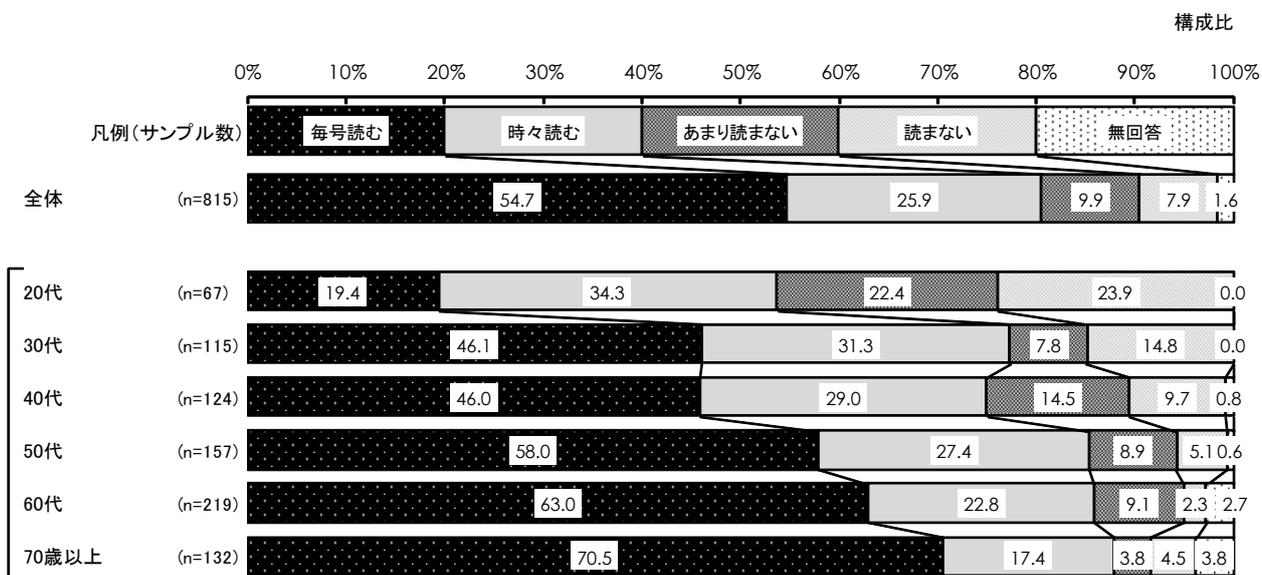
3) 広報活動について

問 4 広報かぬまを読んでいますか。次の中から1つ選んでください。(S A)

問 4 「広報かぬま」を読む頻度 (S A) 【性別】



問 4 「広報かぬま」を読む頻度 (S A) 【年代】



問4 「広報かぬま」を読む頻度

～「毎号読む」人が半数以上、男性で「毎号読む」人が大幅に増加～

【全体】

- ・ 広報かぬまを「毎号読む」と回答した人の割合が54.7%で最も高く、「時々読む」25.9%、「あまり読まない」9.9%、「読まない」7.9%となっている。この傾向は前回調査と変わらない。

【性別】

- ・ 男性で「毎号読む」と回答した人の割合は54.9%で、前回より7.6ポイント増加し、女性の54.5%をわずかながら上回った。

【年代】

- ・ 年代が上がるにつれて「毎号読む」と回答した人の割合が高くなる傾向があり、20代では19.4%なのに対し、70歳以上では70.5%と大きく差があった。また20代ではおよそ4分の1が「読まない」と回答している。

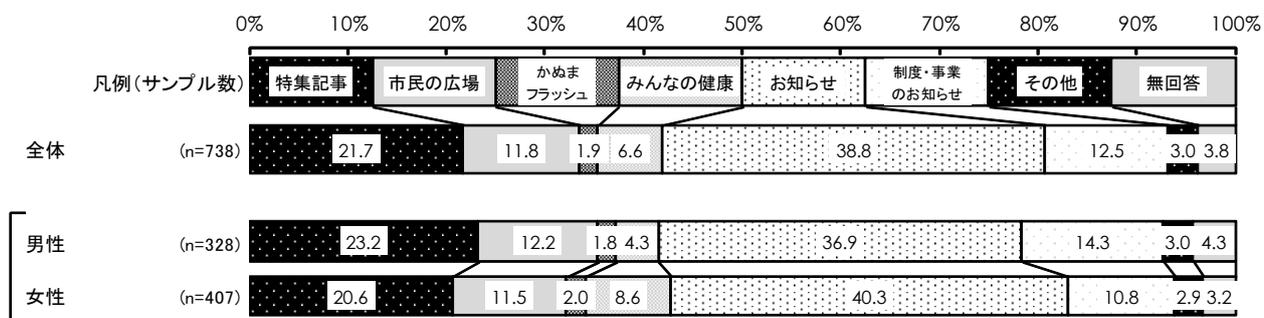
※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 5 広報かぬまのどんな記事をよく読みますか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

問 5 「広報かぬま」で最もよく読む記事 (S A) 【性別】

※問 4 で「広報かぬま」を「毎号読む」「時々読む」「あまり読まない」と回答した人のみ

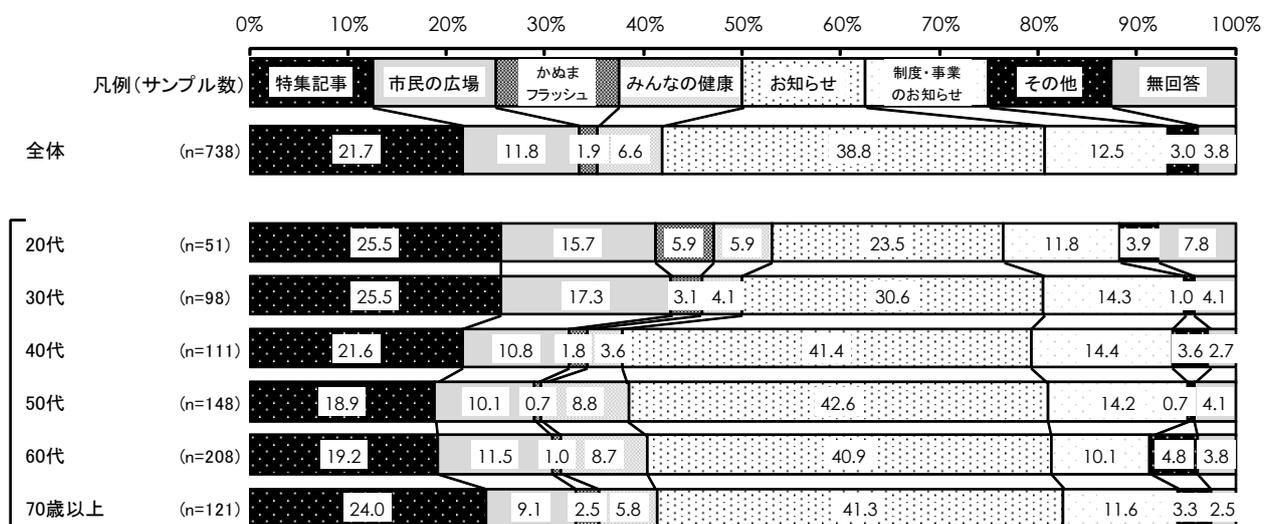
構成比



問 5 「広報かぬま」で最もよく読む記事 (S A) 【年代】

※問 4 で「広報かぬま」を「毎号読む」「時々読む」「あまり読まない」と回答した人のみ

構成比



問 5 「広報かぬま」で最もよく読む記事
～「お知らせ」を最も読む割合が4割弱を占める～

【全体】

- ・ 広報かぬまを読んでいる人に対して、最もよく読む記事を尋ねたところ、「お知らせ」が 38.8%と最も高く、次いで「特集記事」21.7%、「制度・事業のお知らせ」12.5%となっている。

【性別】

- ・ 男性は女性より「特集記事」「制度・事業のお知らせ」を最も読む割合が高い。一方、女性は男性より「みんなの健康」「お知らせ」を最も読む割合が高い。

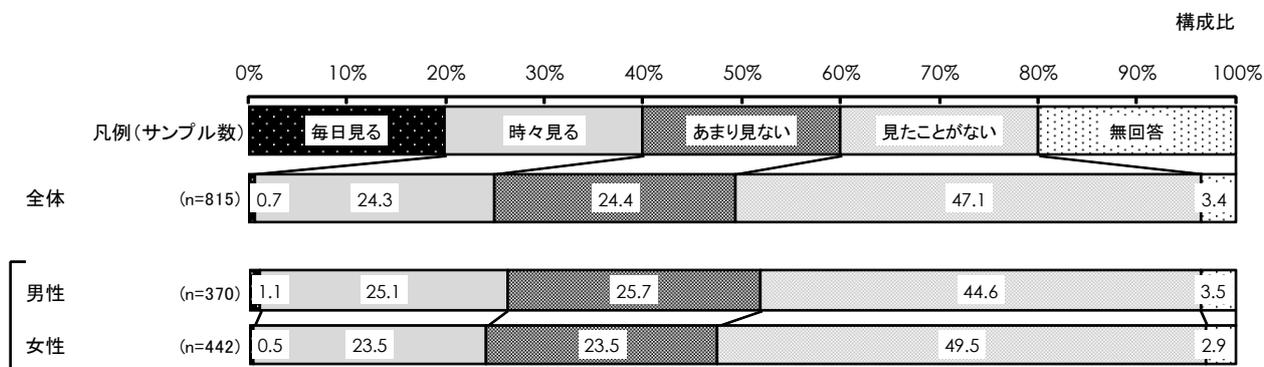
【年代】

- ・ 20 代、30 代では、「特集記事」「市民の広場」を最も読む割合が高いが、40 代以上では「お知らせ」を最も読む割合が 40.0%を超える。

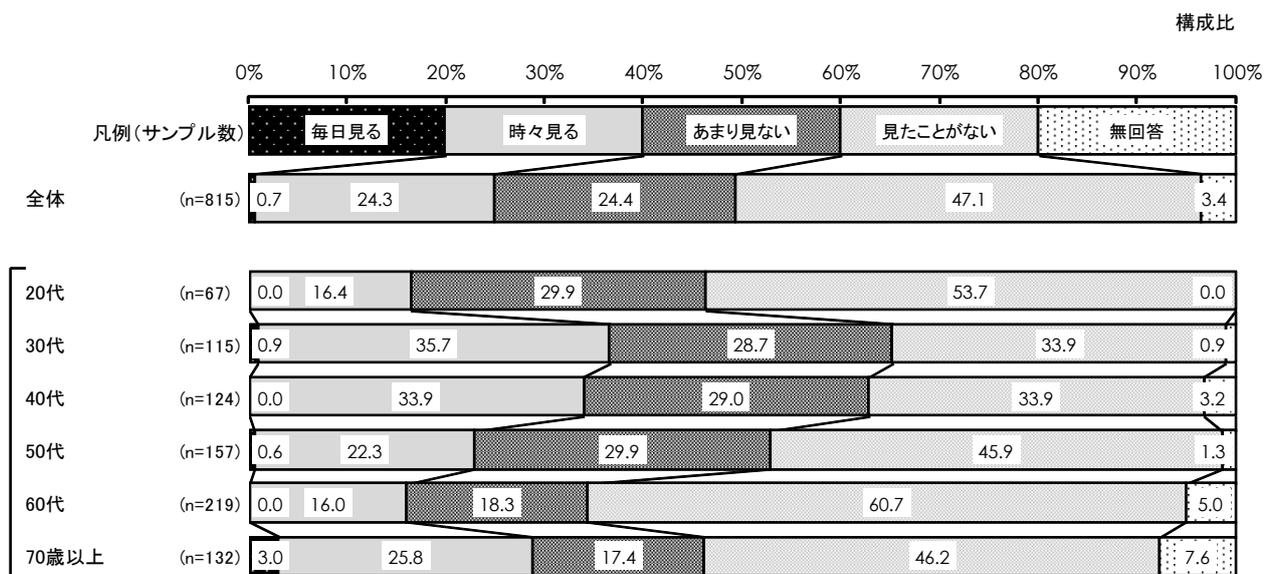
※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 6 市のホームページを見たことがありますか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

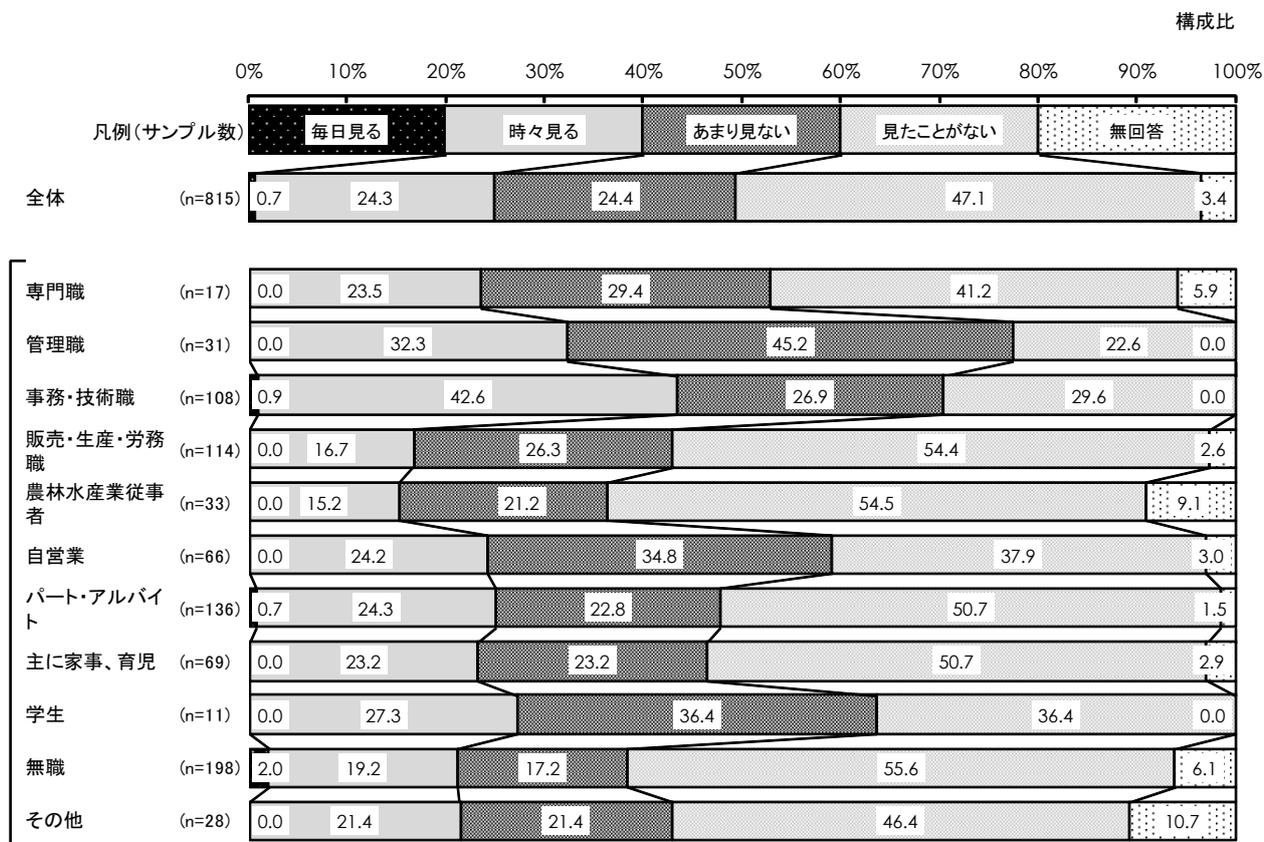
問 6 市のホームページの閲覧経験 (S A) 【性別】



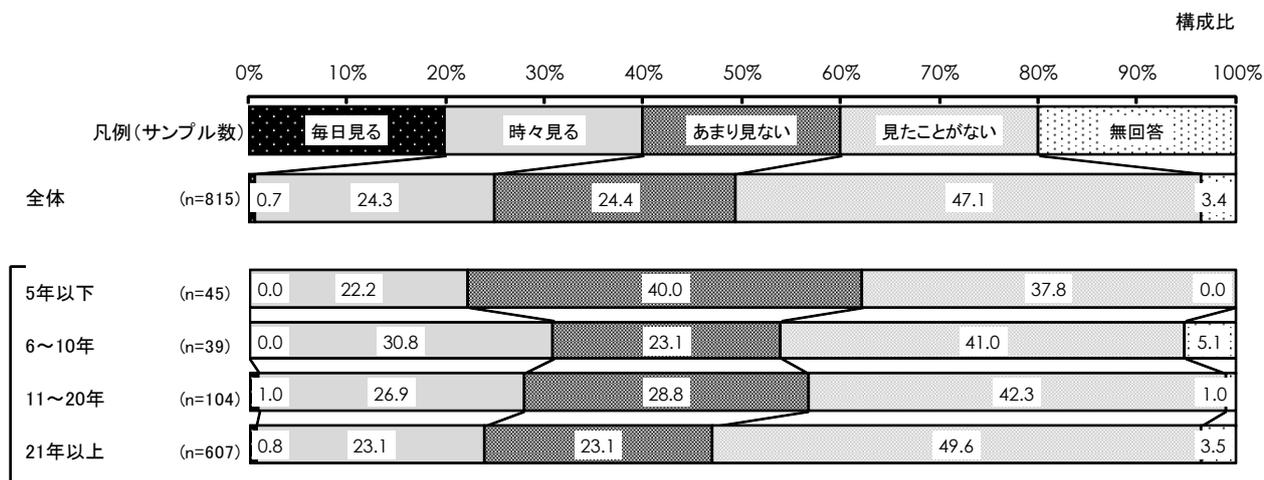
問 6 市のホームページの閲覧経験 (S A) 【年代】



問 6 市のホームページの閲覧経験 (S A) 【職業】



問 6 市のホームページの閲覧経験 (S A) 【居住年数】



問6 市のホームページの閲覧経験

～「見たことがない」が半数程度～

【全体】

- ・市のホームページを「毎日見る」0.7%、「時々見る」24.3%、「あまり見ない」24.4%を合わせた「見たことがある」の合計は49.4%となっている。一方、「見たことがない」と回答した人の割合は47.1%を占める。この傾向は前回調査と変わらない。

【性別】

- ・女性では「見たことがない」と回答した人の割合が49.5%で、男性より4.9ポイント高い。

【年代】

- ・30代では「毎日見る」と「時々見る」を合わせた「見る」割合が36.6%と他の年代に比べて高い。60代では「見たことがない」が6割を占める。

【職業】

- ・事務・技術職では「毎日見る」と「時々見る」を合わせた「見る」割合が43.5%と他の職業に比べて高い。一方、無職、農林水産業従事者では「見たことがない」割合が54.5%と他の職業に比べて高い。

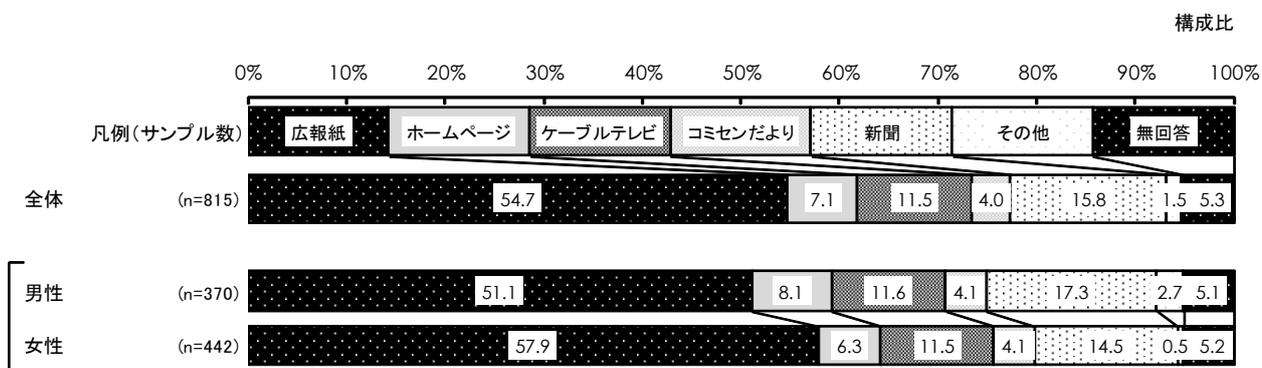
【居住年数】

- ・居住年数が長くなるにつれ、「見たことがない」と回答する割合が高くなっている。

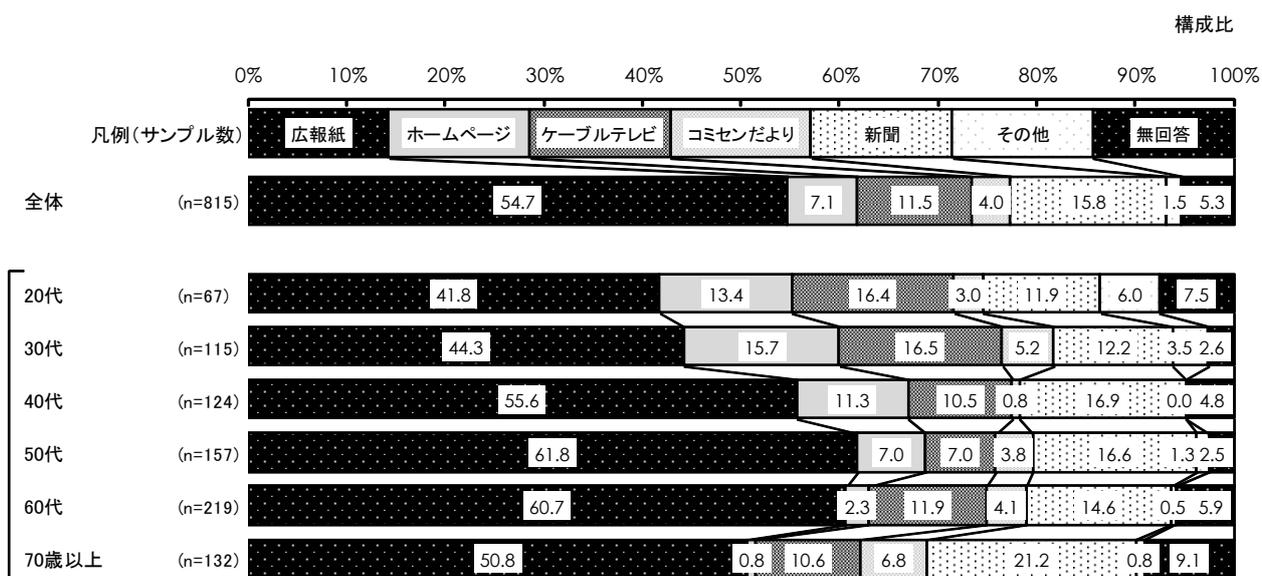
※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 7 行政情報を主にどんなメディア（情報媒体）から入手していますか。次の中から1つ選んでください。
（S A）

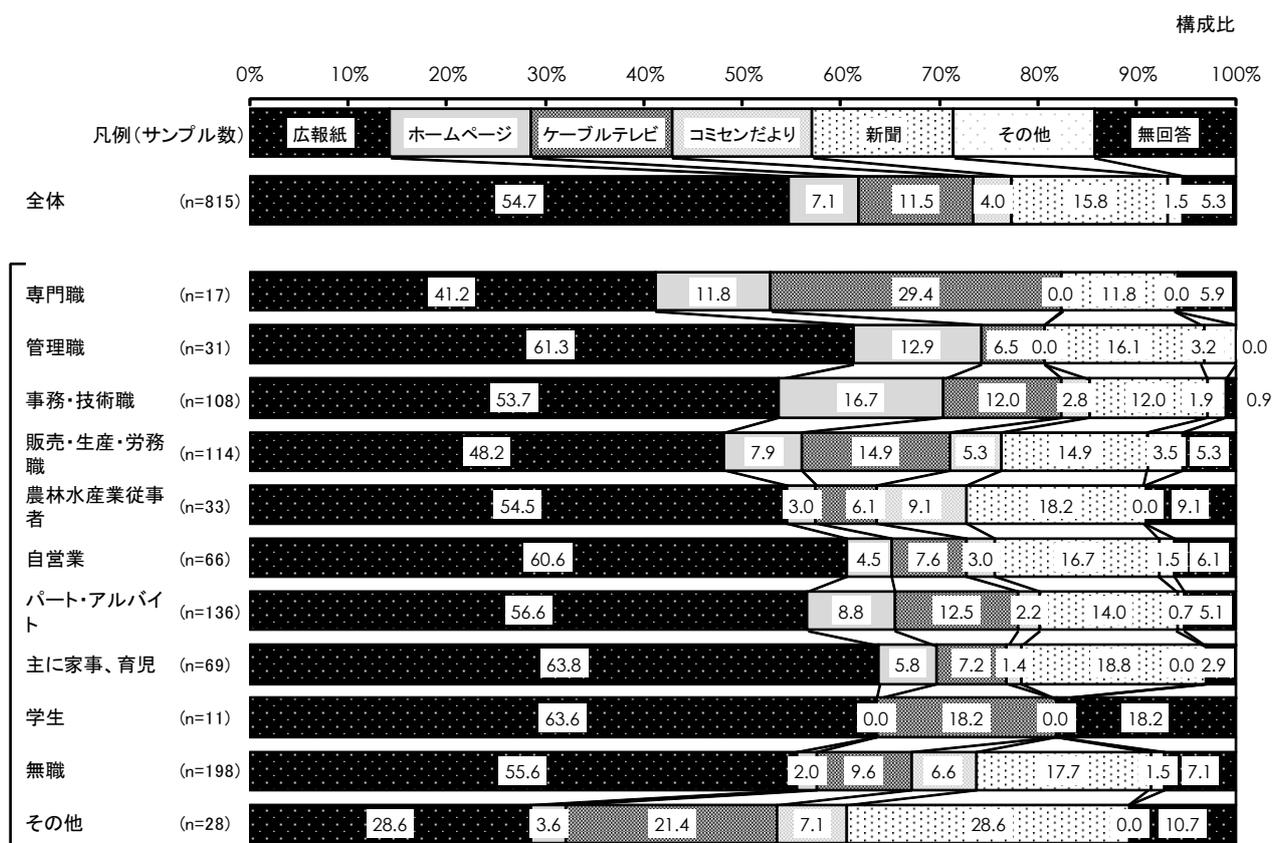
問 7 行政情報の主な入手媒体（S A）【性別】



問 7 行政情報の主な入手媒体（S A）【年代】



問 7 行政情報の主な入手媒体（S A）【職業】



問 7 行政情報の主な入手媒体
～半数以上の方が「広報紙」から情報を入手～

【全体】

・行政情報の主な入手媒体は、「広報紙」が 54.7% で最も高く、次いで「新聞」15.8%、「ケーブルテレビ」11.5% となっている。この傾向は前回調査と変わらない。

【性別】

・女性では「広報紙」と回答した人の割合が 57.9% で、男性より 6.8 ポイント高い。一方、男性では「新聞」「ホームページ」の割合が女性より高い。

【年代】

・40 代以上において、「広報紙」から情報を入手する割合が半数以上を占める。20 代、30 代では「ホームページ」や「ケーブルテレビ」と回答する割合が他の年代に比べて高い。70 歳以上では「新聞」と回答した割合が他の年代に比べて高い。

【職業】

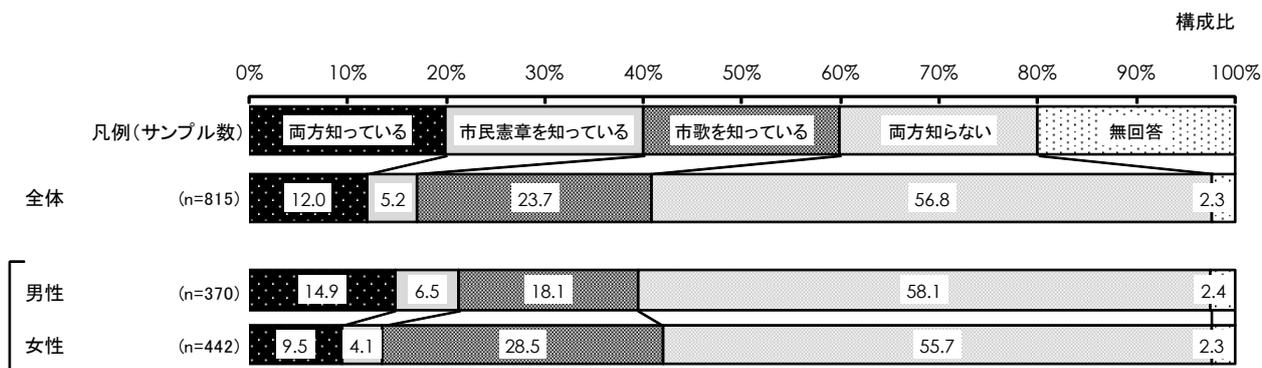
・管理職、自営業、主に家事、育児の人、学生は「広報紙」から情報を入手する割合が 6 割を超える。一方、専門職は「ケーブルテレビ」の割合が 29.4% と他の職業に比べて高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

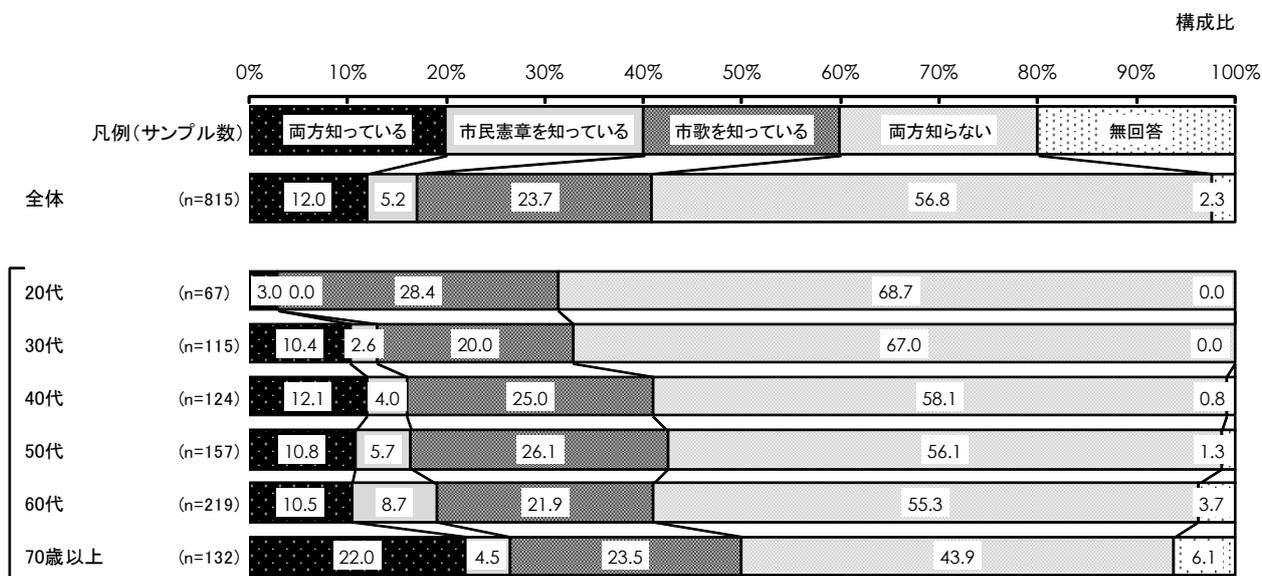
4)市民憲章と市歌について

問 8 市で定めている市民憲章と市歌を知っていますか。次の中から1つ選んでください。(SA)

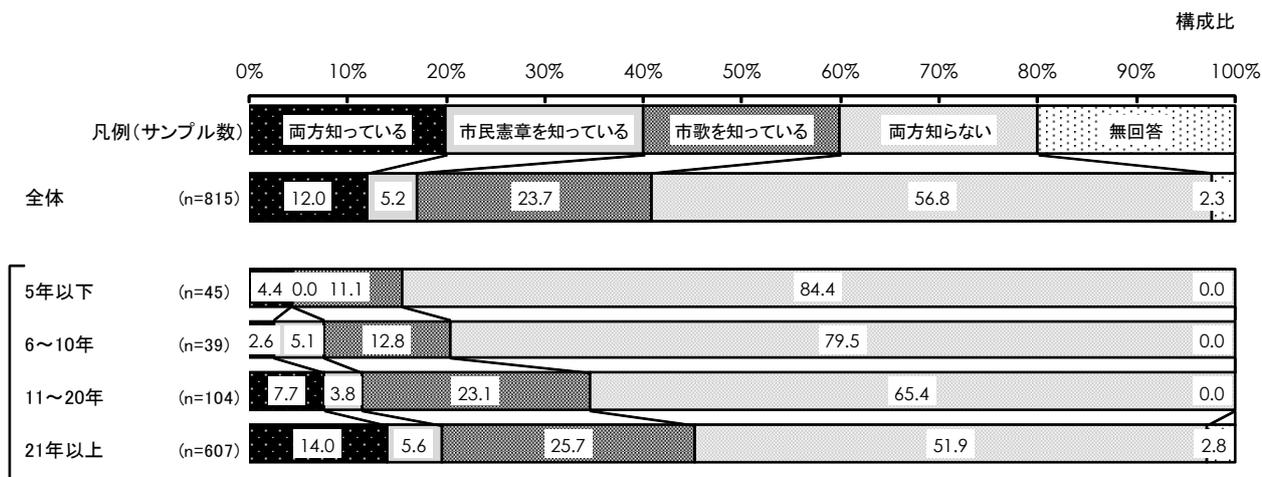
問 8 市民憲章と市歌の認知 (SA) 【性別】



問 8 市民憲章と市歌の認知 (SA) 【年代】



問 8 市民憲章と市歌の認知（S A）【居住年数】



問 8 市民憲章と市歌の認知

～市民憲章と市歌を「両方知らない」人が半数以上～

【全体】

- 市民憲章と市歌を「両方知らない」と回答した人の割合は 56.8%で最も高かった。「両方知っている」と「市民憲章を知っている」を合わせた市民憲章の認知度は 17.2%、「両方知っている」と「市歌を知っている」を合わせた市歌の認知度は 35.7%で、市民憲章より市歌の方が認知されていることがわかる。

【性別】

- 男性は女性より市民憲章の認知度が高い。一方、女性は男性より市歌の認知度が高い。

【年代】

- 市民憲章と市歌を「両方知らない」と回答した人の割合は、年代が上がるにつれ低くなっている。
- 20代では市民憲章の認知度が 3.0%と他の年代に比べて最も低い。70歳以上では市民憲章の認知度、市歌の認知度ともに他の年代に比べて高い。

【居住年数】

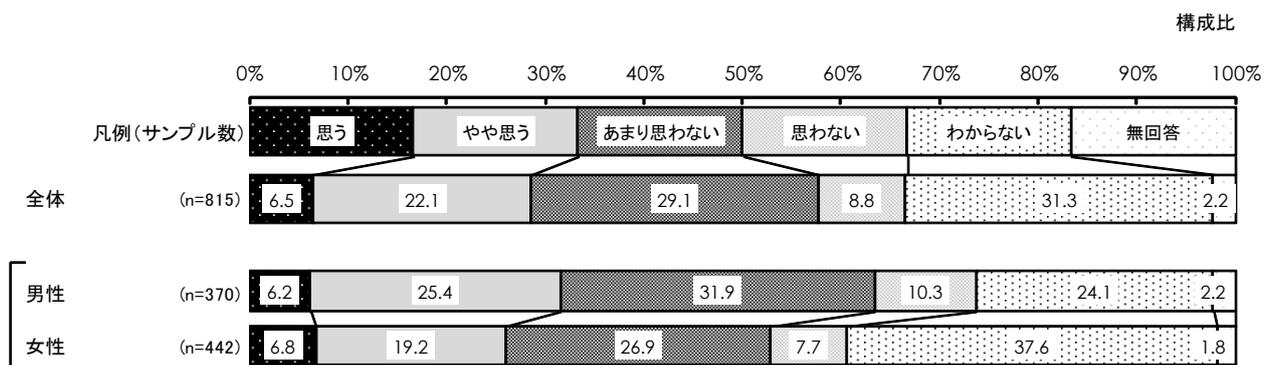
- 「両方知っている」と「市民憲章を知っている」と「市歌を知っている」を合わせた市民憲章と市歌の少なくともいずれかを知っている割合は、居住年数が長いほど、高くなる傾向がみられた。
- 居住年数が 5年以下の人で「両方知らない」と回答した人は 84.4%を占める。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

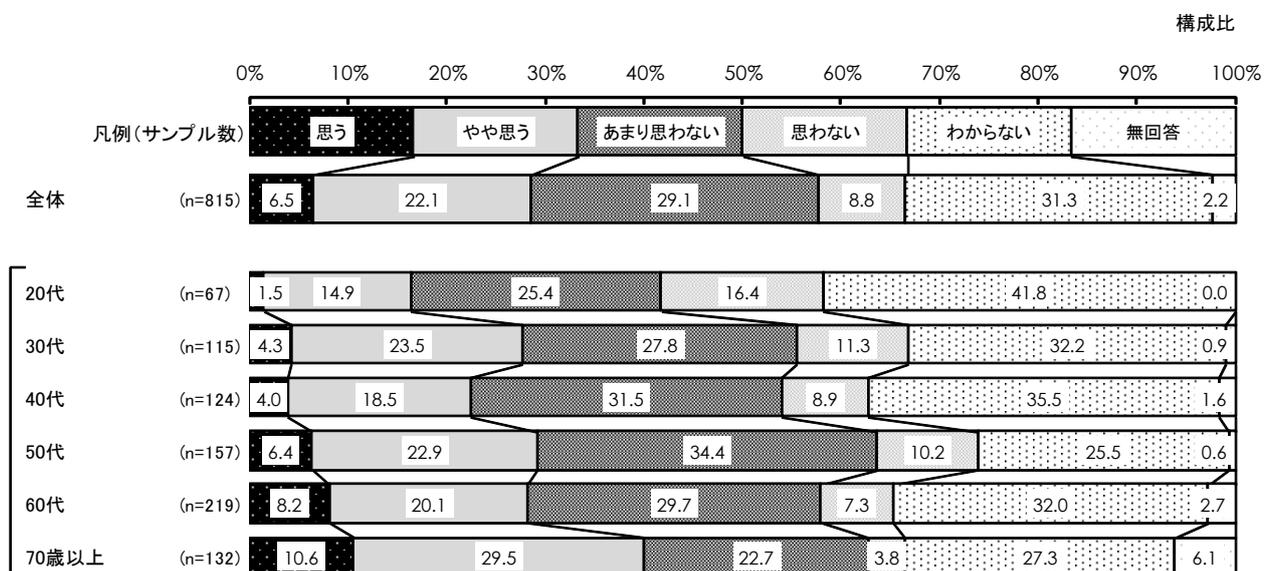
5)行政改革の推進について

問 9 市政運営にあたり、限りある行政資源を活用して、最少の資源で最大の効果をあげていくために、行政改革が必要不可欠なことです。あなたは、鹿沼市で「健全で効率的な行政経営がおこなわれている」と思いますか。次の中から1つ選んでください。(S A)

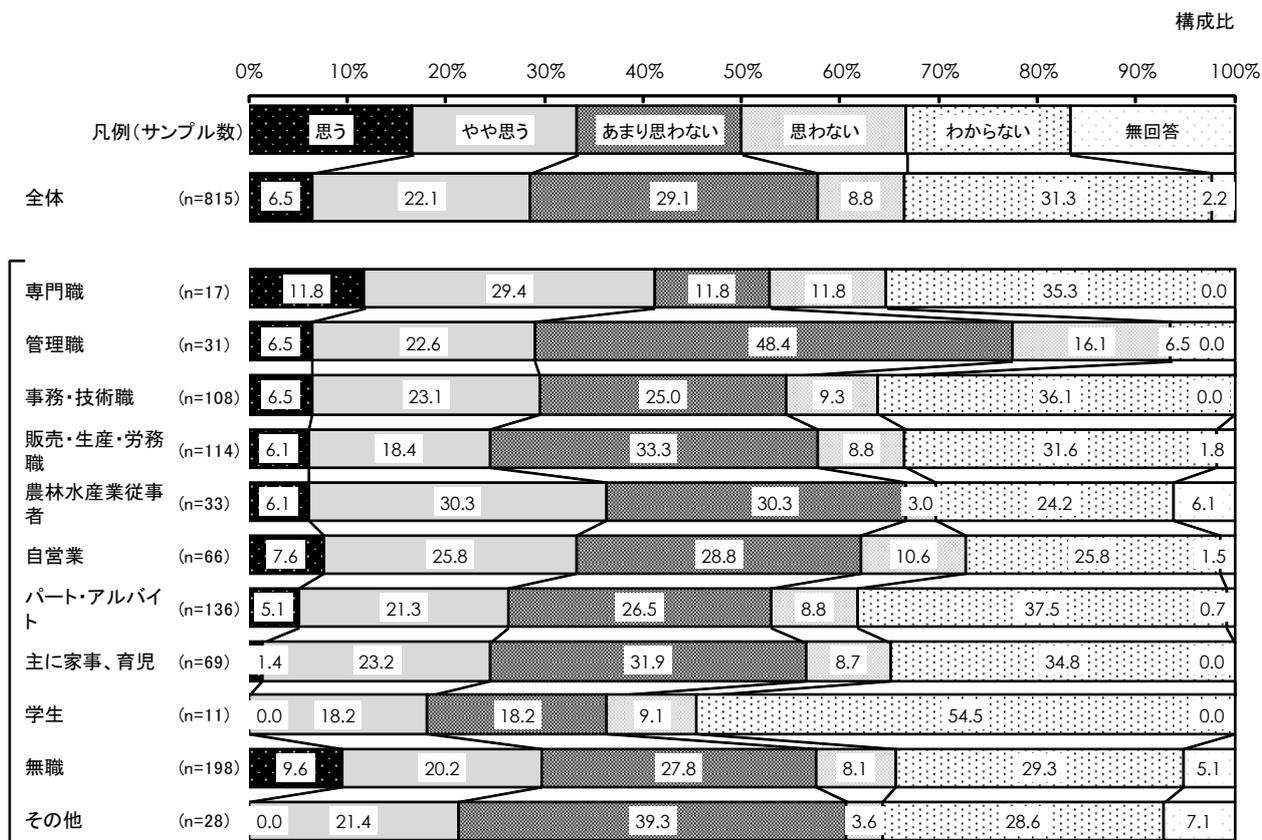
問 9 市の行政経営に対する評価（健全で効率的な行政経営がおこなわれているか）(S A)【性別】



問 9 市の行政経営に対する評価（健全で効率的な行政経営がおこなわれているか）(S A)【年代】



問 9 市の行政経営に対する評価（健全で効率的な行政経営がおこなわれているか）（S A）【職業】



問 9 市の行政経営（健全で効率的な行政経営がおこなわれているか）（S A）
～「思わない」人の合計が 4 割弱で、「思う」人の合計を上回る～

【全体】

・鹿沼市では健全で効率的な行政経営がおこなわれていると「思う」6.5%と「やや思う」22.1%を合わせた、思う人の合計は 28.6%となっている。一方、「あまり思わない」29.1%と「思わない」8.8%を合わせた、思わない人の合計は 37.9%となり、思う人の合計を 9.3 ポイント上回っている。

【性別】

・鹿沼市では健全で効率的な行政経営がおこなわれていると思う人の合計は、男性 31.6%、女性 26.0%で、男性が女性より 5.6 ポイント高い。また、おこなわれていると思わない人の合計は、男性 42.2%、女性 34.6%で、男性が女性より 7.6 ポイント高い。

【年代】

・鹿沼市では健全で効率的な行政経営がおこなわれていると思う人の合計は、70 歳以上で 40.1%と最も高い。一方、思わない人の合計は、20 代～50 代で 40%前後と割合が高い。

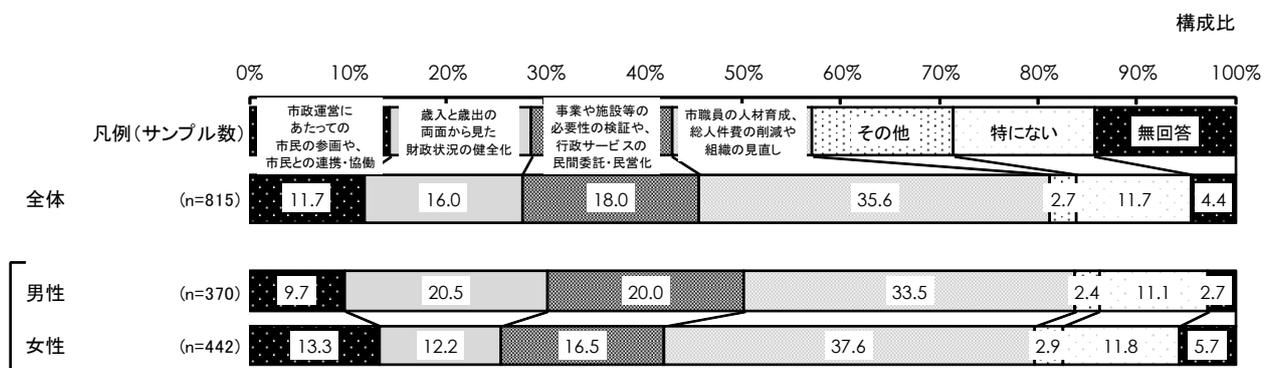
【職業】

・専門職、農林水産業従事者では、おこなわれていると思う人の合計が、思わない人の合計を上回っている。
・管理職では、思わない人の合計が 64.5%と他の職業に比べて割合が高い。

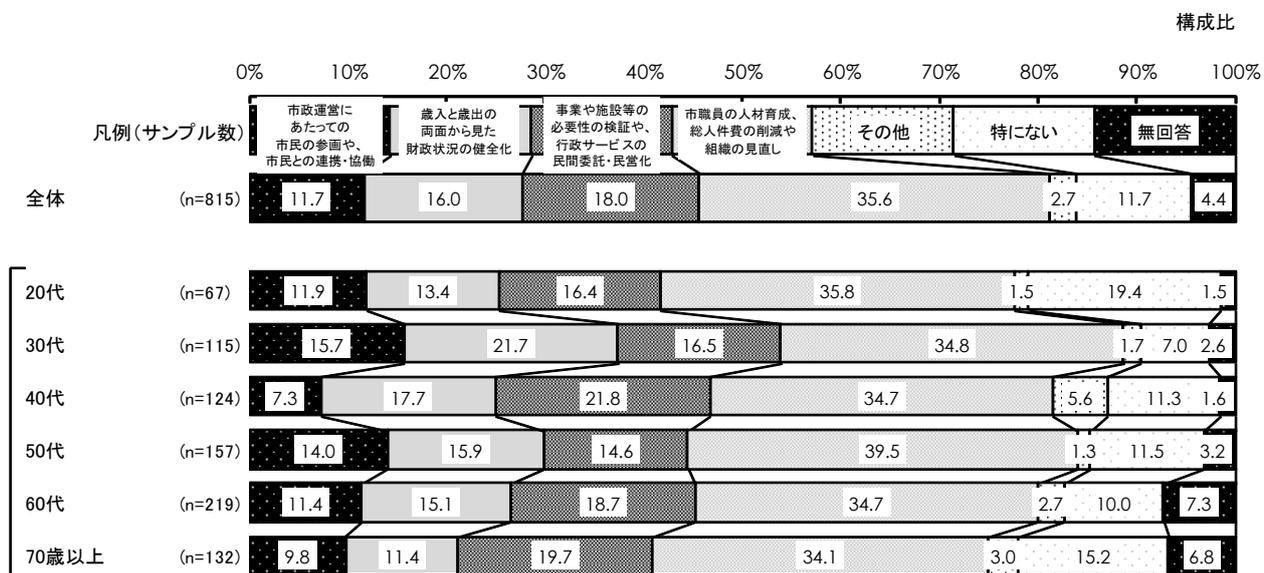
※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 10 行政改革を進めるにあたって、足りないもの、強化してほしいものは何ですか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

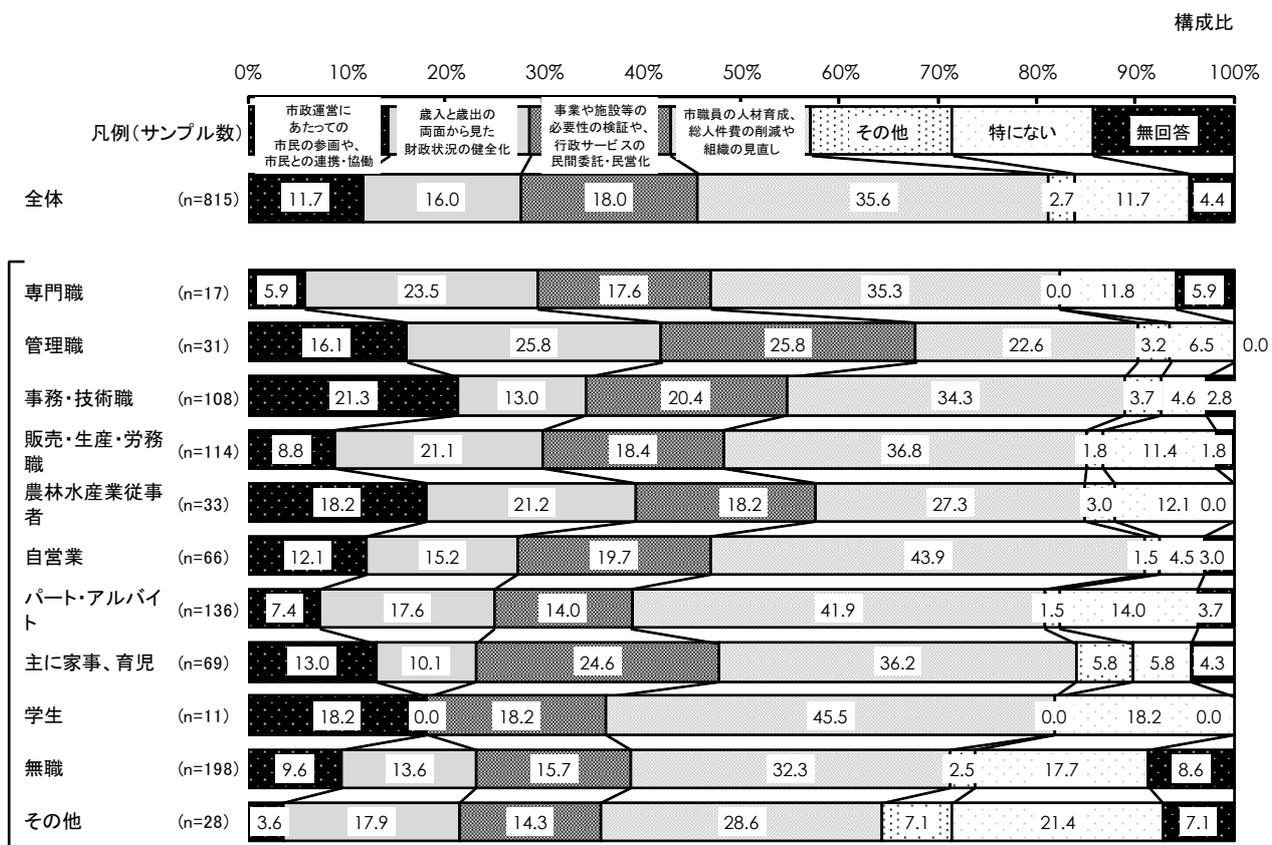
問 10 行政改革に足りないもの、強化してほしいもの (S A) 【性別】



問 10 行政改革に足りないもの、強化してほしいもの (S A) 【年代】



問 10 行政改革に足りないもの、強化してほしいもの (SA) 【職業】



問 10 行政改革に足りないもの、強化してほしいもの
～「市職員の人材育成、総人件費の削減や組織の見直し」の割合が最も高い～

【全体】

- ・行政改革を進めるにあたって足りないもの、強化してほしいものは、「市職員の人材育成、総人件費の削減や組織の見直し」の割合が 35.6%と最も高く、次いで「事業や施設等の必要性の検証や、行政サービスの民間委託・民営化」18.0%、「歳入と歳出の両面から見た財政状況の健全化」16.0%、「市政運営にあたっての市民の参画や、市民との連携・協働」11.7%、「特になし」11.7%となっている。

【性別】

- ・男性は女性より「歳入と歳出の両面から見た財政状況の健全化」、「事業や施設等の必要性の検証や、行政サービスの民間委託・民営化」の割合が高い。

【年代】

- ・30代では「市政運営にあたっての市民の参画や、市民との連携・協働」「歳入と歳出の両面から見た財政状況の健全化」の割合が他の年代より高い。また、50代では「市職員の人材育成、総人件費の削減や組織の見直し」の割合が他の年代に比べて高い。

【職業】

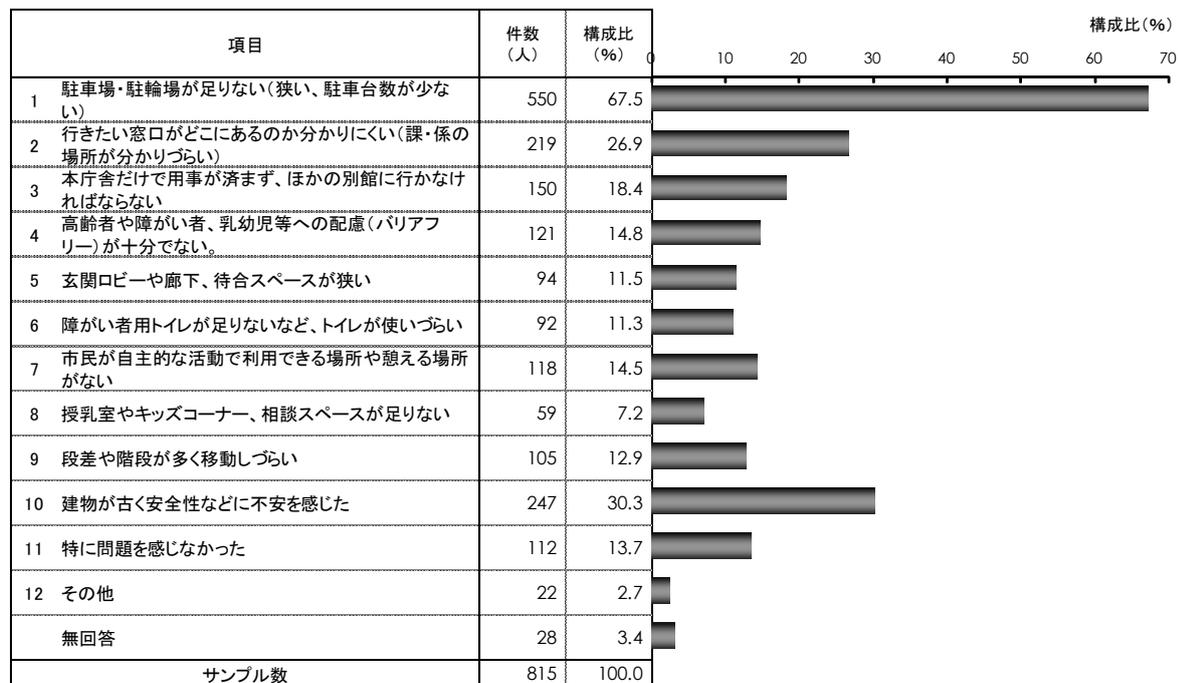
- ・管理職では「歳入と歳出の両面から見た財政状況の健全化」「事業や施設等の必要性の検証や、行政サービスの民間委託・民営化」が他の職業に比べて割合が高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

6)新庁舎の整備について

問 1 1 現在の市役所（本庁舎・東館）を訪れて、「施設面」や「機能面」をどのように感じましたか？次の中からいくつでも選んでください。（MA）

問 1 1 現在の市役所の施設面・機能面の評価（MA）



問 1 1 現在の市役所の施設面・機能面の評価

～「駐車場・駐輪場が足りない（狭い、駐車台数が少ない）」が 7 割弱を占める～

【全体】

- ・現在の市役所の施設面・機能面について尋ねたところ、「駐車場・駐輪場が足りない（狭い、駐車台数が少ない）」と回答した人の割合が 67.5%と最も高かった。次いで「建物が古く安全性などに不安を感じた」30.3%、「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい（課・係の場所が分かりづらい）」26.9%となっている。

【性別】

- ・男性は女性より「玄関ロビーや廊下、待合スペースが狭い」の割合が 5.6 ポイント高い。一方、女性は男性より「授乳室やキッズコーナー、相談スペースが足りない」の割合が 5.4 ポイント高い。その他の項目については、男女による大きな違いはみられなかった。

【年代】

- ・20 代では「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい（課・係の場所が分かりづらい）」、20 代、30 代では「授乳室やキッズコーナー、相談スペースが足りない」、50 代では「本庁舎だけで用事が済まず、ほかの別館に行かなければならない」、70 歳以上では「市民が自主的な活動で利用できる場所や憩える場所がない」の割合がそれぞれ高く、年代により市役所の施設面・機能面への評価に違いがみられた。

【居住地区】

- ・旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市では「市民が自主的な活動で利用できる場所や憩える場所がない」の割合が旧粟野町より高い。一方、旧粟野町では「駐車場・駐輪場が足りない（狭い、駐車台数が少ない）」「行きたい窓口がどこにあるのか分かりにくい（課・係の場所が分かりづらい）」の割合が旧鹿沼市より高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

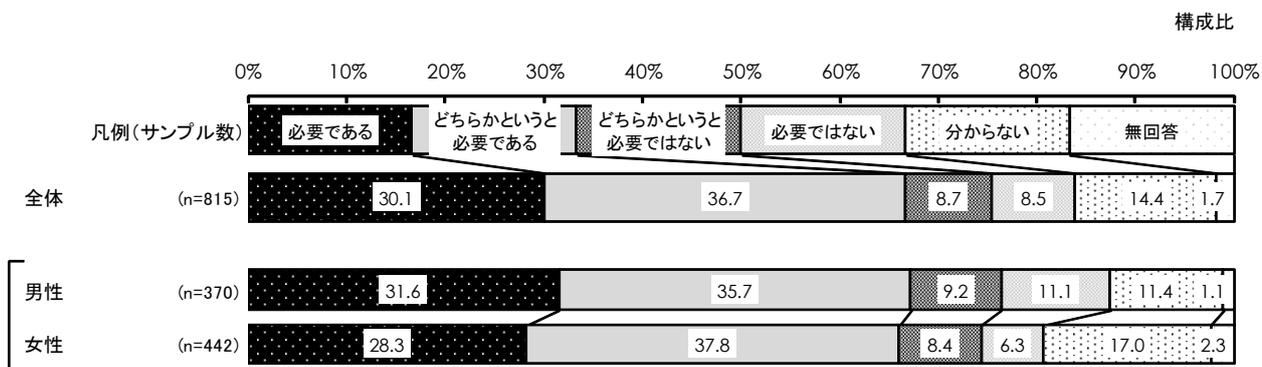
問 1 1 現在の市役所の施設面・機能面の評価 (MA) 【性別】 【年代】 【居住地区 (15 区分)】 【居住地区 (2 区分)】

		()内は サンプル 数	駐車場・駐 輪場が足り ない(狭い、 駐車台数が 少ない)	行きたい窓 口がどこに あるのか分 かりにくい (課・係の場 所が分かり づらい)	本庁舎だけ で用事が済 まず、ほか の別館に行 かなければ ならない	高齢者や障 がい者、乳 幼児等への 配慮(バリア フリー)が十 分でない。	玄関ロビー や廊下、待 合スペース が狭い	障がい者用 トイレが足 りないなど、 トイレが使 いづらい	市民が自主 的な活動で 利用できる 場所や憩え る場所がな い	授乳室や キッズコー ナー、相談 スペースが 足りない	段差や階段 が多く移動 しづらい	建物が古く 安全性など に不安を感 じた	特に問題を 感じなかつ た	その他	無回答
全体		(815)	67.5	26.9	18.4	14.8	11.5	11.3	14.5	7.2	12.9	30.3	13.7	2.7	3.4
性別	男性	(370)	68.4	26.8	19.2	15.4	14.6	10.0	13.8	4.3	13.8	29.7	13.8	2.7	2.2
	女性	(442)	66.5	27.1	17.9	14.5	9.0	12.4	15.2	9.7	12.2	30.5	13.8	2.7	4.5
年代	20代	(67)	64.2	40.3	14.9	20.9	13.4	10.4	13.4	17.9	10.4	35.8	14.9	-	1.5
	30代	(115)	73.0	27.8	13.9	10.4	5.2	9.6	10.4	19.1	13.0	29.6	9.6	4.3	1.7
	40代	(124)	69.4	23.4	17.7	16.1	13.7	8.9	13.7	6.5	12.9	33.1	11.3	4.0	1.6
	50代	(157)	68.8	26.8	22.9	18.5	12.1	12.1	12.1	3.8	17.8	33.8	14.0	2.5	0.6
	60代	(219)	65.8	27.9	17.8	11.4	10.5	11.0	15.5	3.2	11.0	28.3	14.6	3.2	6.8
	70歳以上	(132)	63.6	21.2	19.7	15.9	15.2	15.2	20.5	3.0	11.4	25.0	17.4	0.8	5.3
	居住地区 (15区分)	西沼(中央・東部・北部)	(356)	68.0	27.5	20.5	15.2	12.1	10.7	16.0	8.1	11.2	28.7	13.8	2.8
板荷		(22)	68.2	22.7	18.2	9.1	13.6	-	4.5	4.5	4.5	22.7	22.7	9.1	-
西大戸		(8)	75.0	25.0	25.0	12.5	12.5	-	12.5	-	12.5	12.5	12.5	-	-
加藤		(19)	52.6	15.8	26.3	5.3	15.8	15.8	15.8	10.5	10.5	47.4	10.5	-	10.5
北大飼		(54)	57.4	27.8	18.5	14.8	13.0	13.0	11.1	3.7	11.1	31.5	16.7	5.6	7.4
南摩		(36)	77.8	36.1	13.9	16.7	8.3	8.3	13.9	2.8	8.3	33.3	8.3	2.8	-
南押原		(45)	66.7	24.4	17.8	6.7	2.2	4.4	11.1	6.7	6.7	28.9	11.1	2.2	2.2
東大戸		(25)	60.0	20.0	28.0	8.0	8.0	20.0	16.0	8.0	12.0	28.0	32.0	-	8.0
菊沢		(65)	76.9	23.1	20.0	26.2	10.8	15.4	23.1	7.7	26.2	33.8	6.2	4.6	3.1
北押原		(52)	67.3	23.1	9.6	11.5	15.4	23.1	17.3	11.5	19.2	30.8	15.4	1.9	3.8
東部合		(28)	71.4	25.0	21.4	32.1	14.3	14.3	21.4	10.7	17.9	46.4	10.7	3.6	7.1
栗野		(31)	74.2	45.2	16.1	9.7	9.7	3.2	9.7	-	16.1	22.6	3.2	-	6.5
粕尾		(13)	84.6	30.8	23.1	23.1	7.7	15.4	7.7	7.7	23.1	38.5	7.7	-	-
永野		(16)	62.5	31.3	12.5	-	-	-	-	-	-	31.3	25.0	-	6.3
清州		(17)	64.7	23.5	11.8	11.8	23.5	11.8	-	-	23.5	29.4	17.6	-	11.8
地区名がわからない	(24)	54.2	16.7	-	12.5	12.5	12.5	8.3	16.7	8.3	33.3	16.7	-	4.2	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(710)	67.9	26.2	19.4	15.4	11.5	11.8	15.8	7.6	12.8	30.6	13.7	3.1	3.1
	旧栗野町	(77)	71.4	35.1	15.6	10.4	10.4	6.5	5.2	1.3	15.6	28.6	11.7	-	6.5
	地区名がわからない	(24)	54.2	16.7	-	12.5	12.5	12.5	8.3	16.7	8.3	33.3	16.7	-	4.2

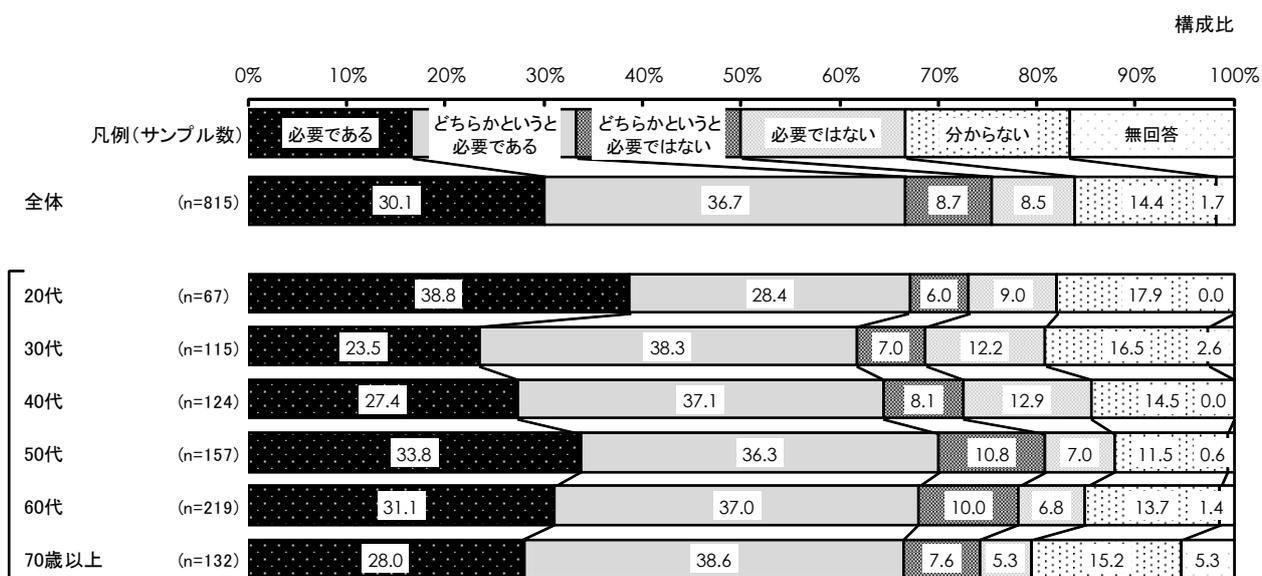
(構成比:%)

問 1 2 現在の市役所(本庁舎・東館)は、老朽化とともに耐震性にも大きな問題があるため、新庁舎の整備(建替え等)を検討しています。あなたは、庁舎の建替えについて、どのように思いますか?次の中から1つ選んでください。(SA)

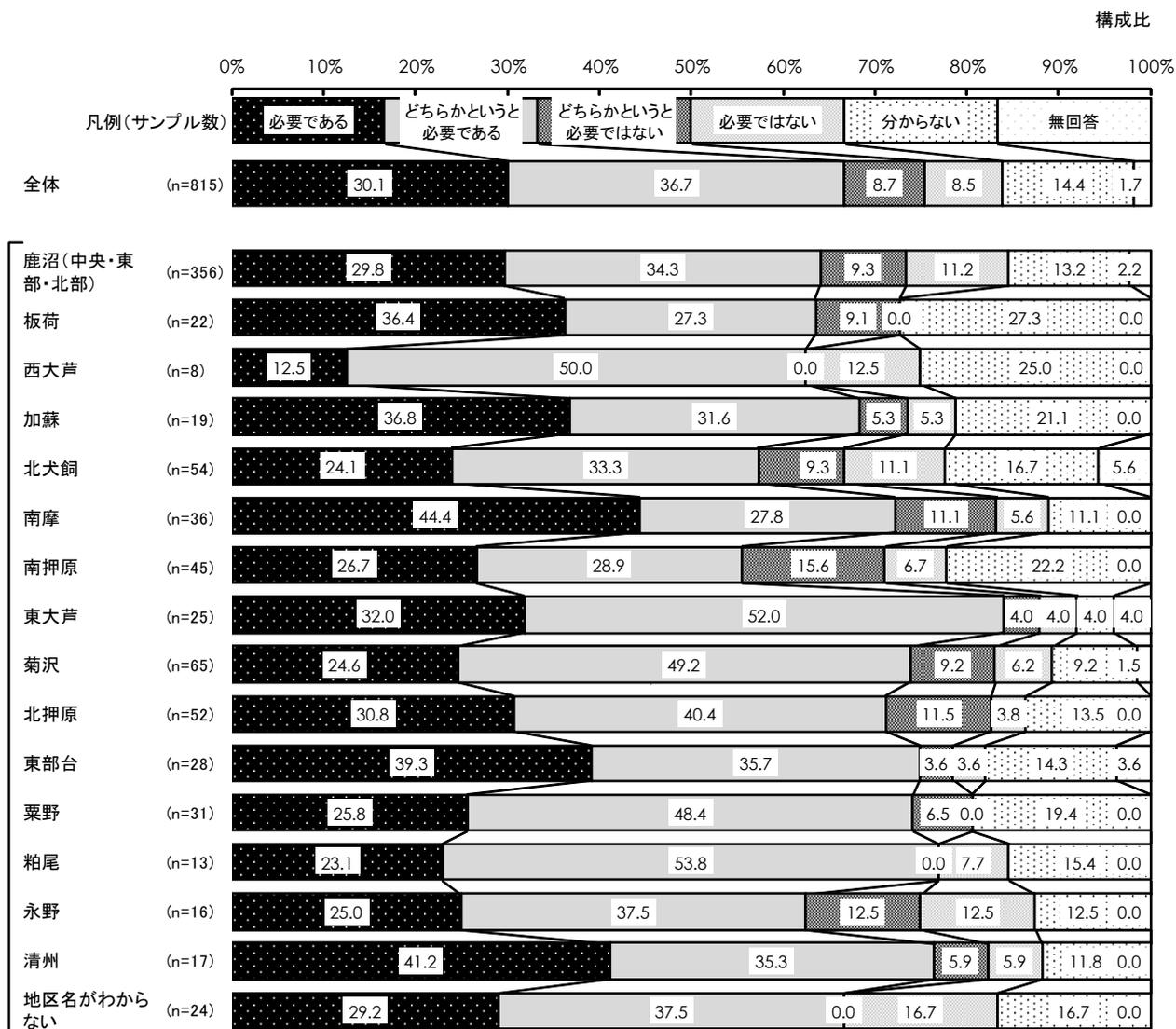
問 1 2 市役所の建替えに対する考え (SA)【性別】



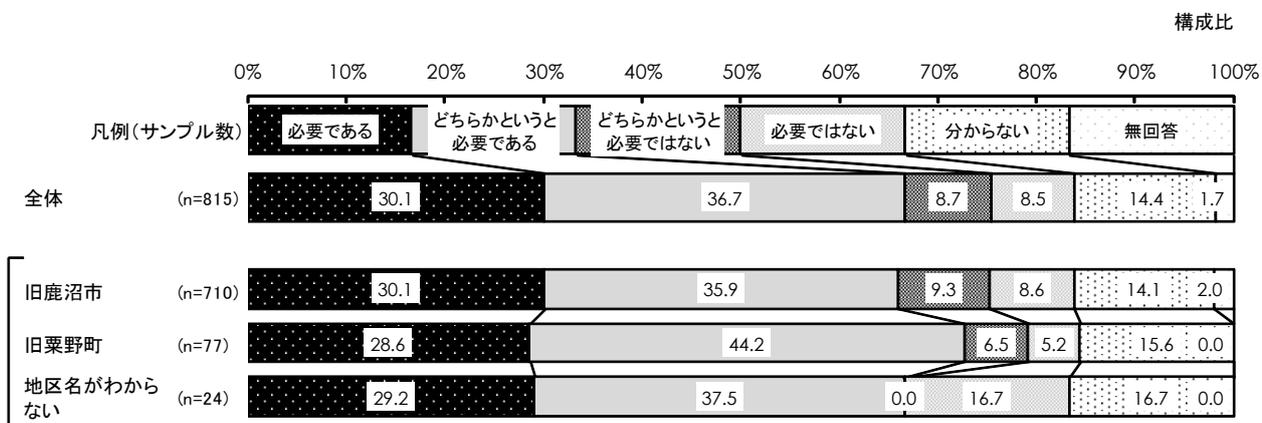
問 1 2 市役所の建替えに対する考え (SA)【年代】



問 1 2 市役所の建替えに対する考え (S A) 【居住地区 (15 区分)】



問 1 2 市役所の建替えに対する考え (S A) 【居住地区 (2 区分)】



問 1 2 市役所の建替えに対する考え

～市役所の建替えを必要と考える人が 7 割弱～

【全体】

- ・庁舎の建替えについて「必要である」30.1%と「どちらかという必要である」36.7%を合わせた必要である
と考える人の合計は 66.8%で、「どちらかという必要ではない」8.7%と「必要ではない」8.5%を合わせた
必要ではないと考える人の合計 17.2%を大きく上回った。

【性別】

- ・庁舎の建替えについて、必要であるとする人の合計は、男性は女性より 1.2 ポイント高い。また、必要では
ないと考える人の合計は、男性は女性より 5.6 ポイント高い。

【年代】

- ・20 代では、庁舎の建替えについて「必要である」と回答した人の割合は 38.8%と他の年代に比べて最も高い。
また、50 代では、必要であるとする人の合計は 7 割を占める。

【居住地区】

- ・東大芦では、必要であるとする人の合計が 84.0%と他の地区に比べて高い。一方、永野では、必要ではない
と考える人の合計が 25.0%と他の地区に比べて高い。
- ・旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市で必要ではないと考える人の合計が旧粟野町より 6.2 ポイント高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

問 1 3 どのような新庁舎を求めますか？次の中から3つ選んでください。(MA)

問 1 3 新庁舎に求めること (MA)



問 1 3 新庁舎に求めること

～駐車場や駐輪場の確保を求める回答が50%を超える～

【全体】

- ・新庁舎に求めることについて尋ねたところ、「駐車場や駐輪場が十分に確保された庁舎」が54.6%と最も高く、次いで「防災、復興拠点としての安心・安全な庁舎」46.3%、「建設費や維持管理費を抑えた庁舎」34.7%となっている。

【性別】

- ・女性は男性より「防災、復興拠点としての安心・安全な庁舎」、「市民の交流やイベント等が行なえる空間の充実した庁舎」を求める人の割合が高い。

【年代】

- ・30代～50代では「建設費や維持管理費を抑えた庁舎」を求める人の割合が4割前後と他の年代より高い。50代では「環境(省エネルギー、省資源)に配慮した庁舎」を求める人の割合が他の年代に比べて高い。また、70歳以上では「市民の交流やイベント等が行なえる空間の充実した庁舎」を求める人の割合が他の年代に比べて高い。

【居住地区】

- ・南摩では「適切な機能を1つに集約した庁舎(ワンストップサービスの実現)」「駐車場や駐輪場が十分に確保された庁舎」を求める割合が他に比べて高い。
- ・旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市で「市民の交流やイベント等が行なえる空間の充実した庁舎」を求める割合が旧粟野町より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

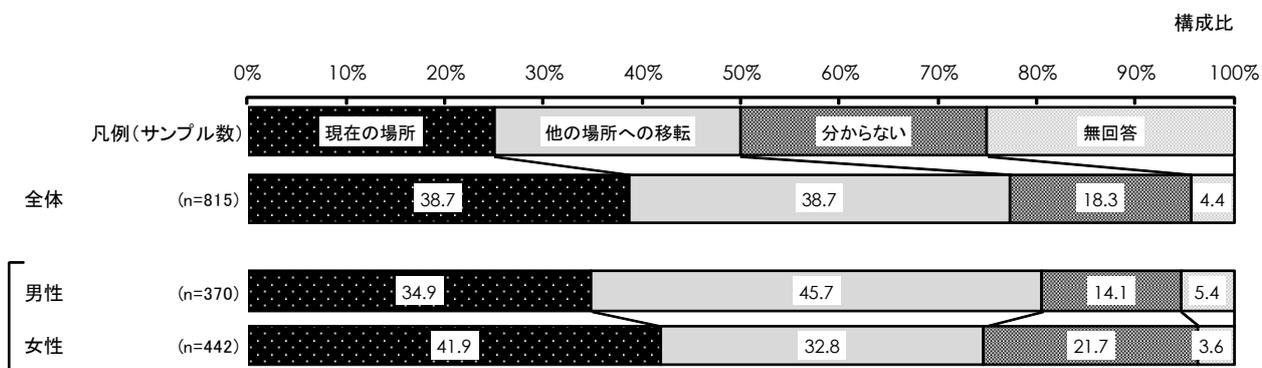
問 1 3 新庁舎に求めること (MA) 【性別】【年代】【居住地区 (15 区分)】【居住地区 (2 区分)】

()内は サンプル 数		防災、復興 拠点として の安心・安 全な庁舎	誰もが安心 して便利に 使えるよう (ユニバーサ ルデザイン) 配慮された 庁舎	環境(省エネ ルギー、省 資源)に配 慮した庁舎	適切な機能 を1つに集約 した庁舎(ワ ンストップ サービスの 実現)	市民の交流 やイベント等 が行なえる 空間の充実 した庁舎	市民の待合 室等が広く 充実した庁 舎	駐車場や駐 輪場が充分 に確保され た庁舎	庭園などの 緑地が充分 にとれた庁 舎	「木のまち」 鹿沼に配慮 した庁舎	周辺の景観 と調和した 庁舎	建設費や維 持管理費を 抑えた庁舎	その他	無回答
全体	(815)	46.3	25.8	19.6	27.7	9.9	5.5	54.6	3.7	15.5	7.7	34.7	2.2	6.7
性別	男性 (370)	43.0	25.7	20.8	25.9	7.8	5.4	56.2	4.3	15.4	7.6	34.1	2.4	7.0
	女性 (442)	49.1	26.0	18.8	29.4	11.8	5.7	53.2	3.2	15.4	7.7	35.5	2.0	6.6
年代	20代 (67)	44.8	32.8	11.9	31.3	10.4	6.0	53.7	4.5	20.9	9.0	26.9	4.5	1.5
	30代 (115)	53.0	27.0	11.3	33.0	10.4	3.5	60.9	5.2	17.4	6.1	40.0	6.1	1.7
	40代 (124)	41.9	29.0	25.8	32.3	10.5	6.5	50.8	2.4	10.5	5.6	43.5	2.4	4.8
	50代 (157)	48.4	26.8	30.6	22.9	8.9	5.1	53.5	1.9	14.0	7.6	38.2	1.3	7.6
	60代 (219)	41.1	19.6	18.7	30.1	6.8	3.7	56.2	5.0	14.6	9.6	33.8	1.4	8.7
	70歳以上 (132)	51.5	26.5	13.6	18.9	15.2	9.8	51.5	3.0	18.9	7.6	22.7	-	11.4
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部) (356)	47.5	23.9	16.9	29.2	11.8	5.9	53.7	3.7	16.0	6.7	36.0	2.5	5.9
	板荷 (22)	50.0	36.4	22.7	27.3	4.5	9.1	40.9	-	18.2	-	27.3	9.1	4.5
	西大声 (8)	62.5	25.0	-	12.5	-	12.5	50.0	12.5	-	12.5	50.0	-	-
	加藤 (19)	57.9	10.5	21.1	21.1	21.1	15.8	47.4	5.3	15.8	5.3	31.6	-	5.3
	北犬飼 (54)	44.4	24.1	18.5	24.1	9.3	5.6	53.7	5.6	18.5	1.9	35.2	3.7	9.3
	南摩 (36)	22.2	27.8	22.2	44.4	2.8	2.8	72.2	2.8	16.7	16.7	27.8	2.8	5.6
	南押原 (45)	46.7	26.7	24.4	33.3	11.1	4.4	64.4	-	11.1	4.4	33.3	-	6.7
	東大声 (25)	56.0	28.0	32.0	32.0	4.0	-	48.0	4.0	24.0	12.0	32.0	-	8.0
	菊沢 (65)	47.7	27.7	27.7	26.2	9.2	4.6	60.0	3.1	9.2	9.2	35.4	1.5	6.2
	北押原 (52)	44.2	25.0	17.3	23.1	3.8	5.8	53.8	7.7	15.4	9.6	32.7	-	7.7
	東部台 (28)	53.6	32.1	21.4	25.0	14.3	3.6	50.0	-	7.1	10.7	35.7	-	10.7
	栗野 (31)	32.3	45.2	19.4	38.7	-	6.5	61.3	6.5	12.9	6.5	35.5	3.2	6.5
	粕尾 (13)	76.9	23.1	15.4	15.4	7.7	-	61.5	7.7	30.8	15.4	30.8	-	-
	永野 (16)	37.5	25.0	18.8	6.3	6.3	-	31.3	-	12.5	6.3	50.0	6.3	18.8
	清州 (17)	47.1	17.6	23.5	29.4	-	5.9	52.9	-	11.8	17.6	35.3	-	5.9
地区名がわからない (24)	41.7	20.8	25.0	8.3	29.2	8.3	50.0	4.2	25.0	4.2	25.0	4.2	12.5	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市 (710)	46.8	25.2	19.6	28.6	10.0	5.6	54.9	3.7	15.1	7.3	34.6	2.1	6.5
	旧栗野町 (77)	44.2	31.2	19.5	26.0	2.6	3.9	53.2	3.9	15.6	10.4	37.7	2.6	7.8
	地区名がわからない (24)	41.7	20.8	25.0	8.3	29.2	8.3	50.0	4.2	25.0	4.2	25.0	4.2	12.5

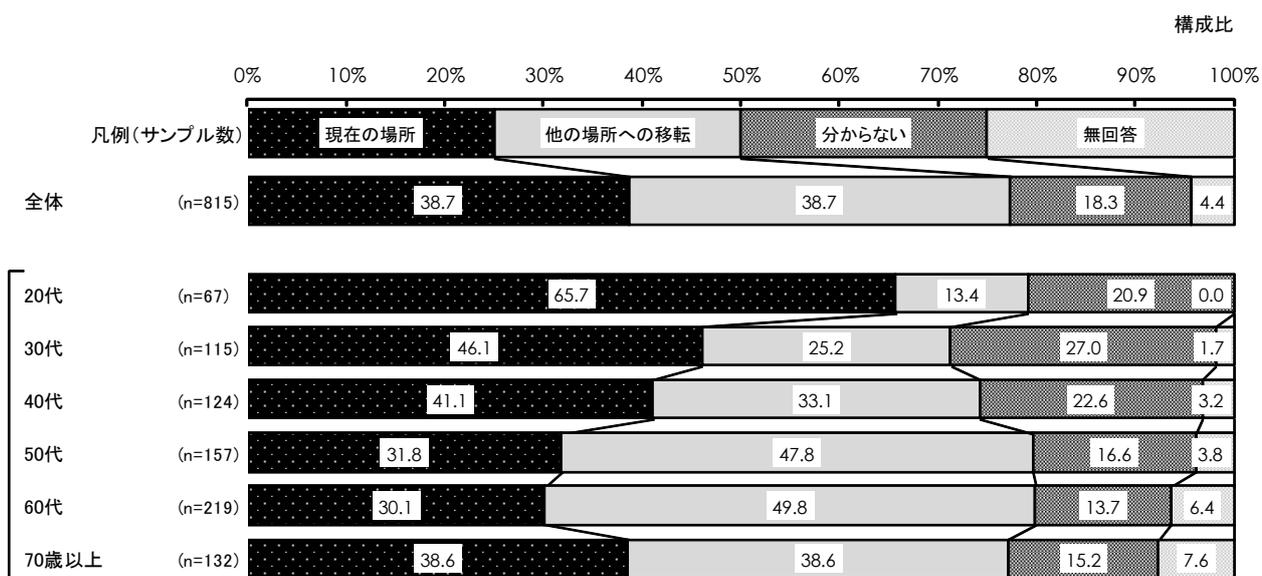
(構成比:%)

問 1 4 新庁舎の「場所」についてお尋ねします。新庁舎の場所について、どのように思いますか？次の中から1つ選んでください。(S A)

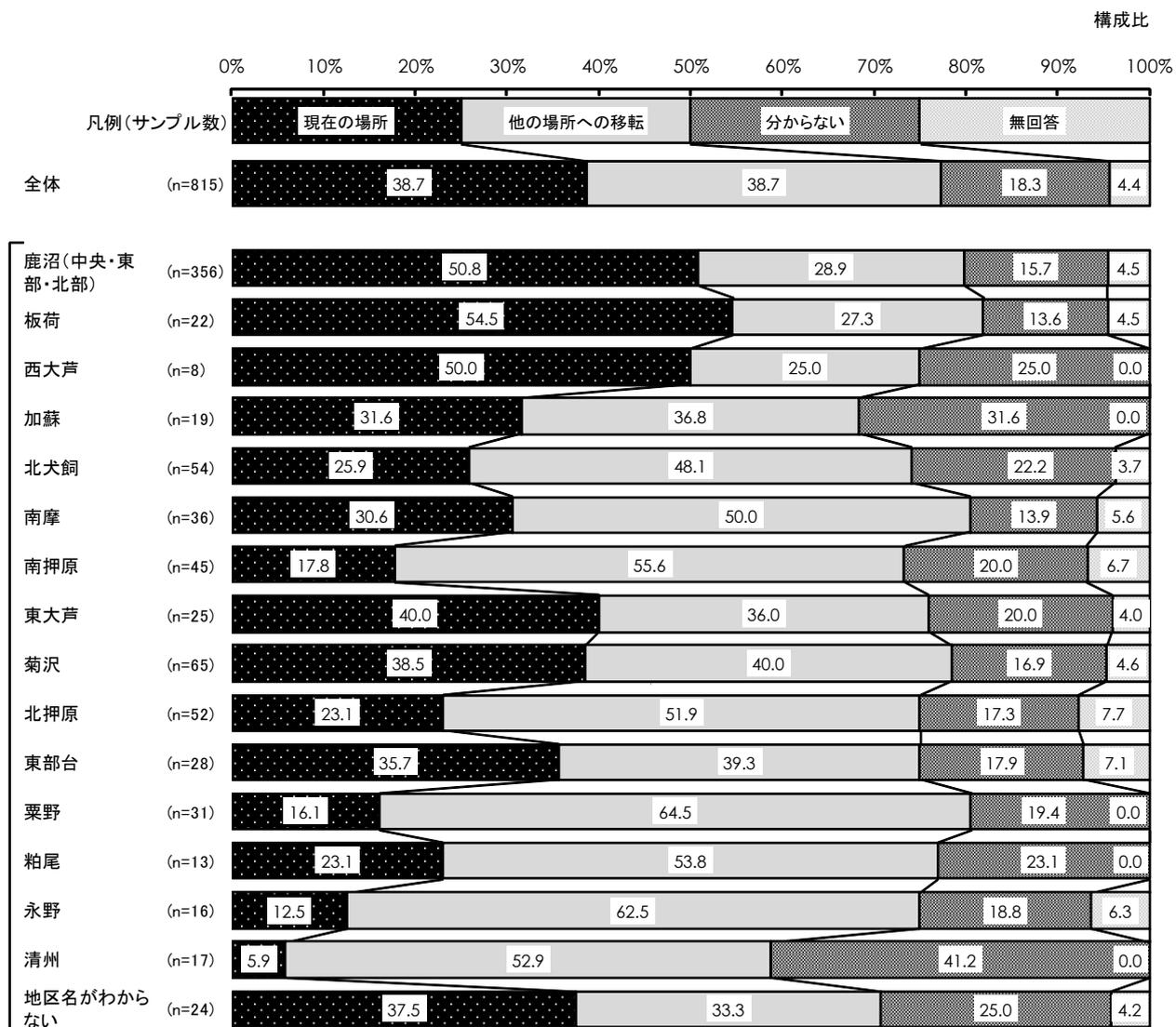
問 1 4 新庁舎の場所の希望 (S A) 【性別】



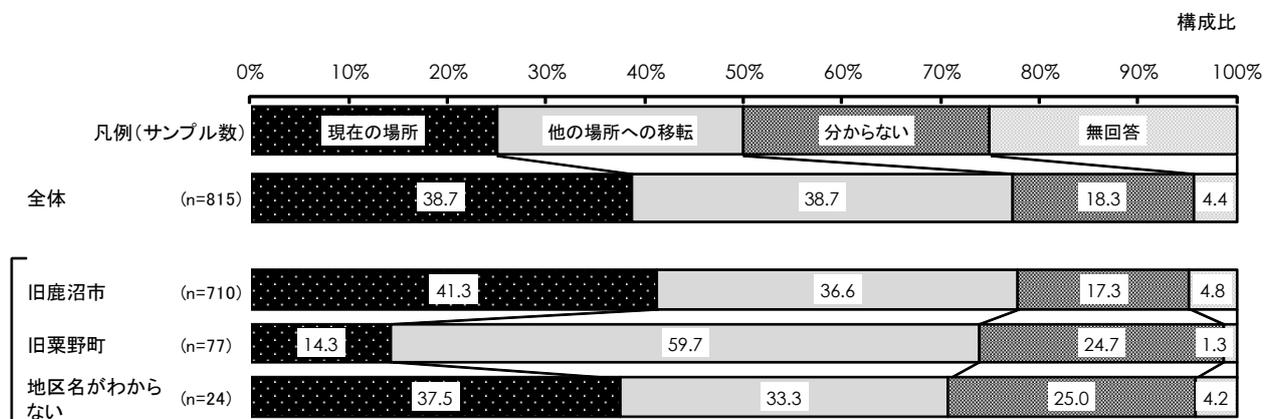
問 1 4 新庁舎の場所の希望 (S A) 【年代】



問 1 4 新庁舎の場所の希望 (S A) 【居住地区 (15 区分)】



問 1 4 新庁舎の場所の希望 (S A) 【居住地区 (2 区分)】



問 1 4 新庁舎の場所の希望

～「現在の場所」と「他の場所への移転」を希望する人の割合が同じ～

【全体】

- ・新庁舎の場所の希望について尋ねたところ、「現在の場所」と「他の場所への移転」と回答した割合がそれぞれ 38.7%で同じ割合であった。

【性別】

- ・男性は「他の場所への移転」と回答した割合が女性より高く、女性は「現在の場所」と回答した割合が男性より高い結果となった。

【年代】

- ・「現在の場所」と「他の場所への移転」の回答割合の差をみると、20代、30代、40代では「現在の場所」という回答割合の方が高く、特に20代では「現在の場所」と回答した人の割合が「他の場所への移転」と回答した人の割合より50ポイント以上高い。一方、50代、60代では「他の場所への移転」という回答割合の方が高い。

【居住地区】

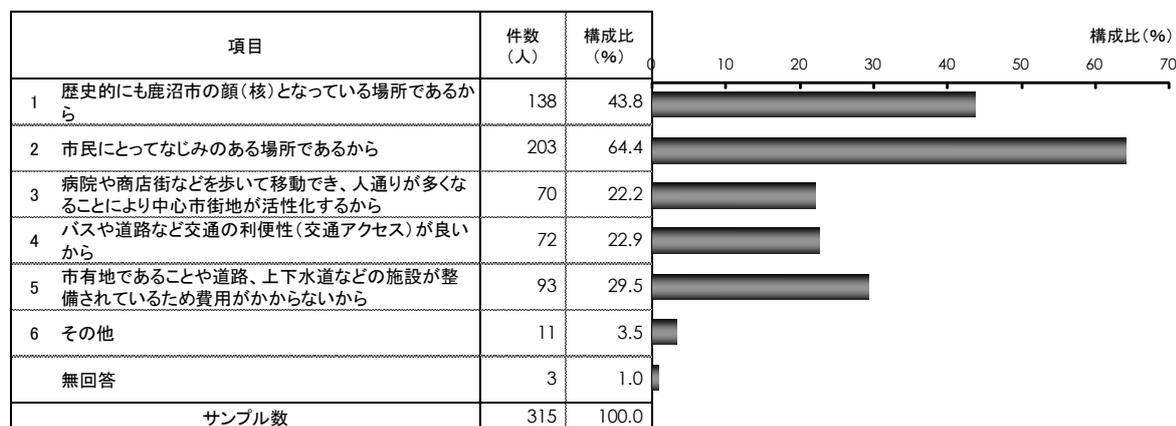
- ・旧鹿沼市、旧粟野町でみると、旧鹿沼市では「現在の場所」と回答した人の割合が、「他の場所への移転」の割合より高い。一方、旧粟野町では「他の場所への移転」と回答した人の割合が、「現在の場所」の割合を上回り、地区により、新庁舎の場所の希望に違いがみられた。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 15 問 14 で「1」と答えた方のみにお聞きします。その理由は何ですか？次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 15 「現在の場所」を希望する理由 (MA)

※問 14 で「現在の場所」と回答した人のみ



問 15 「現在の場所」を希望する理由

～「市民にとってなじみのある場所であるから」という理由が6割を超える～

【全体】

- ・新庁舎の場所について現在の場所を希望する人に対し、その理由を尋ねたところ、「市民にとってなじみのある場所であるから」と回答した人の割合が64.4%と最も高かった。次いで「歴史的にも鹿沼市の顔(核)となっている場所であるから」43.8%、「市有地であることや道路、上下水道などの施設が整備されているため費用がかからないから」29.5%となっている。

【性別】

- ・女性は男性より「市民にとってなじみのある場所であるから」や「バスや道路など交通の利便性(交通アクセス)が良いから」と回答した人の割合が高い。一方、男性は女性より「市有地であることや道路、上下水道などの施設が整備されているため費用がかからないから」と回答した人の割合が高い。

【年代】

- ・40代では「市民にとってなじみのある場所であるから」と回答した人の割合が76.5%と他の年代に比べて最も高い。また、70歳以上では「歴史的にも鹿沼市の顔(核)となっている場所であるから」と回答した人の割合が6割を超える。

【居住地区】

- ・旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧鹿沼市では「歴史的にも鹿沼市の顔(核)となっている場所であるから」45.4%、「市民にとってなじみのある場所であるから」65.2%の割合が高く、地理的な理由をあげているのに対し、旧粟野町では「市有地であることや道路、上下水道などの施設が整備されているため費用がかからないから」45.5%というコストに関する理由をあげている人の割合が高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 15 「現在の場所」を希望する理由 (MA) 【性別】 【年代】 【居住地区 (15 区分)】 【居住地区 (2 区分)】

※問 14 で「現在の場所」と回答した人のみ

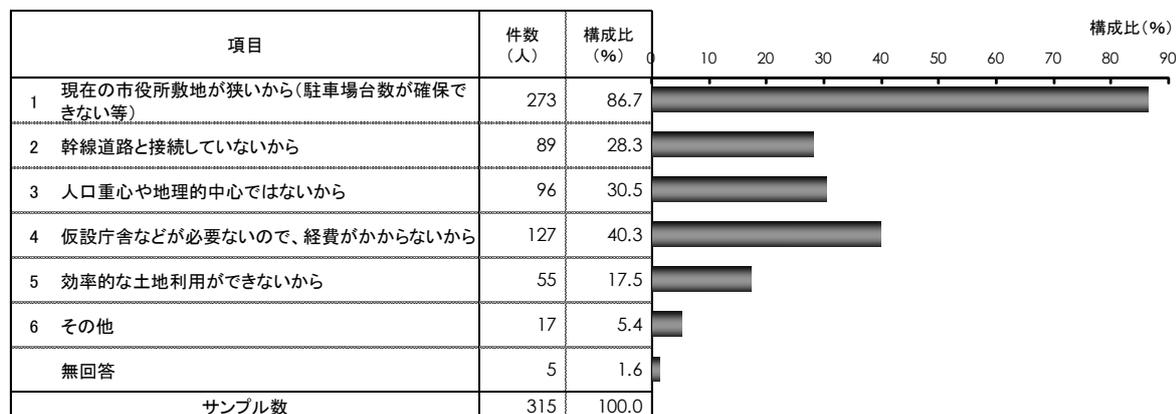
		()内は サンプル 数	歴史的にも 鹿沼市の顔 (核)となっ ている場所 であるから	市民にとっ てなじみのある場所であるから	病院や商店 街などを歩 いて移動で き、人通りが 多くなること により中心 市街地が活 性化するから	バスや道路 など交通の 利便性(交 通アクセス) が良いから	市有地であることや道 路、上下水 道などの施 設が整備さ れているた め費用がか からないから	その他	無回答
全体		(315)	43.8	64.4	22.2	22.9	29.5	3.5	1.0
性別	男性	(129)	41.1	59.7	22.5	14.0	32.6	3.1	1.6
	女性	(185)	45.9	67.6	21.6	29.2	27.0	3.8	0.5
年代	20代	(44)	34.1	68.2	9.1	20.5	18.2	4.5	-
	30代	(53)	35.8	64.2	5.7	3.8	28.3	7.5	-
	40代	(51)	39.2	76.5	25.5	29.4	27.5	2.0	-
	50代	(50)	48.0	62.0	28.0	26.0	28.0	6.0	4.0
	60代	(66)	42.4	59.1	28.8	22.7	39.4	-	1.5
	70歳以上	(51)	62.7	58.8	33.3	35.3	31.4	2.0	-
居住地区 (15 区分)	鹿沼(中央・東部・北部)	(181)	48.1	69.1	23.2	23.2	26.5	4.4	1.1
	板荷	(12)	33.3	66.7	8.3	16.7	25.0	8.3	-
	西大芦	(4)	50.0	100.0	-	25.0	50.0	-	-
	加蘇	(6)	33.3	66.7	16.7	33.3	33.3	-	-
	北犬飼	(14)	35.7	64.3	28.6	7.1	35.7	-	-
	南摩	(11)	27.3	54.5	45.5	27.3	18.2	-	9.1
	南押原	(8)	62.5	62.5	25.0	-	50.0	-	-
	東大芦	(10)	60.0	20.0	30.0	40.0	10.0	-	-
	菊沢	(25)	36.0	56.0	24.0	28.0	36.0	-	-
	北押原	(12)	41.7	50.0	16.7	25.0	50.0	-	-
	東部台	(10)	50.0	80.0	-	30.0	20.0	-	-
	粟野	(5)	20.0	20.0	-	20.0	60.0	-	-
	粕尾	(3)	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
	永野	(2)	-	100.0	-	-	50.0	-	-
	清州	(1)	-	-	100.0	-	100.0	-	-
	地区名がわからない	(9)	22.2	66.7	11.1	22.2	33.3	11.1	-
居住地区 (2 区分)	旧鹿沼市	(293)	45.4	65.2	22.5	23.2	28.7	3.1	1.0
	旧粟野町	(11)	9.1	36.4	18.2	18.2	45.5	9.1	-
	地区名がわからない	(9)	22.2	66.7	11.1	22.2	33.3	11.1	-

(構成比:%)

問 1 6 問 1 4 で「2」と答えた方のみにお聞きします。その理由は何ですか？次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 1 6 「他の場所への移転」を希望する理由 (MA)

※問 1 4 で「他の場所への移転」と回答した人のみ



問 1 6 「他の場所への移転」を希望する理由

～「現在の市役所敷地が狭いから」という理由が8割を超える～

【全体】

・新庁舎の場所について他の場所への移転を希望する人に対し、その理由を尋ねたところ、「現在の市役所敷地が狭いから(駐車台数が確保できない等)」と回答した人の割合が 86.7%と最も高く、次いで「仮設庁舎などが必要ないので、経費がかからないから」40.3%、「人口重心や地理的中心ではないから」30.5%となっている。

【性別】

・男性は女性より「幹線道路と接続していないから」と回答した人の割合が高い。

【年代】

・30代、40代では「幹線道路と接続していないから」と回答した人の割合が他の年代に比べて高い。また、40代、50代では「仮設庁舎などが必要ないので、経費がかからないから」と回答した人の割合が5割近くを占める。

【居住地区】

・北犬飼、菊沢、東部台では「仮設庁舎などが必要ないので、経費がかからないから」と回答した人の割合が50%以上を占める。
 ・旧鹿沼市、旧栗野町別にみると、旧栗野町は「現在の市役所敷地が狭いから(駐車台数が確保できない等)」「幹線道路と接続していないから」と回答した人の割合が旧鹿沼市より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 1 6 「他の場所への移転」を希望する理由 (MA) 【性別】 【年代】 【居住地区 (15 区分)】 【居住地区 (2 区分)】

※問 1 4 で「他の場所への移転」と回答した人のみ

		()内は サンプル 数	現在の市役 所敷地が狭 いから(駐車 場台数が確 保できない 等)	幹線道路と 接続してい ないから	人口重心や 地理的中心 ではないか ら	仮設庁舎な どが必要 ないので、経 費がかか らないから	効率的な土 地利用が できない から	その他	無回答
全体		(315)	86.7	28.3	30.5	40.3	17.5	5.4	1.6
性別	男性	(169)	85.8	34.3	32.0	40.8	19.5	5.9	2.4
	女性	(145)	87.6	21.4	29.0	40.0	15.2	4.8	0.7
年代	20代	(9)	77.8	22.2	44.4	11.1	33.3	11.1	-
	30代	(29)	86.2	34.5	31.0	27.6	6.9	20.7	-
	40代	(41)	80.5	34.1	34.1	48.8	12.2	2.4	-
	50代	(75)	86.7	29.3	30.7	49.3	21.3	1.3	1.3
	60代	(109)	89.9	27.5	31.2	41.3	14.7	5.5	1.8
	70歳以上	(51)	86.3	21.6	23.5	29.4	25.5	3.9	3.9
居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)	(103)	82.5	22.3	29.1	38.8	26.2	5.8	2.9
	板荷	(6)	83.3	33.3	16.7	66.7	16.7	16.7	-
	西大芦	(2)	100.0	-	-	100.0	-	-	-
	加蘇	(7)	71.4	14.3	14.3	14.3	14.3	-	14.3
	北犬飼	(26)	88.5	46.2	50.0	53.8	7.7	3.8	-
	南摩	(18)	94.4	38.9	16.7	33.3	11.1	16.7	-
	南押原	(25)	84.0	24.0	28.0	32.0	20.0	8.0	-
	東大芦	(9)	88.9	22.2	55.6	33.3	11.1	-	-
	菊沢	(26)	92.3	42.3	26.9	50.0	11.5	-	-
	北押原	(27)	85.2	22.2	37.0	40.7	22.2	3.7	3.7
	東部台	(11)	90.9	9.1	36.4	54.5	27.3	-	-
	栗野	(20)	95.0	30.0	30.0	40.0	10.0	-	-
	粕尾	(7)	100.0	-	28.6	57.1	14.3	-	-
	永野	(10)	90.0	50.0	40.0	10.0	-	10.0	-
	清州	(9)	88.9	44.4	11.1	55.6	11.1	22.2	-
地区名がわからない	(8)	75.0	25.0	25.0	12.5	-	-	-	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(260)	85.8	27.3	31.2	41.5	19.6	5.4	1.9
	旧栗野町	(46)	93.5	32.6	28.3	39.1	8.7	6.5	-
	地区名がわからない	(8)	75.0	25.0	25.0	12.5	-	-	-

(構成比:%)

7)人権行政について

問 17 あなたはこの一年間に、自分または身近な子どもの人権が侵害されたと感じたことがありますか。次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 17 自身または身近な子どもの人権侵害の経験 (MA)

項目	件数 (人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 女性または男性として人権侵害された	25	3.1	
2 障害者または病気の患者として人権侵害された	37	4.5	
3 自分の子どもが人権侵害された	20	2.5	
4 他人の子どもが人権侵害された	18	2.2	
5 高齢者として人権侵害された	22	2.7	
6 同和問題の関係者として人権侵害された	4	0.5	
7 職場の人間関係で人権侵害された	52	6.4	
8 その他	8	1.0	
9 特に人権侵害されたことはない	607	74.5	
無回答	75	9.2	
サンプル数	815	100.0	

問 17 自身または身近な子どもの人権侵害の経験

～「特に人権侵害されたことはない」が8割弱、一方、職場や性別、身体への人権侵害経験者も存在する～

【全体】

- ・人権侵害の経験について尋ねたところ、「特に人権侵害されたことはない」が74.5%を占めた。一方、少数ではあるが「職場の人間関係で人権侵害された」6.4%、「障害者または病気の患者として人権侵害された」4.5%、「女性または男性として人権侵害された」3.1%などがあげられた。

【性別】

- ・女性は男性より「女性または男性として人権侵害された」と回答した人の割合が高い。

【年代】

- ・20代～40代では「職場の人間関係で人権侵害された」と回答した人の割合が他の年代より高く、20代では「女性または男性として人権侵害された」の割合も他の年代より高い。また30代では「自分の子どもが人権侵害された」の割合も高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

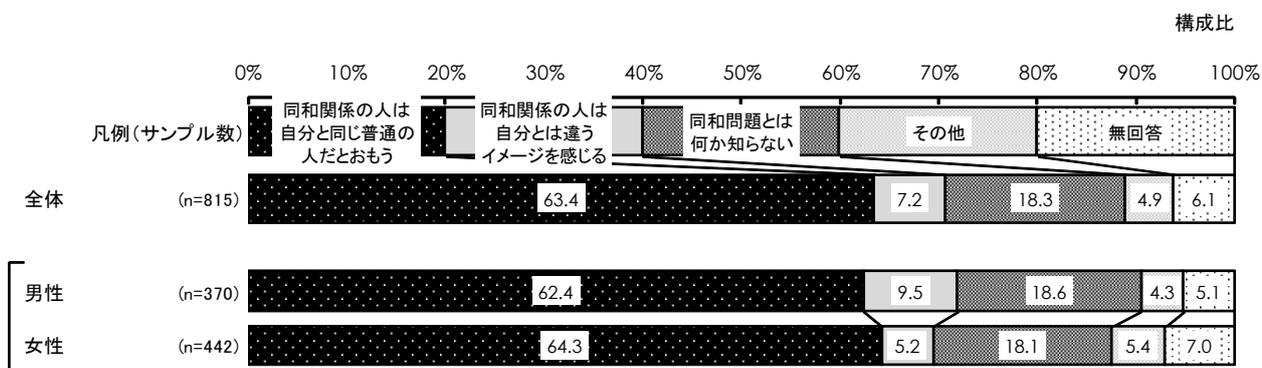
問 17 自身または身近な子どもの人権侵害の経験 (MA) 【性別】【年代】

		()内は サンプル 数	女性または 男性として 人権侵害され た	障害者また は病気の患 者として人 権侵害され た	自分の子ど もが人権侵 害された	他人の子ど もが人権侵 害された	高齢者とし て人権侵害 された	同和問題の 関係者とし て人権侵害 された	職場の人間 関係で人権 侵害された	その他	特に人権侵 害されたこと はない	無回答
全体		(815)	3.1	4.5	2.5	2.2	2.7	0.5	6.4	1.0	74.5	9.2
性別	男性	(370)	1.9	3.5	2.4	2.2	2.2	0.5	5.7	1.6	77.6	8.6
	女性	(442)	4.1	5.4	2.5	2.0	3.2	0.5	7.0	0.5	72.2	9.5
年代	20代	(67)	9.0	3.0	1.5	4.5	3.0	-	14.9	1.5	68.7	6.0
	30代	(115)	5.2	7.0	7.8	3.5	0.9	0.9	10.4	0.9	73.9	2.6
	40代	(124)	1.6	7.3	1.6	0.8	2.4	-	11.3	-	76.6	4.0
	50代	(157)	2.5	5.7	2.5	2.5	3.2	0.6	4.5	1.9	75.2	8.9
	60代	(219)	1.8	2.3	0.9	1.8	1.8	0.9	3.7	0.9	79.9	9.1
	70歳以上	(132)	2.3	3.0	1.5	1.5	5.3	-	0.8	0.8	65.9	22.0

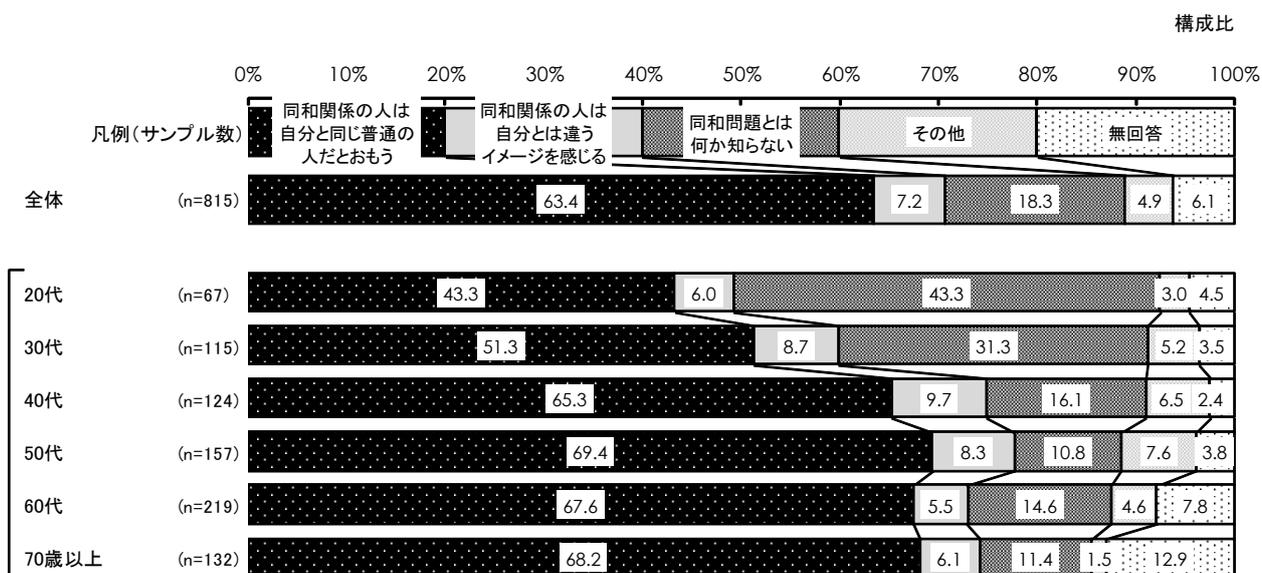
(構成比:%)

問 18 あなたは同和問題について、どのような受け止め方をしていますか。次の中から1つ選んでください。
(SA)

問 18 同和問題についての受け止め方 (SA) 【性別】



問 18 同和問題についての受け止め方 (SA) 【年代】



問18 同和問題についての受け止め方

～「同和関係の人は自分と同じ普通の人だとおもう」が6割強～

【全体】

- ・同和問題についての受け止め方を尋ねたところ、「同和関係の人は自分と同じ普通の人だとおもう」が63.4%を占め、「同和関係の人は自分とは違うイメージを感じる」は7.2%にとどまった。一方で、「同和問題とは何か知らない」が18.3%であった。

【性別】

- ・男女ともに「同和関係の人は自分と同じ普通の人だとおもう」が6割強を占めている。一方、男性は女性より「同和関係の人は自分とは違うイメージを感じる」の割合が高い。

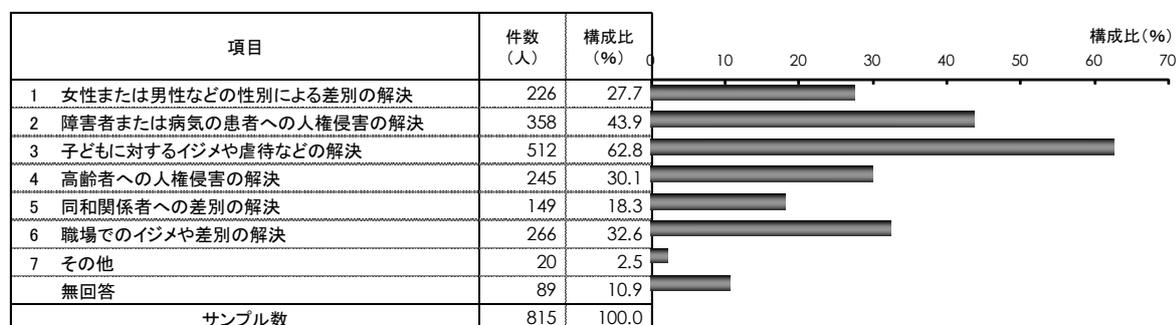
【年代】

- ・年代が高くなるにつれて「同和関係の人は自分と同じ普通の人だとおもう」と回答する人の割合は高くなる傾向がみられる。一方、年代が低くなるにつれて「同和問題とは何か知らない」と回答する割合が高くなる傾向がみられる。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 19 あなたはどのような人権問題の解決を望みますか。次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 19 解決を望む人権問題 (MA)



問 19 解決を望む人権問題

～「子どもに対するイジメや虐待などの解決」が6割強～

【全体】

- ・解決を望む人権問題について尋ねたところ、「子どもに対するイジメや虐待などの解決」が62.8%と最も高く、次いで「障害者または病気の患者への人権侵害の解決」43.9%、「職場でのイジメや差別の解決」32.6%、「高齢者への人権侵害の解決」30.1%となっている。

【性別】

- ・多くの項目で、女性が男性を上回って回答しており、特に「子どもに対するイジメや虐待などの解決」、「職場でのイジメや差別の解決」を望む人の割合は、女性は男性より5ポイント以上高い。

【年代】

- ・20代～40代において「職場でのイジメや差別の解決」を望む人の割合が他の年代より高く、30代では「子どもに対するイジメや虐待などの解決」を望む人の割合も他の年代より高い。

【職業】

- ・専門職では「子どもに対するイジメや虐待などの解決」を望む人の割合が8割を超え、「女性または男性などの性別による差別の解決」を望む人の割合も他の職業より高い。パート・アルバイト、学生では「職場でのイジメや差別の解決」を望む人の割合が他の職業より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 1 9 解決を望む人権問題 (MA) 【性別】【年代】【職業】

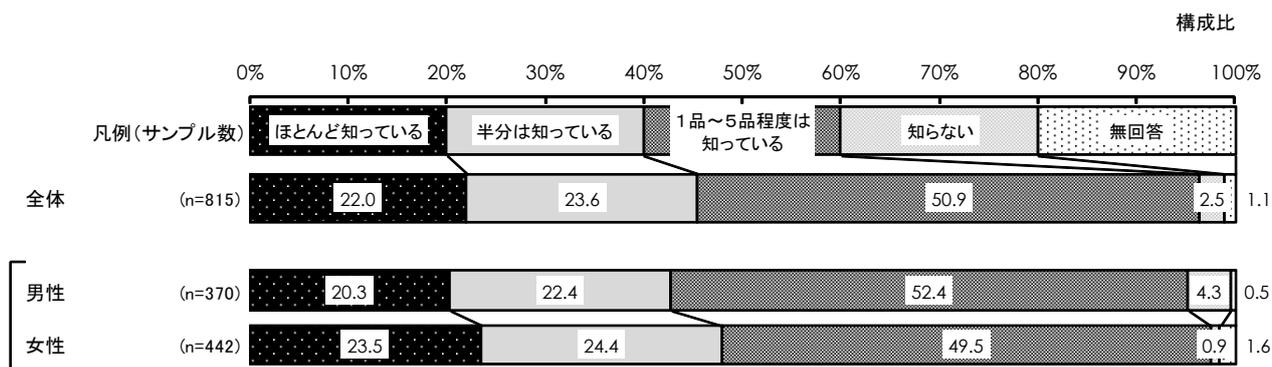
		()内は サンプル 数	女性または 男性などの 性別による 差別の解決	障害者また は病気の患 者への人権 侵害の解決	子どもに対 するイジメや 虐待などの 解決	高齢者への 人権侵害の 解決	同和関係者 への差別の 解決	職場でのイ ジメや差別 の解決	その他	無回答
全体		(815)	27.7	43.9	62.8	30.1	18.3	32.6	2.5	10.9
性別	男性	(370)	26.5	45.4	59.2	28.4	20.3	29.2	3.0	11.1
	女性	(442)	29.0	42.8	65.8	31.4	16.7	35.5	2.0	10.9
年代	20代	(67)	37.3	44.8	70.1	25.4	13.4	52.2	1.5	1.5
	30代	(115)	33.0	52.2	76.5	25.2	19.1	43.5	0.9	3.5
	40代	(124)	29.0	49.2	72.6	30.6	18.5	42.7	4.0	3.2
	50代	(157)	28.0	52.2	66.9	26.8	15.9	28.7	1.9	10.8
	60代	(219)	26.5	37.9	55.7	33.3	18.3	24.2	3.2	14.6
	70歳以上	(132)	18.2	31.8	45.5	34.8	22.7	22.7	2.3	23.5
職業	専門職	(17)	47.1	52.9	82.4	35.3	11.8	29.4	5.9	5.9
	管理職	(31)	25.8	41.9	74.2	22.6	19.4	25.8	-	12.9
	事務・技術職	(108)	34.3	43.5	72.2	30.6	15.7	38.9	1.9	1.9
	販売・生産・労務職	(114)	27.2	48.2	60.5	20.2	15.8	37.7	2.6	7.9
	農林水産業従事者	(33)	21.2	51.5	51.5	27.3	21.2	15.2	3.0	15.2
	自営業	(66)	18.2	37.9	66.7	25.8	16.7	18.2	3.0	19.7
	パート・アルバイト	(136)	32.4	39.0	71.3	33.8	14.0	42.6	2.2	9.6
	主に家事、育児	(69)	26.1	52.2	73.9	30.4	20.3	40.6	1.4	5.8
	学生	(11)	27.3	63.6	63.6	18.2	18.2	45.5	-	9.1
	無職	(198)	23.7	37.9	48.0	35.4	23.2	23.7	2.5	17.2
その他	(28)	28.6	60.7	46.4	32.1	17.9	39.3	7.1	10.7	

(構成比:%)

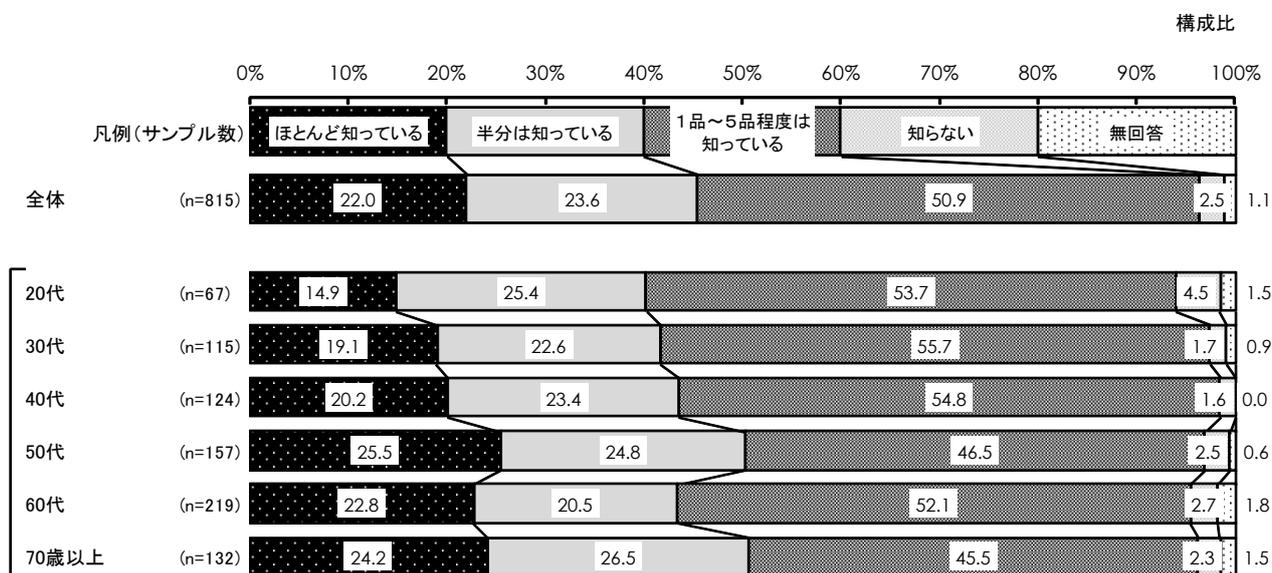
8)かぬまブランドについて

問 2 0 かぬまブランド品として、「いちご」「かぬま和牛」「鹿沼そば」「さつき」「鹿沼こんにゃく」「鹿沼組子」「いちご大福」など 2 8 品目があります。あなたは、かぬまブランド品をご存知ですか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

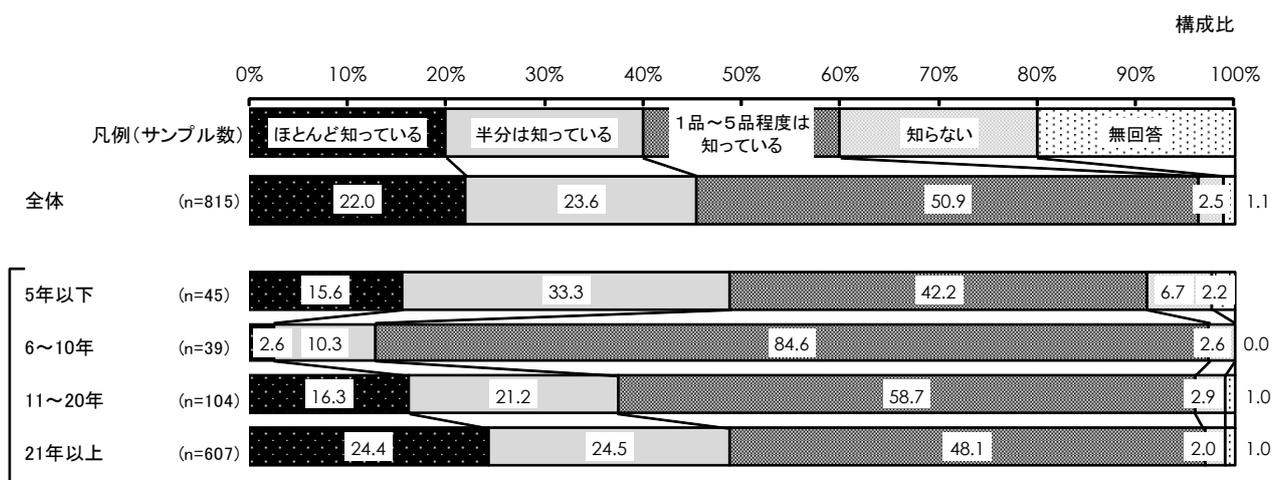
問 2 0 「かぬまブランド品」の認知 (S A) 【性別】



問 2 0 「かぬまブランド品」の認知 (S A) 【年代】



問 20 「かぬまブランド品」の認知（SA）【居住年数】



問 20 「かぬまブランド品」の認知
～ほとんどの人がかぬまブランドについて認知している～

【全体】

・かぬまブランド品について、「ほとんど知っている」22.0%、「半分は知っている」23.6%、「1品～5品程度は知っている」50.9%を合わせ、かぬまブランド品の認知度は96.5%であった。

【性別】

・女性は男性より「ほとんど知っている」「半分は知っている」と回答した人の割合が高い。また、女性で「知らない」と回答した人の割合は0.9%とわずかだった。

【年代】

・50代、70歳以上では「ほとんど知っている」「半分は知っている」の合計が50%を超える。一方、20代、30代では「ほとんど知っている」の割合は2割を下回っている。

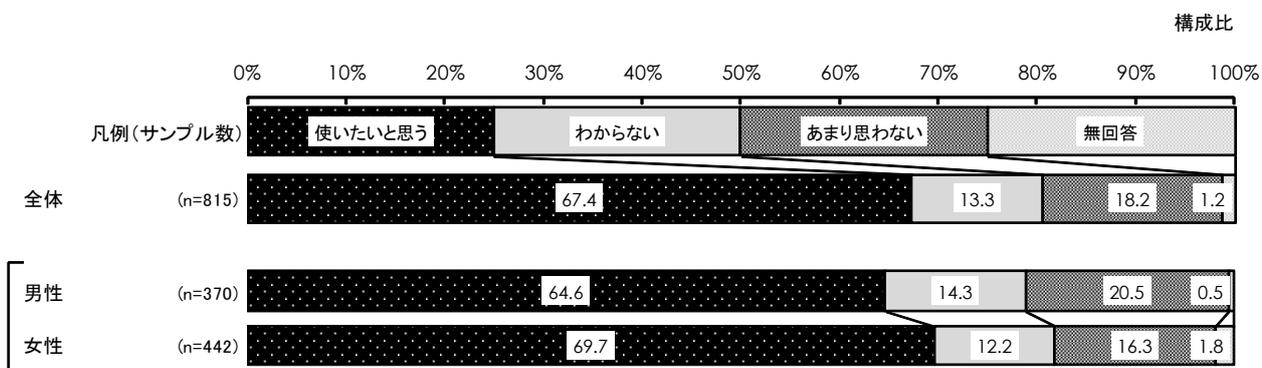
【居住年数】

・居住年数が6～10年では「ほとんど知っている」と回答した割合が2.6%と他に比べて低い。ただし、「ほとんど知っている」「半分は知っている」「1品～5品程度は知っている」を合わせた、かぬまブランド品の認知度は、居住年数による差はあまりみられず、いずれの居住年数においても9割を超える。

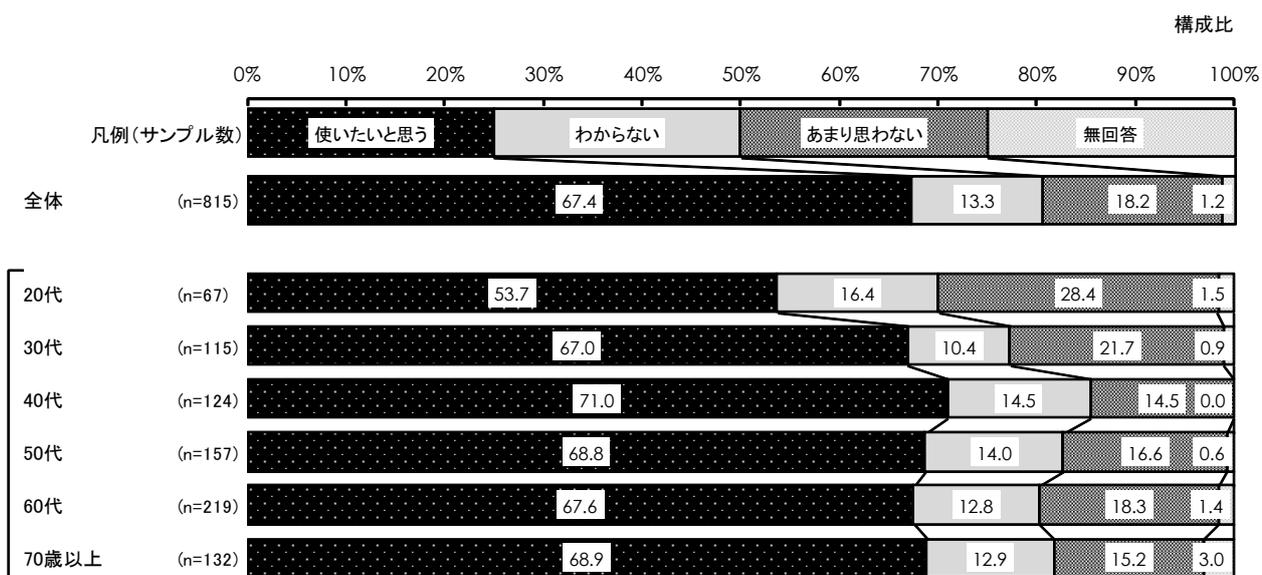
※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 2 1 あなたは、かぬまブランドをおみやげ品などとして、使いたいと思いますか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

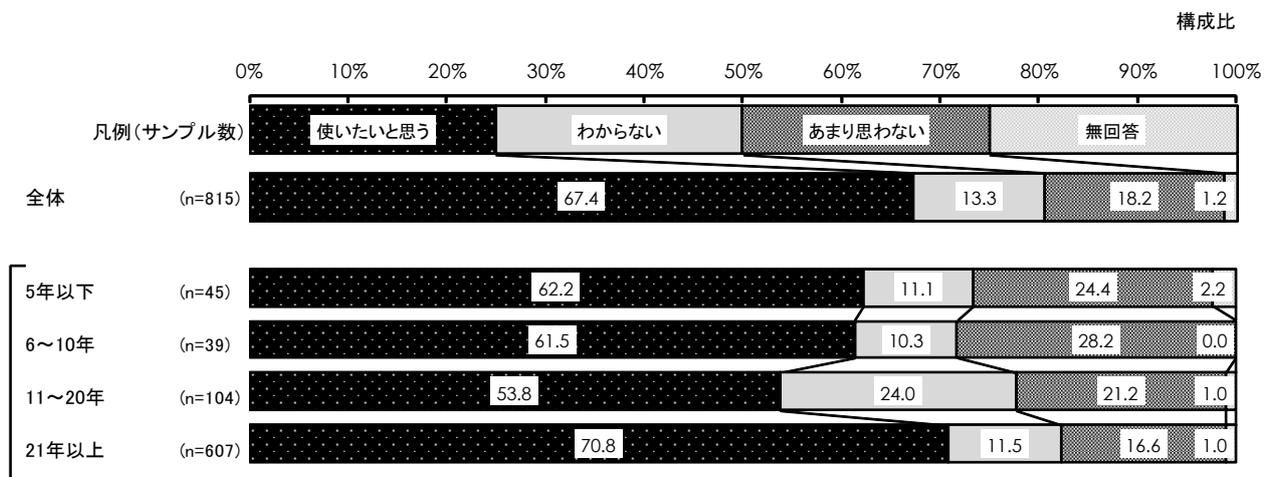
問 2 1 「かぬまブランド品」をおみやげ品などに使いたいか (S A) 【性別】



問 2 1 「かぬまブランド品」をおみやげ品などに使いたいか (S A) 【年代】



問 2 1 「かぬまブランド品」をおみやげ品などに使いたい (S A) 【居住年数】



問 2 1 「かぬまブランド品」をおみやげ品などに使いたいか
 ~おみやげ品などとして使いたいと思う人が 7 割弱~

【全体】

- ・かぬまブランド品をおみやげ品などに使いたいか尋ねたところ、「使いたいと思う」と回答した人が 67.4% を占めた。

【性別】

- ・女性は男性より「使いたいと思う」人の割合が 5.1 ポイント高い。

【年代】

- ・30代~70歳以上では、「使いたいと思う」人が 7 割前後を占める。一方、20代では「あまり思わない」人の割合が 28.4% と他の年代に比べて高い。

【居住年数】

- ・居住年数が 21 年以上では「使いたいと思う」と回答した人の割合が 70% を超える。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

9)新エネルギー利用の推進について

問 2 2 ご家庭で、現在どのような新エネルギー設備を利用していますか。次の中からあてはまるものをいくつかでも選んでください。(MA)

問 2 2 新エネルギー設備の利用状況 (MA)

項目	件数 (人)	構成比 (%)	構成比 (%)
1 太陽光発電設備	74	9.1	
2 太陽熱利用設備	49	6.0	
3 ハイブリッドカー	112	13.7	
4 電気自動車	7	0.9	
5 ガスコージェネレーション設備(エコウィルなど)	13	1.6	
6 燃料電池(エネファームなど)	17	2.1	
7 その他	6	0.7	
8 利用していない	547	67.1	
無回答	44	5.4	
サンプル数	815	100.0	

問 2 2 新エネルギー設備の利用状況
～新エネルギー設備を利用していない人が7割弱～

【全体】

- ・新エネルギー設備について「利用していない」と回答した人は67.1%を占め、最も高かった。一方、利用している設備としては「ハイブリッドカー」13.7%、「太陽光発電設備」9.1%、「太陽熱利用設備」6.0%などがあげられた。

【性別】

- ・新エネルギー設備について「利用していない」と回答した人の割合は、男女とも6割を超える。また、利用している設備については、男女で大きな差はみられなかった。

【年代】

- ・年代が下がるにつれて「太陽光発電設備」を利用している人の割合は高くなる。また、50代、60代では「ハイブリッドカー」を利用している人の割合が他の年代より高い。

【職業】

- ・自営業では「太陽光発電設備」を利用している人の割合が他の職業より高い。専門職、管理職では「ガスコージェネレーション設備(エコウィルなど)」を利用している人の割合が高い。専門職では「ハイブリッドカー」を利用している人の割合も高い。一方、パート・アルバイト、主に家事、育児の人は「利用していない」と回答した人の割合が他の職業より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

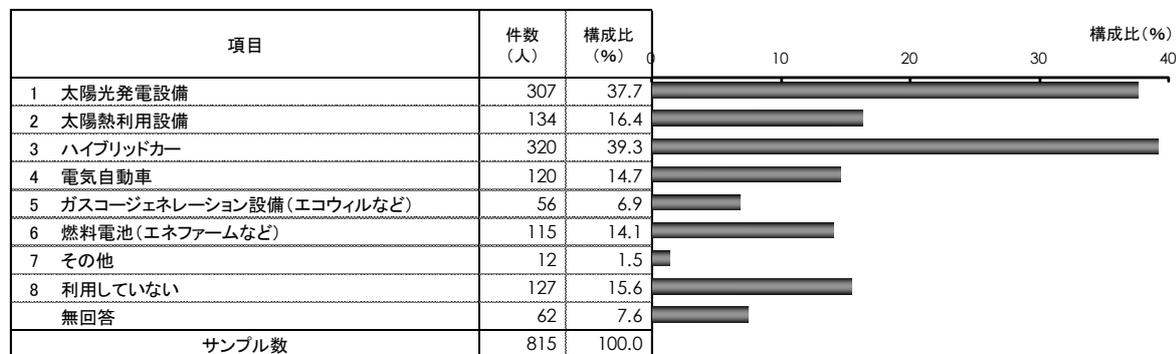
問 2 2 新エネルギー設備の利用状況 (MA) 【性別】 【年代】 【職業】

		()内は サンプル 数	太陽光発電 設備	太陽熱利用 設備	ハイブリッド カー	電気自動車	ガスコージェ ネレーション 設備(エコ ウィルなど)	燃料電池 (エネファ ームなど)	その他	利用してい ない	無回答
全体		(815)	9.1	6.0	13.7	0.9	1.6	2.1	0.7	67.1	5.4
性別	男性	(370)	9.5	5.7	16.2	0.5	2.4	1.9	0.8	65.1	4.3
	女性	(442)	8.8	6.1	11.8	1.1	0.9	2.3	0.7	69.0	6.1
年代	20代	(67)	14.9	10.4	11.9	-	1.5	1.5	1.5	64.2	3.0
	30代	(115)	12.2	4.3	13.9	3.5	1.7	3.5	-	70.4	2.6
	40代	(124)	9.7	4.0	13.7	-	1.6	2.4	0.8	66.1	4.0
	50代	(157)	8.9	6.4	16.6	-	1.9	2.5	-	70.1	1.9
	60代	(219)	7.3	5.5	15.1	-	0.5	1.4	0.9	67.1	6.8
	70歳以上	(132)	6.1	7.6	9.1	2.3	3.0	1.5	1.5	62.9	12.1
職業	専門職	(17)	-	-	35.3	-	5.9	-	-	47.1	11.8
	管理職	(31)	12.9	-	6.5	-	6.5	6.5	-	71.0	9.7
	事務・技術職	(108)	11.1	6.5	13.9	0.9	-	0.9	-	67.6	1.9
	販売・生産・労務職	(114)	11.4	7.0	14.0	0.9	1.8	5.3	1.8	66.7	1.8
	農林水産業従事者	(33)	6.1	12.1	12.1	-	-	-	-	66.7	3.0
	自営業	(66)	16.7	7.6	16.7	1.5	1.5	3.0	1.5	57.6	6.1
	パート・アルバイト	(136)	8.1	4.4	10.3	0.7	0.7	1.5	-	77.2	2.9
	主に家事、育児	(69)	10.1	10.1	10.1	1.4	2.9	1.4	-	73.9	-
	学生	(11)	9.1	18.2	54.5	-	-	-	-	27.3	9.1
	無職	(198)	5.1	4.0	13.6	1.0	2.0	1.0	1.5	64.6	11.1
その他	(28)	10.7	7.1	10.7	-	-	3.6	-	64.3	10.7	

(構成比: %)

問 2 3 ご家庭で、今後利用したい新エネルギー設備は何ですか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(MA)

問 2 3 今後利用したい新エネルギー設備 (MA)



問 2 3 今後利用したい新エネルギー設備

～「ハイブリッドカー」「太陽光発電設備」を今後利用したい人が4割弱～

【全体】

- ・今後利用したい新エネルギー設備を尋ねたところ、「ハイブリッドカー」39.3%が最も高く、次いで「太陽光発電設備」37.7%、「太陽熱利用設備」16.4%となっている。

【性別】

- ・今後利用したい新エネルギー設備を尋ねたところ、「太陽光発電設備」「ハイブリッドカー」が男女ともに4割前後と高かった。

【年代】

- ・20代～50代では「太陽光発電設備」「ハイブリッドカー」「燃料電池(エネファームなど)」を利用したいと回答した人の割合が、60代以上に比べて高い。20代では、「電気自動車」を利用したいと回答した人の割合が他の年代より高い。

【職業】

- ・管理職では「太陽光発電設備」、「ハイブリッドカー」を利用したいと回答した人が半数を超える。農林水産業従事者では「太陽熱利用設備」を利用したいと回答した人が36.4%と他の職業に比べて高い。また、主に家事、育児の人や学生は「電気自動車」を利用したいと回答した人が他の職業に比べて高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 2 3 今後利用したい新エネルギー設備 (MA) 【性別】 【年代】 【職業】

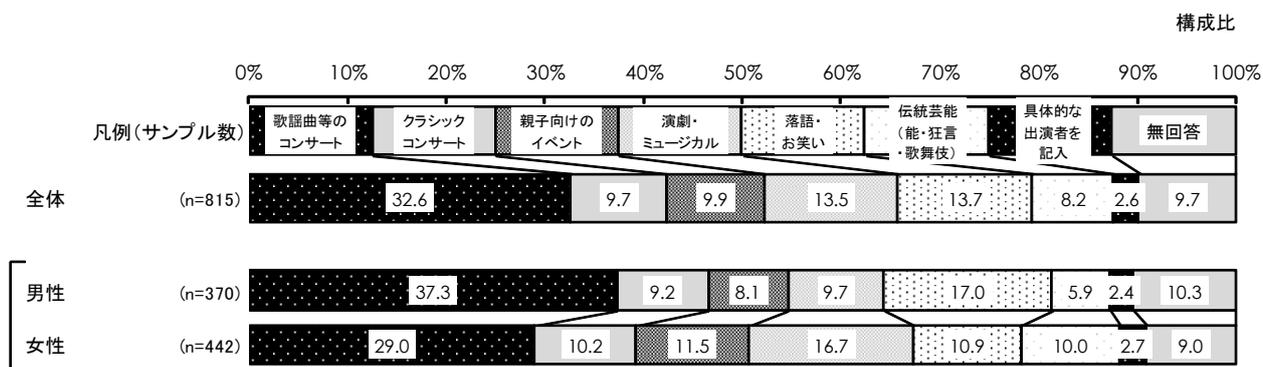
		()内は サンプル 数	太陽光発電 設備	太陽熱利用 設備	ハイブリッド カー	電気自動車	ガスコージェ ネレーション 設備(エコ ウィルなど)	燃料電池 (エネファ ームなど)	その他	利用してい ない	無回答
全体		(815)	37.7	16.4	39.3	14.7	6.9	14.1	1.5	15.6	7.6
性別	男性	(370)	40.8	14.3	40.5	16.5	6.8	13.5	1.1	16.8	5.4
	女性	(442)	35.3	18.1	38.5	13.3	7.0	14.7	1.8	14.3	9.5
年代	20代	(67)	43.3	10.4	40.3	23.9	10.4	17.9	-	17.9	6.0
	30代	(115)	45.2	17.4	48.7	17.4	6.1	16.5	0.9	8.7	4.3
	40代	(124)	41.1	18.5	46.8	15.3	8.1	19.4	3.2	14.5	0.8
	50代	(157)	43.3	15.3	48.4	15.3	8.3	18.5	0.6	8.3	7.0
	60代	(219)	30.1	16.4	32.0	10.5	5.0	9.6	1.8	20.1	11.4
	70歳以上	(132)	31.1	18.2	24.2	13.6	6.1	7.6	1.5	22.7	12.1
職業	専門職	(17)	41.2	5.9	41.2	23.5	11.8	17.6	5.9	-	11.8
	管理職	(31)	51.6	9.7	58.1	12.9	16.1	16.1	-	6.5	-
	事務・技術職	(108)	47.2	18.5	45.4	12.0	6.5	16.7	3.7	13.0	1.9
	販売・生産・労務職	(114)	43.0	9.6	41.2	17.5	6.1	18.4	-	13.2	6.1
	農林水産業従事者	(33)	45.5	36.4	39.4	21.2	3.0	9.1	-	9.1	6.1
	自営業	(66)	42.4	22.7	42.4	15.2	7.6	16.7	-	15.2	9.1
	パート・アルバイト	(136)	41.2	13.2	42.6	9.6	3.7	10.3	-	12.5	7.4
	主に家事、育児	(69)	40.6	20.3	46.4	26.1	13.0	17.4	-	10.1	5.8
	学生	(11)	45.5	9.1	27.3	36.4	9.1	18.2	-	9.1	18.2
	無職	(198)	22.2	16.7	26.8	10.1	6.1	10.1	3.0	24.7	12.6
	その他	(28)	25.0	17.9	42.9	21.4	7.1	17.9	3.6	25.0	7.1

(構成比:%)

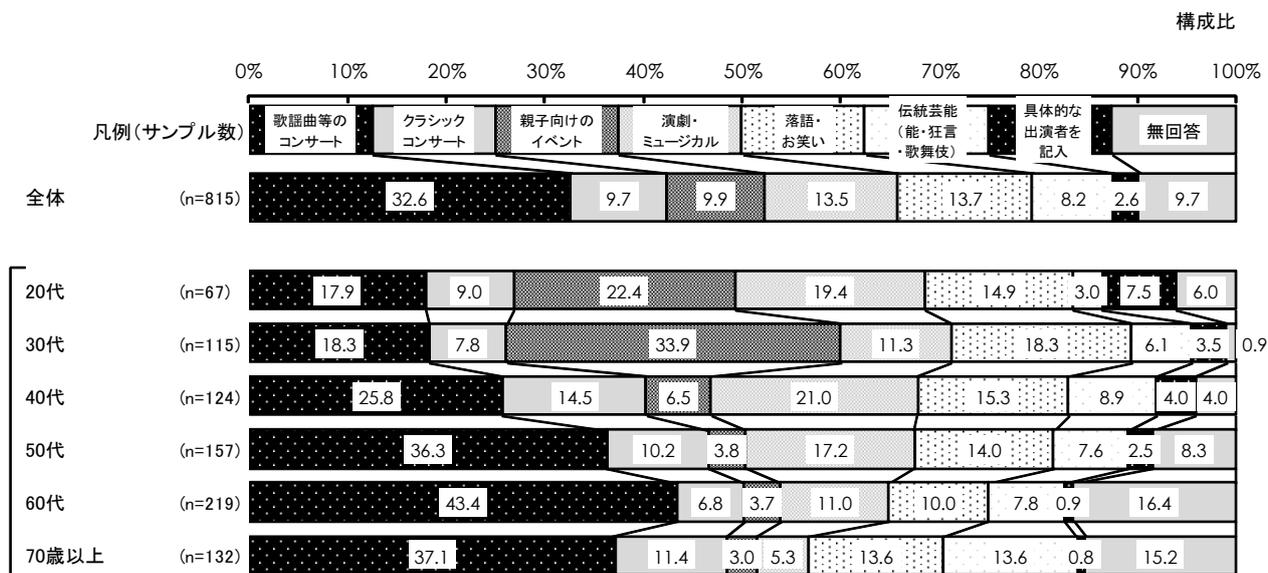
10)文化センターの各種イベントについて

問 2 4 市民文化センターで、どのような催しを観たいと思いますか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

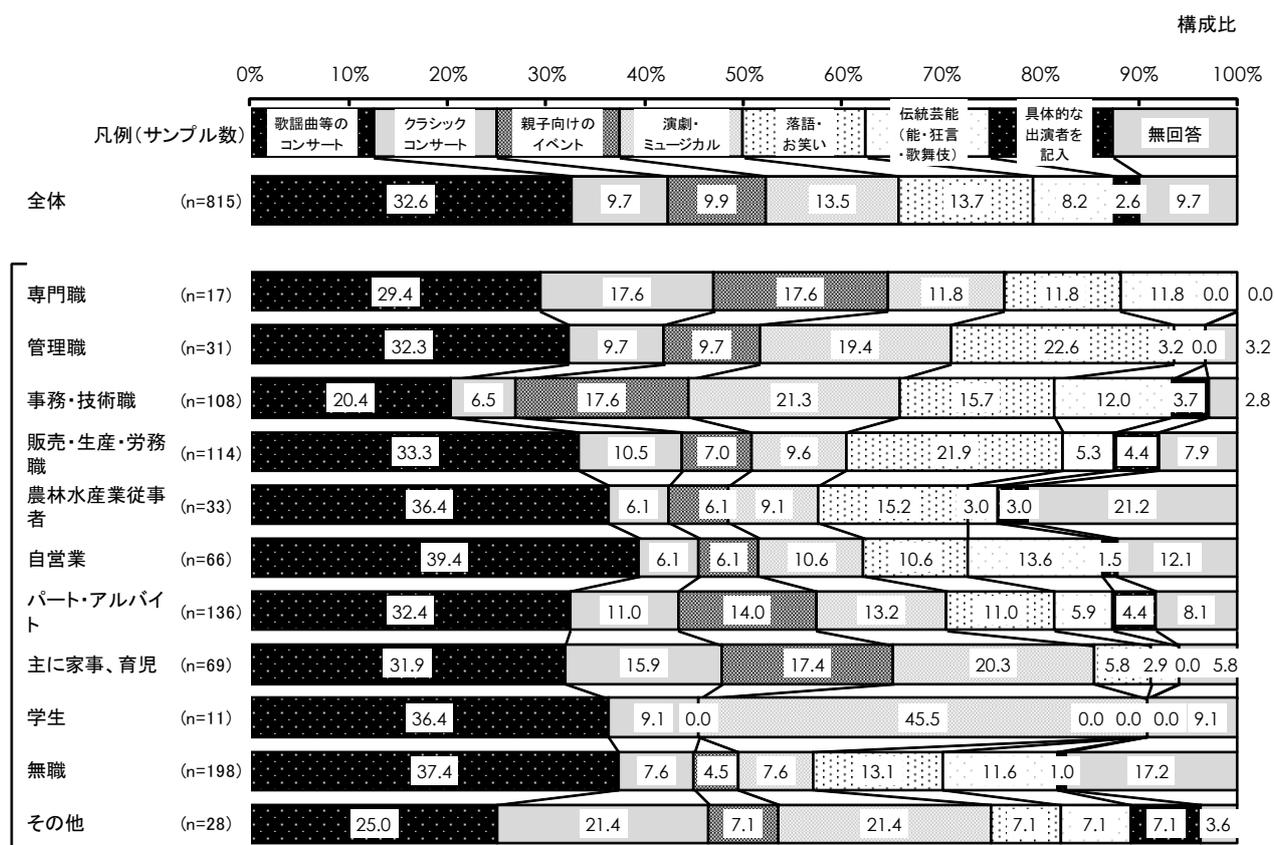
問 2 4 市民文化センターで最も観たい催し (S A) 【性別】



問 2 4 市民文化センターで最も観たい催し (S A) 【年代】



問 2 4 市民文化センターで最も観たい催し (SA) 【職業】



問 2 4 市民文化センターで最も観たい催し

～「歌謡曲等のコンサート」が3割、次いで「落語・お笑い」「演劇・ミュージカル」～

【全体】

・市民文化センターでどのような催しを観たいか1つだけ尋ねたところ、「歌謡曲等のコンサート」が32.6%で最も高く、次いで「落語・お笑い」13.7%、「演劇・ミュージカル」13.5%となっている。

【性別】

・男性は女性より「歌謡曲等のコンサート」を観たいと思う割合が8.3ポイント高く、女性は男性より「演劇・ミュージカル」の割合が7.0ポイント高い。

【年代】

・20代、30代では「親子向けのイベント」を観たいと思う割合が他の年代より高く、20代、40代では「演劇・ミュージカル」の割合が高い。また、50代～70歳以上では、「歌謡曲等のコンサート」の割合が高く、年代により、観たいと思う催しに違いがみられた。

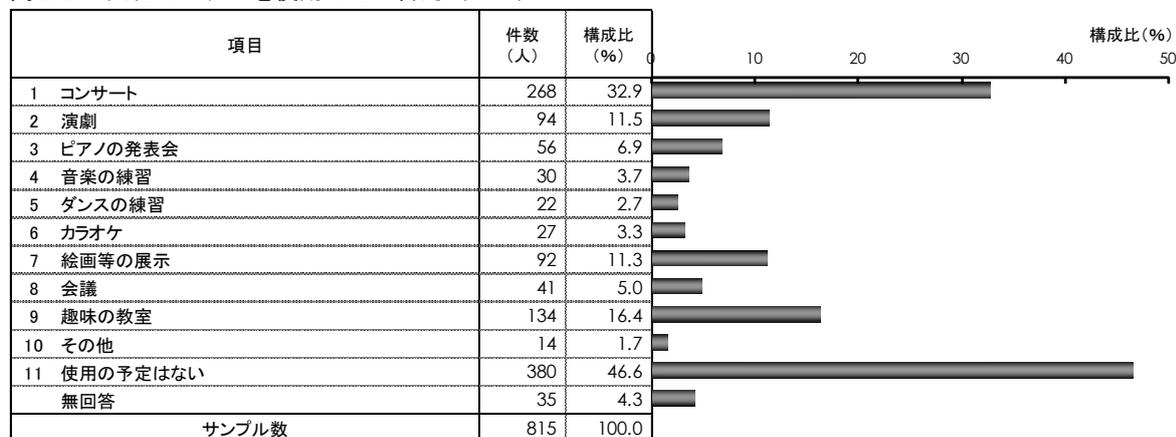
【職業】

・管理職では「落語・お笑い」を観たいと思う割合が他の職業より高い。専門職、事務・技術職、主に家事、育児の人は「親子向けのイベント」を観たいと思う割合が他の職業より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 2 5 文化センターをどのような目的で使用したいと思いますか。次の中からあてはまるものをいくつでも選んでください。(MA)

問 2 5 文化センターを使用したい目的 (MA)



問 2 5 文化センターを使用したい目的

～「使用の予定はない」が5割強、一方、「コンサート」と回答した人は3割強～

【全体】

- ・文化センターをどのような目的で使用したいか尋ねたところ、「使用の予定はない」と回答した割合が 46.6% で最も高かった。次いで「コンサート」32.9%、「趣味の教室」16.4%、「演劇」11.5%、「絵画等の展示」11.3% となっている。

【性別】

- ・男性は女性より「会議」で使用したいと回答した割合が5.1ポイント高い。

【年代】

- ・30代では、「コンサート」「演劇」「音楽の練習」「ダンスの練習」など複数の項目において他の年代より割合が高い。50代以上では「趣味の教室」と回答した割合が他の年代より高い。

【職業】

- ・主に家事、育児の人は「コンサート」と回答した人の割合が他の職業より高い。一方、農林水産業従事者は「使用の予定はない」と回答した人の割合が他の職業より高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

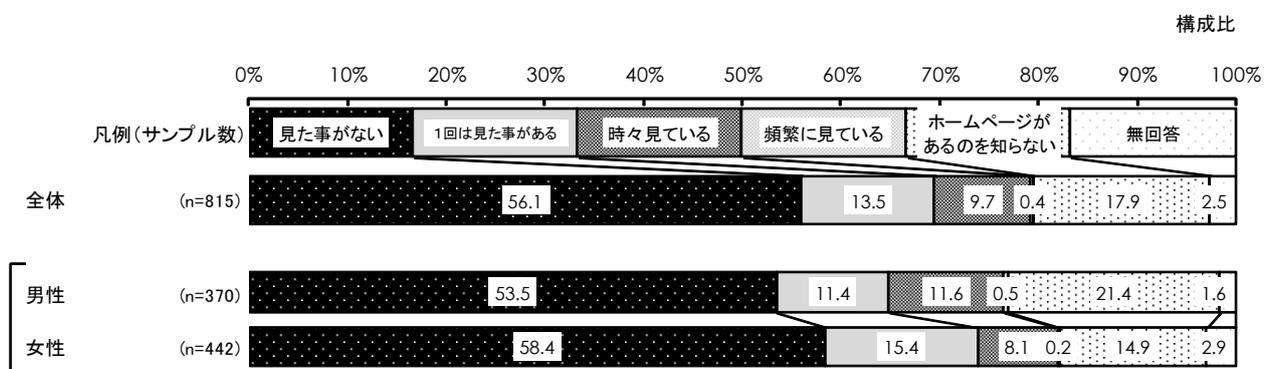
問25 文化センターを使用したい目的(MA)【性別】【年代】【職業】

		()内は サンプル 数	コンサート	演劇	ピアノの発 表会	音楽の練習	ダンスの練 習	カラオケ	絵画等の展 示	会議	趣味の教室	その他	使用の予定 はない	無回答
全体		(815)	32.9	11.5	6.9	3.7	2.7	3.3	11.3	5.0	16.4	1.7	46.6	4.3
性別	男性	(370)	31.9	11.1	4.9	3.2	2.4	4.6	12.4	7.8	15.4	1.1	45.4	4.1
	女性	(442)	33.9	12.0	8.6	4.1	2.9	2.3	10.4	2.7	17.4	2.3	47.7	4.1
年代	20代	(67)	32.8	7.5	7.5	3.0	3.0	1.5	6.0	4.5	7.5	-	55.2	3.0
	30代	(115)	41.7	17.4	10.4	8.7	7.8	2.6	13.0	2.6	14.8	1.7	36.5	-
	40代	(124)	32.3	13.7	10.5	3.2	2.4	1.6	9.7	3.2	12.1	3.2	54.8	1.6
	50代	(157)	36.9	15.3	6.4	5.1	0.6	1.3	12.7	10.8	18.5	3.2	43.9	3.2
	60代	(219)	30.1	8.2	4.6	0.9	2.3	4.1	11.4	3.7	18.7	1.4	48.4	4.6
	70歳以上	(132)	25.8	7.6	4.5	3.0	1.5	7.6	12.1	4.5	20.5	-	43.2	12.1
	職業	専門職	(17)	35.3	35.3	17.6	11.8	5.9	5.9	29.4	23.5	23.5	-	41.2
	管理職	(31)	38.7	19.4	3.2	-	-	-	16.1	9.7	22.6	3.2	32.3	3.2
	事務・技術職	(108)	36.1	12.0	9.3	1.9	2.8	0.9	12.0	3.7	13.9	4.6	48.1	0.9
	販売・生産・労務職	(114)	33.3	9.6	5.3	6.1	2.6	1.8	12.3	6.1	11.4	0.9	48.2	1.8
	農林水産業従事者	(33)	18.2	9.1	3.0	-	3.0	6.1	9.1	6.1	3.0	-	60.6	12.1
	自営業	(66)	34.8	9.1	1.5	6.1	3.0	9.1	12.1	12.1	25.8	4.5	39.4	3.0
	パート・アルバイト	(136)	34.6	13.2	8.8	5.9	3.7	0.7	9.6	2.9	13.2	0.7	50.0	3.7
	主に家事、育児	(69)	46.4	14.5	13.0	5.8	2.9	1.4	11.6	1.4	13.0	4.3	37.7	2.9
	学生	(11)	27.3	9.1	-	-	-	-	-	9.1	9.1	-	54.5	9.1
	無職	(198)	23.7	7.1	5.1	1.0	1.0	4.5	10.1	3.5	19.7	-	51.0	7.6
	その他	(28)	42.9	21.4	7.1	3.6	10.7	10.7	10.7	-	32.1	-	28.6	7.1

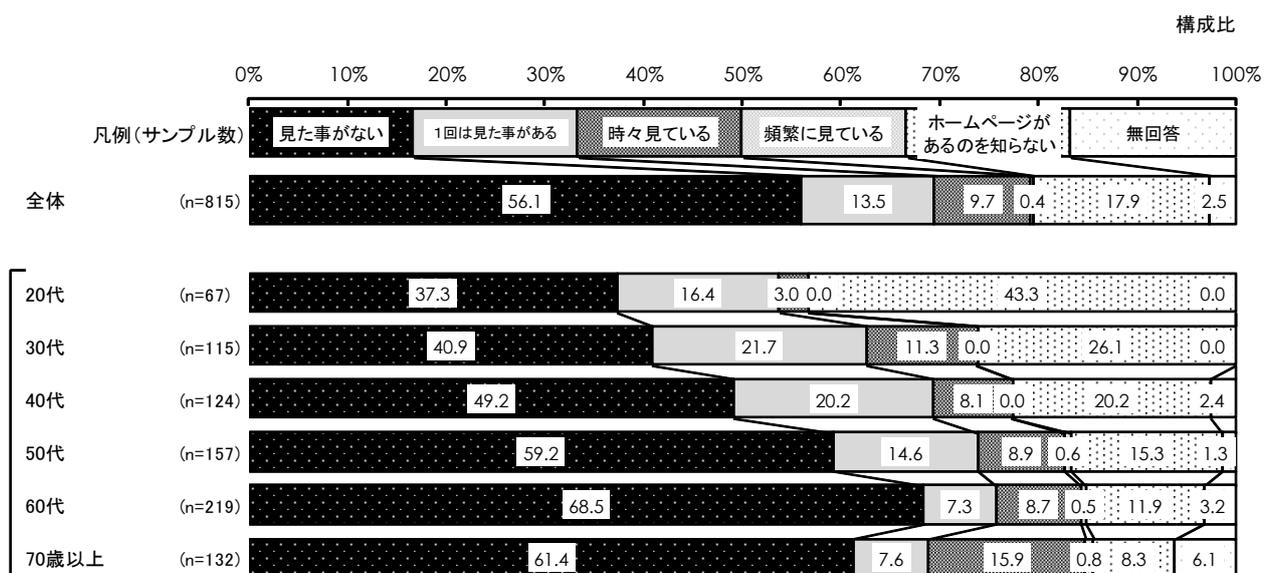
(構成比:%)

問 2 6 鹿沼市民文化センターのホームページを見たことはありますか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

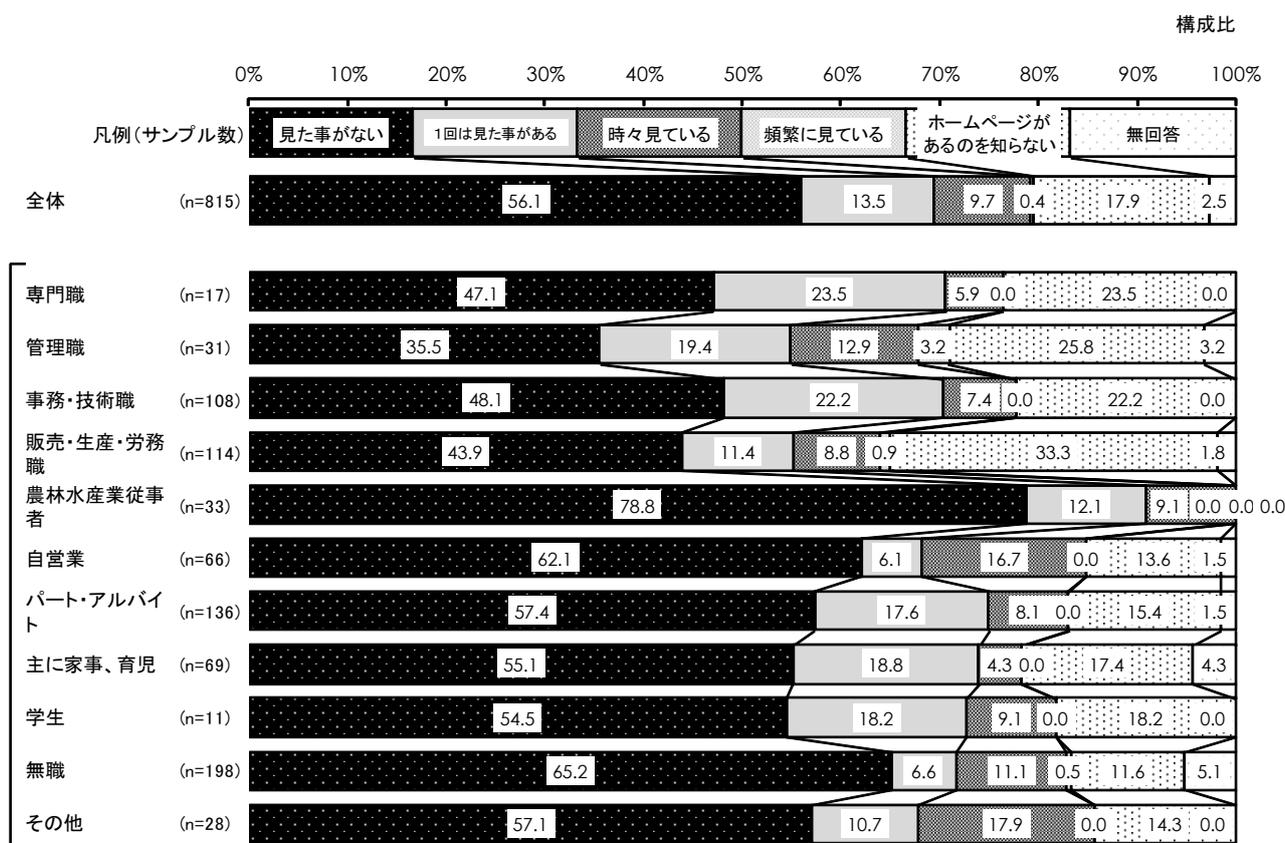
問 2 6 市民文化センターのホームページの閲覧経験 (S A) 【性別】



問 2 6 市民文化センターのホームページの閲覧経験 (S A) 【年代】



問 2 6 市民文化センターのホームページの閲覧経験 (S A) 【職業】



問 2 6 市民文化センターのホームページの閲覧経験
～ホームページを「見た事がない」人が半数以上～

【全体】

- ・市民文化センターのホームページについて「見た事がない」と回答した人の割合は 5 割を超える。また「ホームページがあるの知らない」の割合は 17.9%だった。

【性別】

- ・女性は男性より「見た事がない」と回答した人の割合が高い。一方、「1回は見た事がある」「時々見ている」「頻繁に見ている」を合わせた、見た事がある合計は男性 23.5%、女性 23.7%で大きな差はみられなかった。

【年代】

- ・年代が上がるにつれて「見た事がない」と回答した人の割合が高くなる傾向がみられる。一方、年代が下がるにつれて「ホームページがあるの知らない」と回答する人の割合が高くなる傾向がみられる。

【職業】

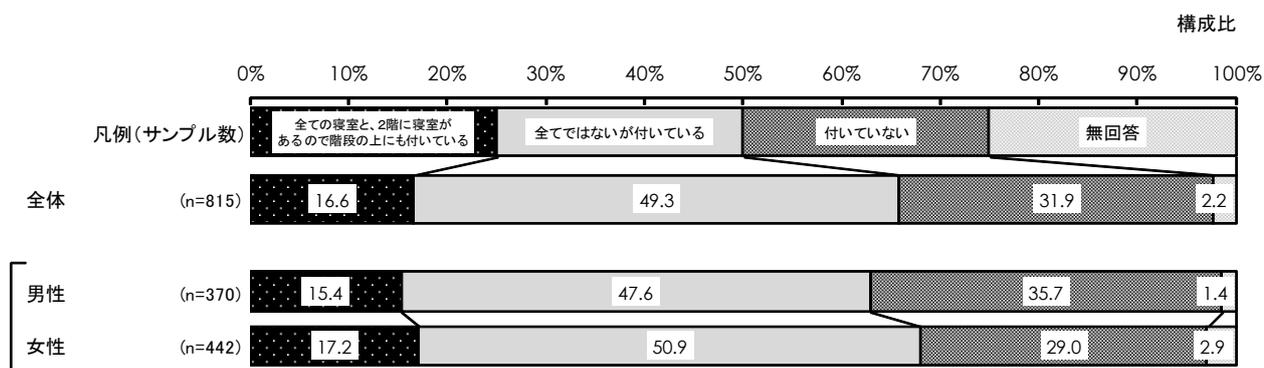
- ・管理職では、「1回は見た事がある」「時々見ている」「頻繁に見ている」を合わせた、見た事がある合計が 35.5%と他の職業に比べて最も高い。一方、農林水産業従事者では「見た事がない」と回答した人の割合が 8 割弱を占める。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

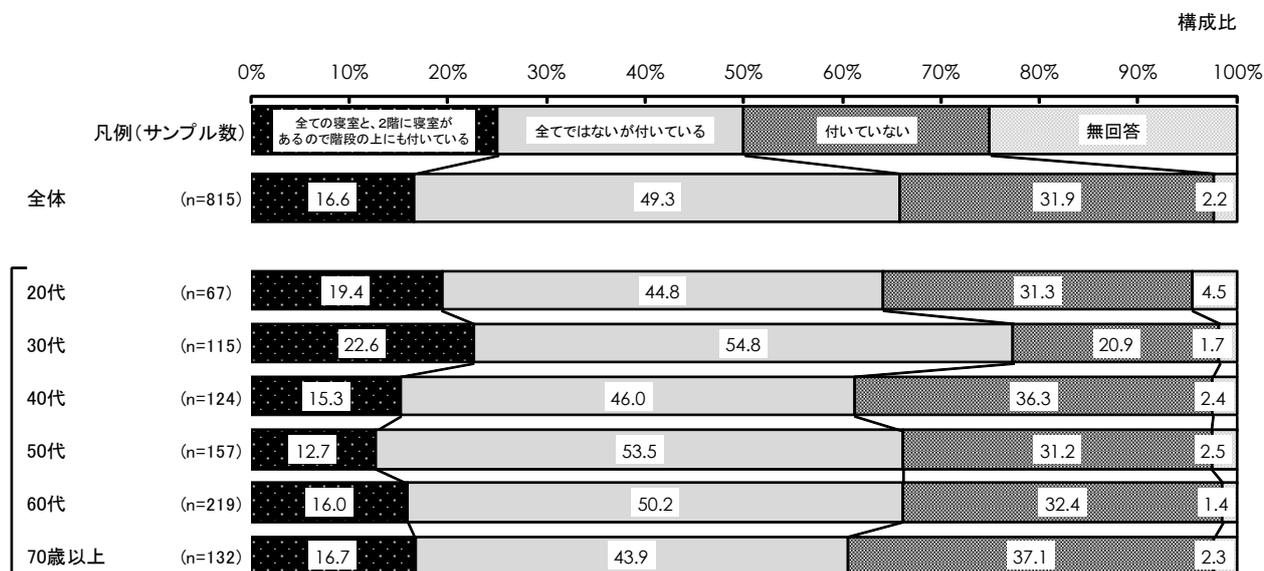
11)住宅用火災報知機の設置状況について

問 2 7 『住宅用火災警報器』は付いていますか。付いている場所はどこですか。次の中から 1 つ選んでください。(S A)

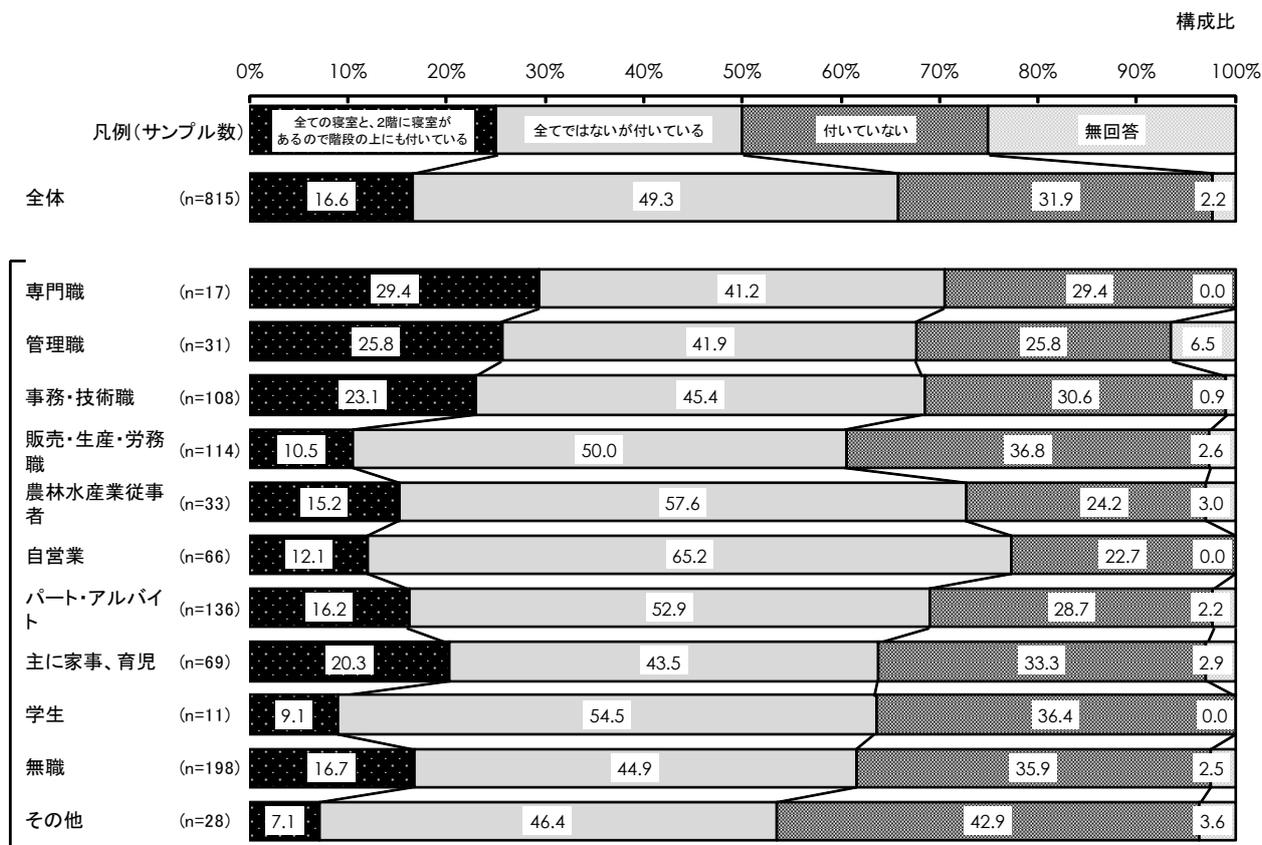
問 2 7 住宅用火災警報器の設置状況と設置場所 (S A) 【性別】



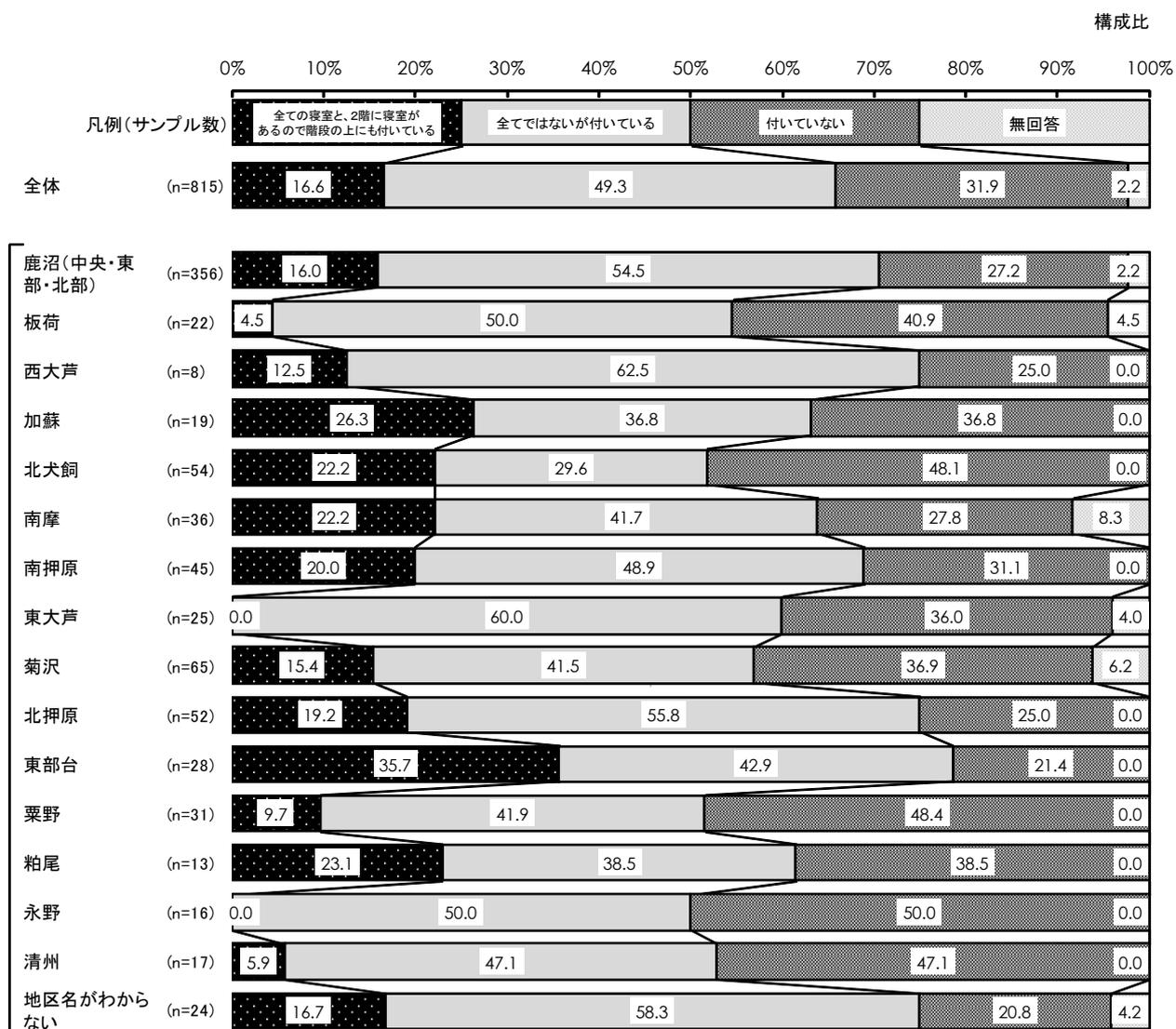
問 2 7 住宅用火災警報器の設置状況と設置場所 (S A) 【年代】



問 2 7 住宅用火災警報器の設置状況と設置場所 (S A) 【職業】



問 2 7 住宅用火災警報器の設置状況と設置場所 (S A)【居住地区 (15 区分)】



問27 住宅用火災警報器の設置状況と設置場所

～「全てではないが付いている」が約半数、「付いていない」は3割程度～

【全体】

- ・住宅用火災警報器の設置状況と設置場所について尋ねたところ、「全てではないが付いている」が49.3%で最も高く、次いで「付いていない」が31.9%となっている。

【性別】

- ・男性は女性より「付いていない」と回答した人の割合が6.7ポイント高い。

【年代】

- ・30代では「全ての寝室と、2階に寝室があるので階段の上にも付いている」22.6%、「全てではないが付いている」54.8%で、他の年代に比べ、最も意識が高い。

【職業】

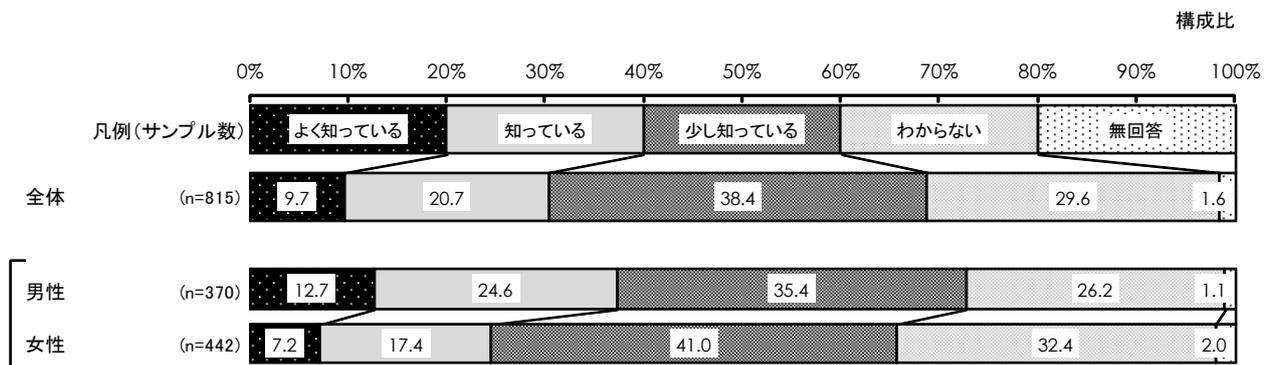
- ・専門職、管理職では「全ての寝室と、2階に寝室があるので階段の上にも付いている」の割合が他の職業に比べて高い。一方、販売・生産・労務職では「付いていない」の割合が他の職業に比べて高い。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

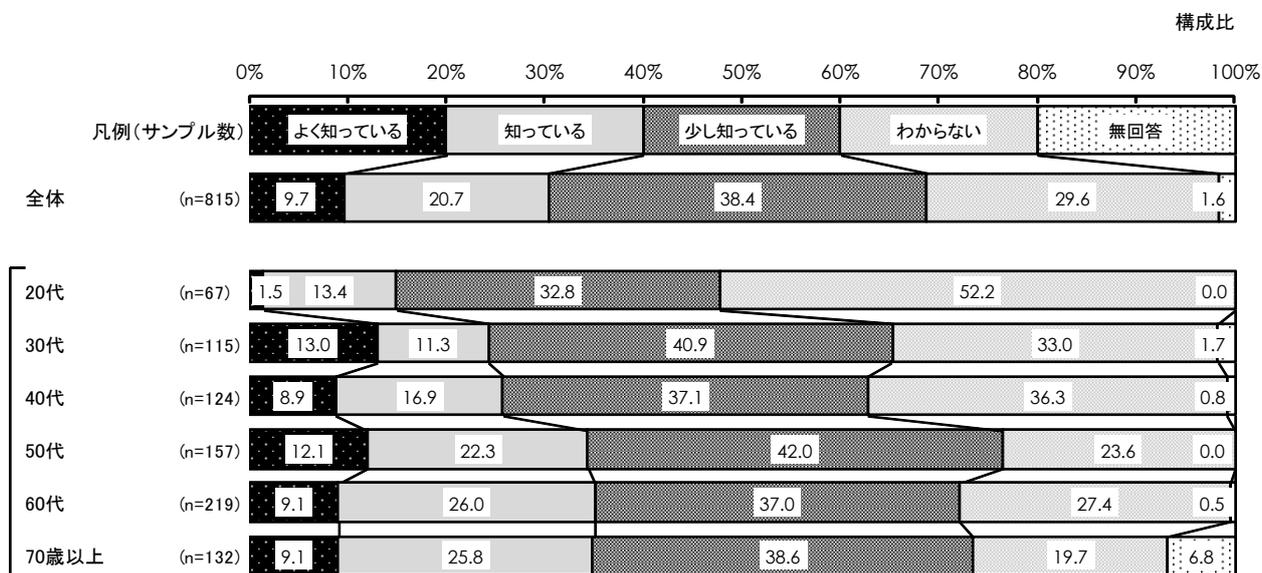
12)消防団の組織見直しについて

問 2 8 鹿沼市消防団は、団員定数 8 3 5 人の団本部と地域単位の 1 4 分団によって構成され、本市の消防防災活動に取り組んでいます。消防団活動について、知っていますか。次の中から 1 つ選んでください。
(S A)

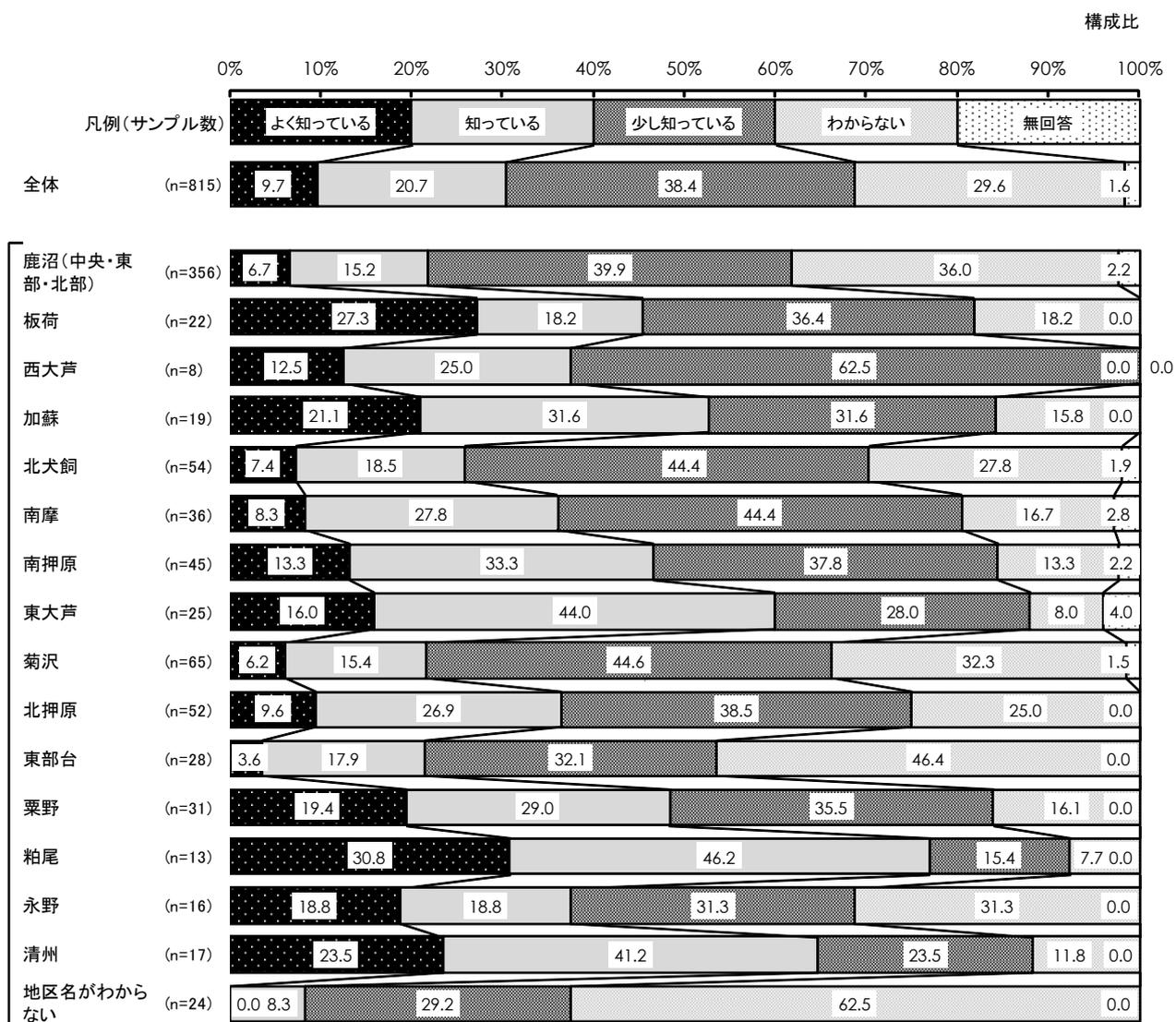
問 2 8 鹿沼市消防団の活動の認知 (S A) 【性別】



問 2 8 鹿沼市消防団の活動の認知 (S A) 【年代】



問 2 8 鹿沼市消防団の活動の認知 (S A) 【居住地区 (15 区分)】



問28 鹿沼市消防団の活動の認知

～活動の認知度は7割弱、若い世代で認知度が低い～

【全体】

- ・鹿沼市消防団の活動について「よく知っている」9.7%、「知っている」20.7%、「少し知っている」38.4%を合わせた活動の認知度は68.8%となっている。一方、「わからない」は29.6%を占める。

【性別】

- ・男性では、「よく知っている」「知っている」「少し知っている」を合わせた活動の認知度は72.7%で、女性より7.1ポイント高い。

【年代】

- ・20代では「わからない」の割合が50%を超え、他の年代に比べて認知度が低い。50代以上での活動の認知度は70%を超える。

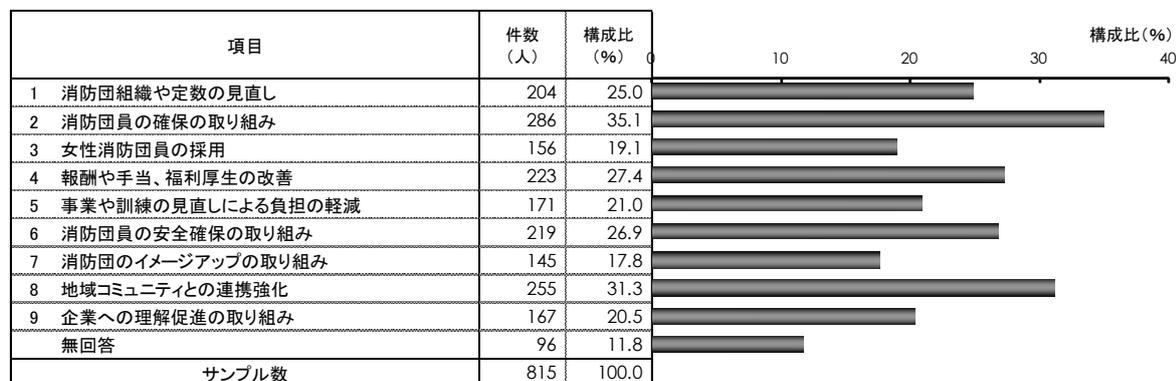
【居住地区】

- ・板荷、加蘇、南摩、南押原、東大芦、粟野、粕尾、清州の8地区では、活動の認知度は8割を超える。一方、鹿沼（中央・東部・北部）、東部台では活動の認知度は6割程度にとどまる。

※サンプル数が10未満のものについては、コメントをしていない。

問 2 9 本消防団は、消防団員の減少や再編などの課題を抱えており、平成 2 5 年 3 月に充実強化に向けた基本方針となる「鹿沼市消防団充実強化ビジョン」を策定しました。どのような取り組みが重要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。(MA)

問 2 9 消防団充実強化に向けて重要な取り組み (MA)



問 2 9 消防団充実強化に向けて重要な取り組み
～団員確保、地域との連携強化を重要と思う人が 3 割を超える～

【全体】

- ・消防団の充実強化に向けて重要な取り組みを尋ねたところ、「消防団員の確保の取り組み」35.1%が最も高く、次いで「地域コミュニティとの連携強化」31.3%、「報酬や手当、福利厚生改善」27.4%、「消防団員の安全確保の取り組み」26.9%となっている。

【性別】

- ・男性は女性より「消防団員の確保の取り組み」「女性消防団員の採用」「報酬や手当、福利厚生改善」と回答した人の割合が、それぞれ 5 ポイント以上高い。

【年代】

- ・20 代では「消防団のイメージアップの取り組み」、30 代では「消防団組織や定数の見直し」と回答した人の割合が他の年代に比べて高い。また 60 代以上では「女性消防団員の採用」と回答する人の割合が他の年代に比べて高い。

【居住地区】

- ・菊沢、粟野では「消防団員の確保の取り組み」と回答した人が 50%を超える。加蘇では「報酬や手当、福利厚生改善」や「事業や訓練の見直しによる負担の軽減」と回答した人の割合が他の地区に比べて高く、粕尾では「消防団組織や定数の見直し」や「女性消防団員の採用」と回答した人の割合が他の地区に比べて高い。
- ・旧鹿沼市、旧粟野町別にみると、旧粟野町では旧鹿沼市より、「消防団員の確保の取り組み」「事業や訓練の見直しによる負担の軽減」と回答した人の割合が 12 ポイント以上高い。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

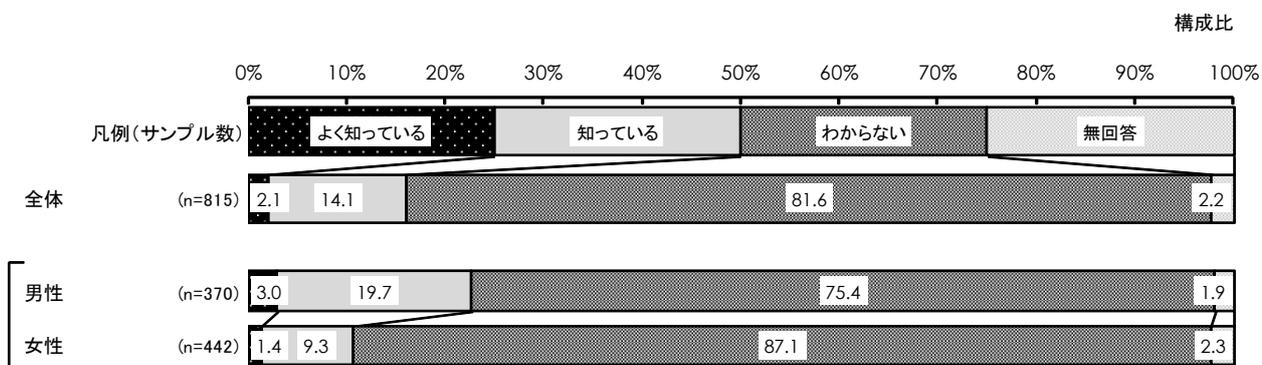
問 2 9 消防団充実強化に向けて必要な取り組み (MA) 【性別】 【年代】 【居住地区 (15 区分)】 【居住地区 (2 区分)】

		()内は サンプル 数	消防団組織 や定数の見 直し	消防団員の 確保の取り 組み	女性消防団 員の採用	報酬や手 当、福利厚 生の改善	事業や訓練 の見直しに よる負担の 軽減	消防団員の 安全確保の 取り組み	消防団のイ メージアップ の取り組み	地域コミュニ ティとの連携 強化	企業への理 解促進の取 り組み	無回答
全体		(815)	25.0	35.1	19.1	27.4	21.0	26.9	17.8	31.3	20.5	11.8
性別	男性	(370)	26.8	39.7	22.2	30.3	21.1	24.1	19.5	29.7	20.8	11.1
	女性	(442)	23.8	31.4	16.7	25.1	21.0	29.0	16.5	32.8	20.1	12.2
年代	20代	(67)	22.4	20.9	19.4	26.9	20.9	23.9	32.8	35.8	11.9	7.5
	30代	(115)	34.8	35.7	8.7	31.3	30.4	24.3	17.4	27.8	29.6	2.6
	40代	(124)	25.0	23.4	11.3	34.7	25.0	23.4	19.4	35.5	22.6	8.1
	50代	(157)	27.4	39.5	18.5	21.0	27.4	24.2	14.0	29.3	22.9	8.9
	60代	(219)	21.0	41.1	26.0	28.3	16.0	28.8	19.2	32.0	18.3	16.0
	70歳以上	(132)	21.2	37.1	25.0	23.5	9.8	34.1	11.4	28.8	15.9	22.0
	居住地区 (15区分)	鹿沼(中央・東部・北部)	(356)	24.2	28.9	19.4	27.5	21.1	27.2	17.4	31.2	18.3
板荷		(22)	22.7	36.4	4.5	31.8	27.3	45.5	13.6	22.7	18.2	9.1
西大芦		(8)	50.0	25.0	-	25.0	50.0	25.0	12.5	-	12.5	-
加蘇		(19)	15.8	26.3	15.8	47.4	36.8	15.8	15.8	26.3	21.1	10.5
北犬飼		(54)	29.6	31.5	25.9	25.9	14.8	29.6	22.2	42.6	20.4	13.0
南摩		(36)	16.7	36.1	27.8	13.9	16.7	19.4	30.6	41.7	30.6	5.6
南押原		(45)	26.7	44.4	8.9	24.4	8.9	15.6	11.1	20.0	26.7	15.6
東大芦		(25)	40.0	36.0	28.0	32.0	16.0	28.0	-	20.0	16.0	12.0
菊沢		(65)	30.8	50.8	26.2	36.9	18.5	29.2	20.0	33.8	18.5	7.7
北押原		(52)	28.8	38.5	17.3	26.9	23.1	28.8	17.3	26.9	19.2	13.5
東部台		(28)	21.4	46.4	25.0	21.4	14.3	28.6	28.6	35.7	17.9	10.7
粟野		(31)	19.4	58.1	6.5	25.8	38.7	32.3	16.1	35.5	32.3	9.7
粕尾		(13)	53.8	38.5	61.5	23.1	38.5	23.1	23.1	30.8	46.2	-
永野		(16)	18.8	37.5	18.8	18.8	18.8	12.5	6.3	37.5	18.8	18.8
清州		(17)	17.6	41.2	5.9	29.4	29.4	41.2	11.8	35.3	23.5	17.6
地区名がわからない	(24)	8.3	20.8	4.2	20.8	12.5	25.0	29.2	25.0	20.8	20.8	
居住地区 (2区分)	旧鹿沼市	(710)	25.8	34.2	19.9	27.9	20.0	26.9	17.9	30.8	19.6	11.4
	旧粟野町	(77)	24.7	46.8	18.2	24.7	32.5	28.6	14.3	35.1	29.9	11.7
	地区名がわからない	(24)	8.3	20.8	4.2	20.8	12.5	25.0	29.2	25.0	20.8	20.8

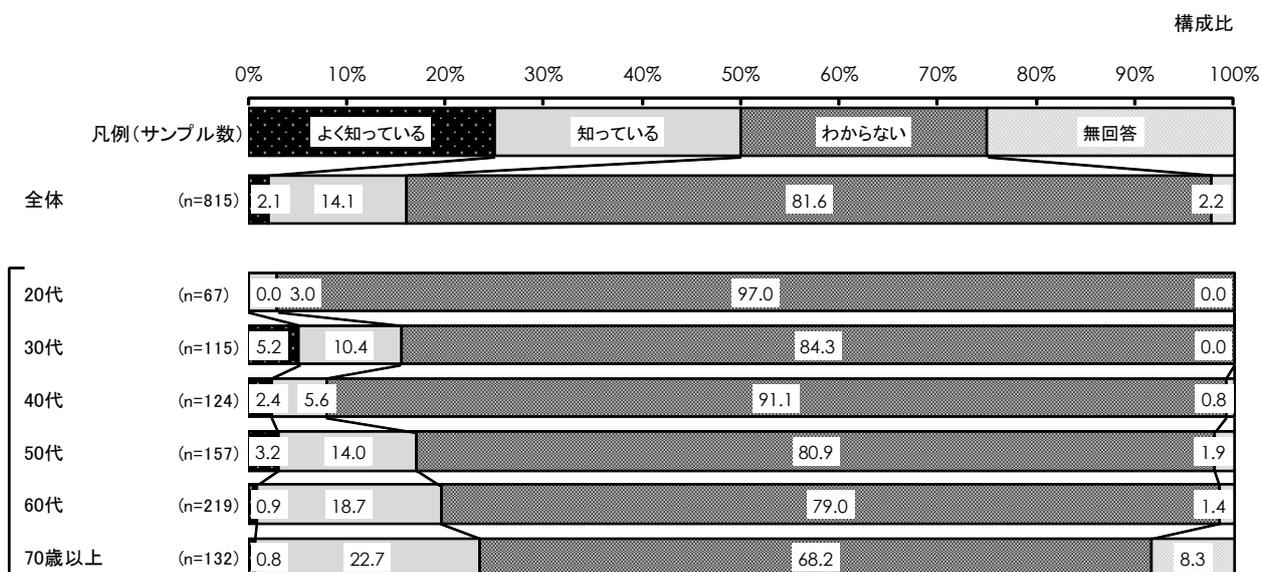
(構成比: %)

問 3 0 地域の消防防災力の充実強化を目的に、消防団協力事業所表示制度を導入し、消防団活動に積極的に協力している事業所を認定しています。この制度をご存知ですか。次の中から 1 つ選んでください。
(S A)

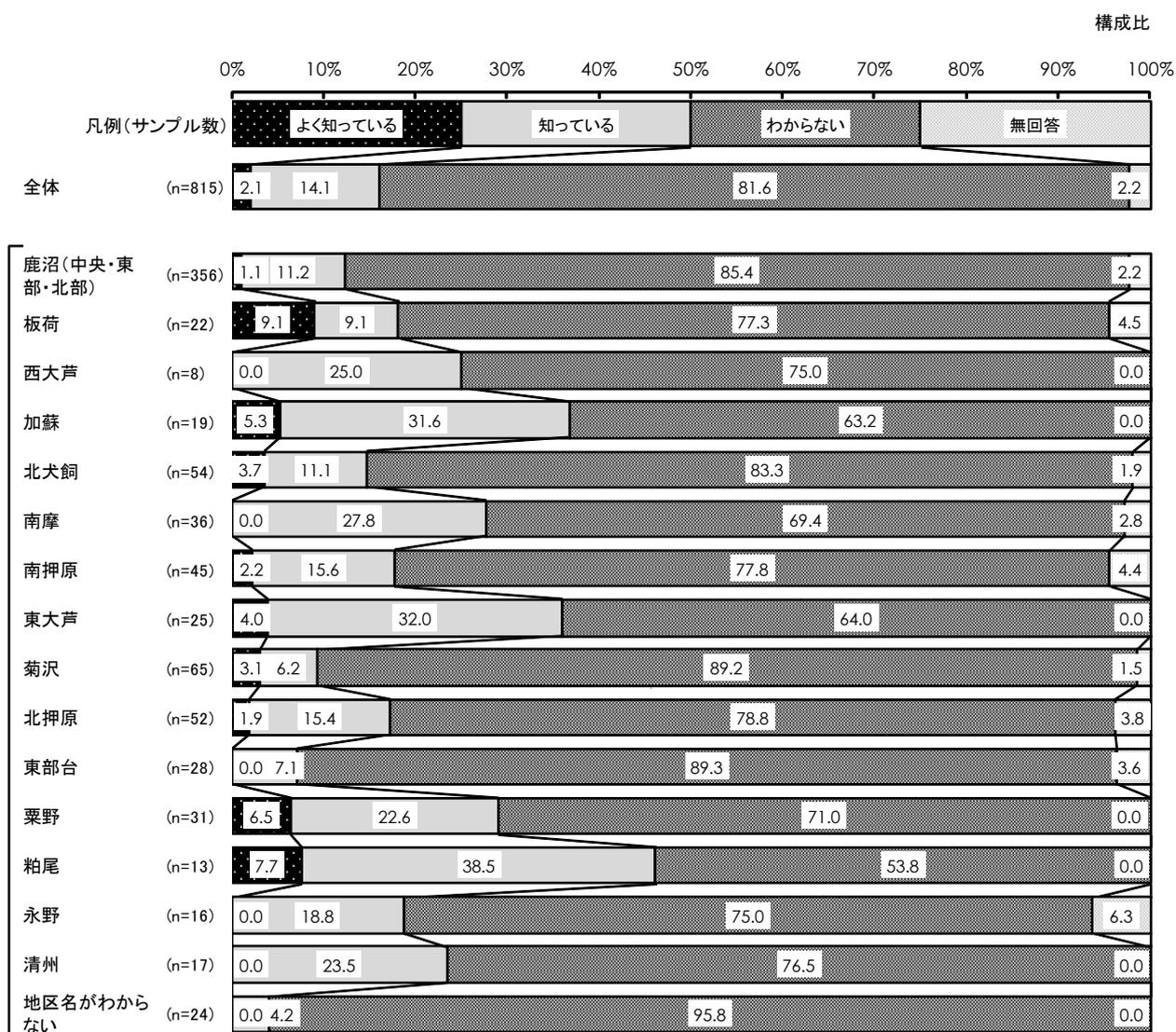
問 3 0 「消防団協力事業所表示制度」の認知 (S A) 【性別】



問 3 0 「消防団協力事業所表示制度」の認知 (S A) 【年代】



問 3 0 「消防団協力事業所表示制度」の認知 (S A)【居住地区 (15 区分)】



問 3 0 「消防団協力事業所表示制度」の認知

～認知度は 16%にとどまる～

【全体】

- ・消防団協力事業所表示制度について尋ねたところ、「よく知っている」2.1%、「知っている」14.1%を合わせた認知度は 16.2%で、「わからない」81.6%を大きく下回っている。この傾向は前回調査と変わらない。

【性別】

- ・男性は女性より認知度が 12 ポイント高い。一方、女性では「わからない」と回答した人の割合が 9 割近くを占める。

【年代】

- ・50 代以上では認知度が他の年代に比べて高い。一方、20 代では「わからない」と回答した人が 97.0%を占める。

【居住地区】

- ・粕尾では認知度が 46.2%と他の地区に比べて高く、次いで加蘇 36.9%、東大芦 36.0%となっている。一方、菊沢、東部台では認知度は 10%を下回っており、地区により認知度に差がみられる。

※サンプル数が 10 未満のものについては、コメントをしていない。

第24回 市政に関する世論調査
調査報告書

平成25年12月 発行

調査委託 株式会社アール・ピー・アイ

編集 鹿沼市秘書課広報広聴係
TEL 0289-63-2128